



2026 兵庫教育大学 大学院案内

Graduate School,
Hyogo University of Teacher Education

学校教育研究科
修士課程
専門職学位課程(教職大学院)

日本の教師教育をリードする 兵庫教育大学大学院で豊かな学びを

兵 庫教育大学は、大学院における教員の養成・研修を中核とする新しいタイプの教育大学として、1978年に創設されました。以来、日本の教師教育をリードするトップランナーとして、学校現場の課題やニーズ、教育政策の変化に応じて、大学院の専攻・コースを刷新し、カリキュラムを改善してきました。そのような本学大学院は他の教育系大学院にはない、次のような特色を持っています。

- 理論と実践の往還・融合を重視した教育・研究（教育実践学）を行い、教師としての専門性と研究力の向上を図っています。
- 文部科学大臣指定の「教員養成フラッグシップ大学」として、Society5.0時代の教員養成・研修の研究開発に先導的に取り組んでいます。
- 教育長、校長などの管理職から、研究主任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターなどのミドルリーダー、新任教員やスクールカウンセラーまで、学校教育の多様な専門職の養成を展開しています。
- 共通科目は、オンデマンド等を活用した授業が多く、時間や場所にとらわれずに柔軟に学ぶことができます。専門科目は、少人数制の授業、演習等を伴う実践的な授業が多く、対話的に学びを深めることができます。
- 日本全国どこからでも、職場を離れずにオンラインで学べる「フレックスクラス」をほぼすべてのコースに設置し、現職教員等の多様な学びのニーズに応えています。
- 現職教員の大学院生と、これから教員や心理専門職になろうとする大学院生との多様な学びの交流があります。
- 就職支援が充実しており、ほぼすべての修了生が教員や心理専門職に就職しています。
- 教育実践学の専門性を究める本学博士課程への進学への道が開かれています。博士課程修了生の多くは、全国の教員養成系大学・学部等の研究者となって活躍しています。

本学大学院に入学されて、ご自分の可能性を最大限に伸ばし、キャリアアップと豊かな人生を実現してください。

国立大学法人兵庫教育大学長

森山 潤

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 豊かな人間性と確かな実践力を持った新任教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

3専攻17コース

全国最大規模の教員養成系大学院

本学大学院学校教育研究科は、修士課程（2専攻・定員145名）と専門職学位課程（1専攻・定員155名）で構成し、それぞれの教育課程の目的に沿って学校現場を重視した教育・研究（教育実践学）を行い、以下のような人材を養成しています。

開学から40年以上が経ち、1万人を超える修了生が全国の学校現場等で活躍しています。

修士課程

人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	→ p.17
	幼年教育・発達支援コース	→ p.19
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	→ p.21
	臨床心理学コース	→ p.23
	芸術表現系教育コース	→ p.25
	生活・健康・情報系教育コース	→ p.27
特別支援教育専攻	障害科学コース	→ p.31
	発達障害支援実践コース	→ p.33

養成する人材

- “子どもとのかかわり”から教育を捉え、多様な観点から協働的に問題解決ができる教員
- 幼年教育の理論と実践に基づき、子どもと共に希望ある未来をつくる子育て支援コーディネーター
- 教育現場における子どもの発達や教員の悩みを、総合的に支援できる心理専門職
- 障害のある児童に対し、専門的・総合的な支援を行える特別支援教育スーパーバイザー

専門職学位課程（教職大学院）

教育実践高度化専攻	学校経営コース	→ p.41
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	→ p.43
	言語系教科マネジメントコース	→ p.45
	社会系教科マネジメントコース	→ p.47
	理数系教科マネジメントコース	→ p.49
	小学校教員養成特別コース	→ p.51
	グローバル化推進教育リーダーコース	→ p.53
	教育政策リーダーコース	→ p.55
	授業実践課題探究コース	→ p.57

養成する人材

- 高度な経営力を備え、新しい学校と教育行政をつくるトップリーダー
- 授業実践や生徒指導において、学校現場で指導的役割を果たし得るミドルリーダー
- より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員

CONTENTS

学長メッセージ	→ p.1
兵庫教育大学の ビジョン・ミッション	→ p.1
兵庫教育大学大学院の 特色ある取り組み	→ p.3
修了生が語る！大学院の魅力	→ p.7
取得できる資格	→ p.9
各コース紹介	
修士課程	→ p.11
専門職学位課程 （教職大学院）	→ p.35
教育プログラム	→ p.59
修学支援	→ p.61
▶ 入学科・授業料	
▶ 奨学金制度等	
修了後の進路・就職	→ p.63
データで見る 大学院生のキャンパスライフ	→ p.65
学びをサポートする 充実の環境	→ p.66
▶ 加東キャンパス	
▶ 学生寄宿舍	
▶ 神戸キャンパス	
▶ カレッジバス	

兵庫教育大学大学院の特色ある取り組み

これからは小学校と中学校の
両方の教員免許が必須に

小中連携教育プログラムを開設

小学校から中学校への進学に際し、新しい環境での学習や生活に不適應を起こす、いわゆる「中1ギャップ」の解消等のため、小中一貫教育等が推進されています。平成28年度からの改正学校教育法の施行により、「義務教育学校(9年制)」の設置が可能となりました。令和6年度学校基本調査によると、全国に義務教育学校238校(前年度から31校増)が設置されて

おり、小中一貫型小・中学校も合わせ、その設置数は年々増加しています。これに伴い、中央教育審議会において、義務教育9年間を見通した児童生徒への指導や学校運営に対応するため、養成段階においても小学校と中学校の両方の教員免許の取得を推進するための方策が検討され、兵庫教育大学では先駆けて対応しています。

教員採用試験において小・中学校を一括採用する試験区分等がある自治体(令和6年度実施分)

▶ 大阪府(中学校／全教科対象)	▶ 静岡県(中学校／全教科対象)	▶ 大分県(算数・数学、理科、音楽、保健、英語)
▶ 京都府(算数・数学、理科、技術、英語)	▶ 岡山市(中学校／全教科対象)	など

小中連携教育プログラムの概要 大学院で小(中)学校の教員免許状を追加取得可能

小中一貫・連携教育に対応できる教員を大学院で養成するため、小中連携教育プログラムの受講希望者は、大学院在学中(2年間)に小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます。さらに、修士課程の学生については、幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭や保育教諭として3年以上の教職経験を有している人も、小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます(小学校教員

養成特別コースの学生は中学校教諭2種免許状の所要資格を取得可能)。本プログラムの受講者は、学部の教職課程を履修します。大学院生が履修しやすいよう、多くの授業科目はオンライン(原則オンデマンド)方式での開講となります。また、教職大学院(専門職学位課程)の共通基礎科目では、小中連携教育の理解を深めるための教職科目を開設しています。

3つのユニットと対象コース等 本プログラムには次の3つのユニットがあります。

- ▶ 小学校ユニット(昼間クラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能
- ▶ 中学校ユニット(小学校教員養成特別コース)…中学校教諭2種免許状(国・社・数・理・英いずれかの教科)を取得可能
- ▶ 現職ユニット(昼間・フレックスクラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能 免許法第6条別表8適用者

対象コース等		受講可能な ユニット	大学院入学前に取得 (取得見込み含む)が必要な教員免許状
修士課程	▶ 全専攻・コース	現職ユニット	中学校または幼稚園教諭免許状
専門職学位課程 (教職大学院)	▶ 教育方法・生徒指導 マネジメントコース	小学校ユニット	中学校教諭免許状
	▶ 言語系教科 マネジメントコース		
	▶ 社会系教科 マネジメントコース		
	▶ グローバル化推進 教育リーダーコース	現職ユニット	
	▶ 理数系教科 マネジメントコース ※3	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		現職ユニット	
	▶ 小学校教員養成特別コース	3年制コース ※4	—
		2年制コース ※4	小学校教諭1種免許状
	▶ 授業実践課題探究コース	現職ユニット	中学校教諭免許状

※1…現職ユニット受講者は、中学校教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人が対象となります
 なお、修士課程については、幼小連携教育にも対応できるよう幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭または保育教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人も受講対象とします
 ※2…教職経験3年未満の人を含みます
 ※3…理数系教科マネジメントコースの学生で理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません
 ※4…小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)の学生で、中学校教諭免許状(教科は問わない)を取得(取得見込みも含む)している人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません

修得単位数の目安(教職大学院の場合)

	小学校ユニット受講者	中学校ユニット受講者 (小学校教員養成特別コース2年制コース)	現職ユニット受講者 (実習免除が適用された場合)
教職大学院修了要件単位数	46	46	36~42
各ユニット科目単位数	39	37~43(教科により異なります)	14
計	85	83~89	50~56

申請方法(8月選抜・11月選抜のみ)

本学大学院出願時に、「小中連携教育プログラム受講申請書」を出願書類とともに提出してください。

入学後の申請はできないため、必ず出願時に併せて提出してください。詳しくは、大学院学生募集要項をご覧ください。

【参考】専修免許状の取得について

各自がすでに所持している1種教員免許状を、専修免許状に上進することができます。

例

言語系教科マネジメントコース学生が
小学校ユニットを受講した場合

入学前に取得済みの教員免許：中学校1種(国語)、高等学校1種(国語)



教職大学院修了時：中学校専修(国語)、高等学校専修(国語)+**小学校2種**

大学院修了者の初任給

大学院修了者は、大学卒業者より2万2,500円程度初任給が高くなります。生涯賃金を考えると、大学院を修了するメリットは給与面でもあるといえます。

【参考】兵庫県教員の初任給

神戸市内の県立高等学校勤務者の場合

(大学院修了者) **28万2,433円** (大学卒業者) **25万9,847円**

※金額は令和7年度募集案内から

働きながら学ぶ社会人のための大学院
心理専門職を目指す人のための大学院

神戸新キャンパススタート(JR新長田駅前)

兵庫教育大学の神戸キャンパスは、働きながら学ぶ教員・社会人、また心理専門職養成のための大学院として数多くの修了生を輩出してきました。令和6年度からは、夜間クラスをフレックスクラスとして、オンライン同期型やオンデマンド型の授業、対面授業など多様な学修方法を組み合わせ、学生のライフスタイルに合った学びを提供しています。令和7年度フレックスクラス・臨床心理学コース入学から、兵庫県が建設した「新長田キャンパスプラザ」で教育・研究を行っています。神戸新キャンパスは、これまでの2倍以上の規模を有し、教育研究機能を大幅に拡充しました。教師教育のトップランナーとして兵庫県・神戸市から全国に発信できる教育研究を進めるとともに、長田地区の活性化に少しでも貢献できるよう、地元の方々や兵庫県・神戸市との連携を強化していきます。

神戸キャンパス概要

▶所在地等

神戸市長田区腕塚町5-2-1(JR新長田駅・地下鉄新長田駅から徒歩約7分)
新長田キャンパスプラザ6~8階 延べ床面積約3,700㎡

▶臨床心理相談室を大幅に拡充

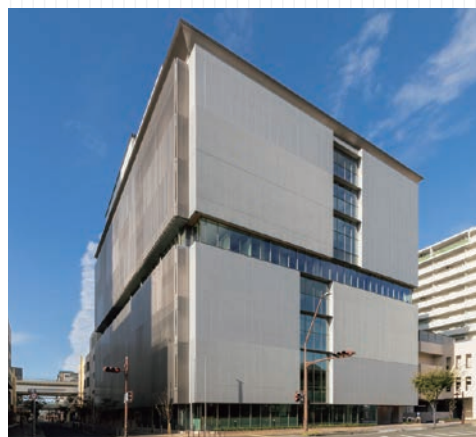
子どもの不登校や発達障害、大人のストレスなどに関する相談などを実施
面接室4室、プレイルーム4室、観察室、検査室などを整備

▶教員・社会人が学びやすい環境づくり

対面授業またはオンライン授業(同期・非同期)を学生が選択できる
「ハイフレックス方式」を推進

▶Society5.0時代の教育への対応

STEAM教育の推進や教育とテクノロジーを融合したEdTechの活用を推進する
「STEAM Lab」や「ICT教育室」を整備



フレックスクラスでは、コースの特性にもよりますが、オンラインを活用してほぼ通学しなくても修了できるコースを多く開設しています。オンライン授業には「通常の夜間の授業時間帯にリアルタイムに双方向で行う同期型」「学生が好きな時間にオンライン教材を視聴するオンデマンド型」「神戸キャンパスでの対面授業またはオンライン同期型を学生が選択できる「ハ

イフレックス型」があり、各コースともオンラインや対面授業を効果的に活用した授業やゼミ、研究指導を実施しています。オンデマンドの授業についても、TeamsなどLMSを活用して、教員に気軽に質問でき、ディスカッションなど学生同士も交流できるようにしています。また、長期履修学生制度でゆったり学ぶことも可能です。長期履修学生制度の詳細はp.61を参照。

フレックスクラスの4つのメリット

1 学校現場を離れずに学べる
日本全国どこからでもOK※

※一部のコース
は通学が必要で
す。下表参照

2 指導教員等と相談しながら、
柔軟な指導が受けられる

※オンラインに加え、神
戸キャンパスでの対面
授業も選択できるハイ
フレックス方式を導入

3 教職を続ける基盤となる理論や実践、
研究方法を身に付けることができる

4 さまざまな課題を持ち、研究を進める仲間や
大学教員と意見を交わしながら、
学びをより深めることができる

フレックスクラスを開設している各コースの授業について

専攻	コース	オンラインのみでの修了の 可否・週当たりの通学状況	課題研究や研究指導、 ゼミの実施方法
人間発達教育	教育コミュニケーションコース	3 週1回程度	主として通学 (オンラインを併用することも)
	幼年教育・発達支援コース	1 ほぼ通学不要	オンライン
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン (進度により通学もあり)
	臨床心理学コース※1	1 通学不要	オンライン
	芸術表現系教育コース(音楽)	2 週1~2回程度	主として通学 (オンラインを併用することも)
	芸術表現系教育コース(美術)	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン (希望や必要等に応じて通学でも実施)
	生活・健康・情報系教育コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン (テーマによっては対面で実施)
特別支援教育	障害科学コース※2	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン (一部対面の演習等あり)
教育実践高度化	学校経営コース	1 通学不要	主としてオンライン
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	1 通学不要	主としてオンライン
	言語系教科マネジメントコース	1 通学不要	主としてオンライン
	社会系教科マネジメントコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン
	理数系教科マネジメントコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン
	グローバル化推進教育リーダーコース	1 通学不要	主としてオンライン
	教育政策リーダーコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン (休日や夜間における指導が中心)
	授業実践課題探究コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン

オンラインのみでの修了の可否 **1**…ほぼ可能 **2**…選択した授業により通学が必要 **3**…通学が必要

※1…臨床心理学コースのフレックスクラスでは、公認心理師および臨床心理士の受験資格は取得できません。詳しくはp.23を参照

※2…障害科学コースのフレックスクラスは、昼間クラスとは開講科目や修了要件が異なります。詳しくはp.31を参照

各コースの詳細は本学ウェブサイトでご確認ください

教員免許状を大学院で一から取得したい人へ

教員免許状を持っていなくても、これから教員を目指せます!!

大学(学部)で教職課程を受講しておらず、これから教員免許を取得して教員を目指す人に対して、長期在学や長期履修学

生制度により、教職大学院で3年間かけて教員免許の取得が可能なコース(プログラム)を設置しています。

小学校教員を目指す人

小学校教員養成特別コース(3年制コース) ※長期在学コース

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(小学校1種対応)を履修し、修了時には小学校教諭専修免許状の所要資格が得られます。詳細はp.51を参照。また、小中連携教育プログラム

を受講することで、併せて中学校2種免許(国・社・数・理・英のいずれかの教科)の所要資格を得ることも可能です。

ここに注目!!

3年制コースではありますが、2年次までに小学校1種免許相当の単位修得が可能のため、2年次から各自治体等が実施する教員採用試験を受験することができます(大学院在学中に2回教員採用試験を受験する機会があります)。

2年次に教員採用試験に合格した場合、多くの自治体等で実施されている**大学院在学者・進学者に対する特例制度**(採用の延期など)の適用を受けることができます。

大学院在学者・進学者に対する特例制度とは…

教員採用試験合格者のうち、大学院に在学・進学する人に対して、採用候補者名簿登載期間の延長・採用の延期をするなどの特例的措施を各自治体が実施するものです。大学院在学者は1年程度採用の延

期等ができます。教員採用試験を実施している都道府県・市等は68ありますが、そのうち63の自治体で大学院在学者・進学者に対してこの制度を適用しています。(令和4年度実施分)

中学校・高等学校の数学または理科の教員を目指す人

理数系教科マネジメントコース(理数系教員養成特別プログラム) ※長期履修学生制度を活用した3年履修

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(中学校・高等学校1種対応)を履修します。修了時には、中学校・高等学校教諭専修免許状(数学または理科)の所要資格が得られます。詳細は

p.59を参照。なお、理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません。

Q&A

Q.1 長期在学制度とはどういうものですか。

A.1 長期在学制度が適用される小学校教員養成特別コース(3年制コース)は3年間の教育課程が編成されており、コース入学者全員が3年間在学します。そのため、3年分の授業料が必要になります。ただし、小学校教員養成特別コースの学生は、2年次で小学校1種免許相当の単位が修得可能なため、2年次に教員採用試験を受験することが可能です。

Q.2 長期履修学生制度とはどういうものですか。

A.2 理数系教科マネジメントコースの入学者で、理数系教員養成特別プログラムの受講を希望する人について適用されます。2年の標準修業年限を1年延長し、理数系教員養

成特別プログラムを受講します。2年分の授業料で3年間修学することができます。

Q.3 小学校教員養成特別コースへの入学を希望していますが、出身大学(学部)では卒業論文が課されていなかったため、教職大学院の「教育実践研究報告書」が作成できるか不安です。

A.3 小学校教員養成特別コースは、レポート作成法、教育実践研究法、アクション・リサーチなど「教育実践研究報告書」の作成に必要な基礎的な知識や技能を修得する科目が開設されています。また、指導教員から個別の指導も受けられるので、卒業論文作成の経験がない人も安心してください。

充実の教育環境に10週間の実習 理論と実践を同時に学べるのが 兵教大の良さだと思います

社会系教科マネジメントコース 令和6年3月修了 森野美晴さん

兵教大 → 兵教大大学院 → 公立高校教諭

兵教大に入学した理由

学部生の頃、悩める世代に寄り添いたいと高校の教員を志望するようになったものの、コロナ禍の影響で高校での教育実習の機会がありませんでした。教員として現場に出る前にもっと深く実践を学びたいと思い、進学を決意しました。

ココが良かった！

コース全体で1学年11人と少人数だったので、所属ゼミなどに関係なく先生や先輩方みんなで11人を育てるという感じで、付きっきりで面倒を見てもらえた点です。先輩や同級生には現任教員もいたので、現場の視点での具体的なアドバイスを日常的にもらえて勉強になりました。先生とのつながりも密で、特にゼミの福田喜彦先生とは今も一緒に旅行をするくらい、交流が続いています。沖縄やドイツ、台湾など、旅先では現地を楽しみつつも歴史をどう教えるかをみんなで考える機会も多く、「こんな視点があるの

か」といつも発見に満ちています。また、計10週間の実習があり、初めて高校の現場を存分に経験できたことも良かったです。ずっと同じ高校だったので生徒との距離も近くなりましたし、授業では自分の研究にまつわる内容を自由にやらせてもらえました。このように、理論と実践を同時に学べるのが兵教大ならではの良さだと思います。

実感！自分の成長

学部では教科に必要な知識の習得に必死でしたが、

大学院では概念的な理解を深め、より理論的に考えられるようになりました。大学院を経験したことで自分の目指す教育の在り方が明確になり、「教科の内容を突き詰めて教えればいいんだ」という考えから、「今後社会をつくっていく子どもたちに何をどう教えればいいのか」へと変化しました。進学せずにそのまま教員になっていたら、何も分からない状態ですごく悩んでいたと思います。

進学を考えている人へのメッセージ

進学には資金も必要で、周りが就職する中での不安もよく分かります。ただ、もし悩んでいるならぜひ進学してほしいと思います。教育の世界にどっぷり浸る2年間は教える上で身になることばかりですし、教育関係の書籍がそろそろ図書館をはじめ研究のための設備が充実しています。何より、教員のコミュニティに自然にアクセスできるのも大学院の魅力です。大学院時代に築いたネットワークには今も大いに助けられています。



Profile

兵庫教育大学在学中に教員採用試験に合格し、令和4年3月に大学を卒業後、採用を延期する特例制度を活用して4月に同大学院に入学。6年3月に修了し、兵庫県三田市内の県立高校に社会科教諭として着任。1年生の担任を務めるとともに、1・2年生の授業を担当した。

入学前に思い描いていた やりたいことが全て実現できた 充実の2年間でした

発達障害支援実践コース 令和6年3月修了 堀 善仁さん

他大学 → 小学校講師 → 公立小学校教諭 → 兵教大大学院 → 公立小学校教諭

兵教大に入学した理由

特別支援学級の担任をした時に、特別支援コーディネーターとして発達障害の子どもたちへの支援を考える機会が多かったです。その後、通常学級の担任を経験する中で、一斉指導では学習の理解が難しい子への個別支援・対応の必要性を感じる場面も。発達障害に関する専門知識を身に付けておかないと今後教員として働く上で大変になるのでは考えるようになり、入学を志望しました。県教育委員会に所属しながら出張というかたちで進学させてもらえる制度があったことは、大きな後押しとなりました。

ココが良かった！

実習が充実していて、非常に学びがあったことです。1人の児童に対して発達検査をし、結果を基に指導内容を考えて実行に移すという実践的なものでした。自分が学級担任をしていた時の一斉指導ではできなかったような支援を実践できたことは本当に良かったです。オンラインの授業も結構あったので、午前中は自宅で受講して午後を学校での実習に充てるなど、時間を有効活用できた点も助かりました。自

コースのほか、障害科学コースの科目なども履修し、「あの時、こうしてあげていれば」と思うこともしばしば。特別支援学級の担任時代に悩んでいた部分を授業の中で全て解消することができただけでなく、新しい知識もたくさん得られたので、復職後は教育の現場で生かしています。また、科目等履修生として幼稚園教諭の教員免許取得を目指す中で、小学校に上がる前にどのような指導がなされているかを勉強できたことも、いい経験になりました。多様な校

種・経歴を持つ同級生と共に学び、幅広い意見を聞くことができるのも兵教大ならではの魅力だと思います。

実感！自分の成長

以前にも増して子どもたちへの声かけに気を使い、支援策や対応策を本人と一緒に考えたり、できたことをしっかり褒めたりできるようになった点です。「先生、優しい」「話を聞いてくれる」と言われると素直によかったなと思いますし、無断で教室を飛び出していた子が「落ち着きたいから〇〇に行ってくる」と同級生に伝えてから席を外すなど、一緒に考えた対応策を実践している場面に出くわした時は特にうれしいですね。

進学を考えている人へのメッセージ

大学院での2年間は、慌ただしい毎日過ごす中でできなかった学びに集中する環境があり、新たな視点や考えを得て、現場でさらに活躍するための見識を蓄える貴重な時間でした。悩みや学びたいことを抱えながらも進学をためらっている人は、ぜひ一歩踏み出してもらえたらと思います。



Profile

他大学の経営学部で中学（社会）と高校（公民）の教員免許を取得。在学中に少年サッカーを指導した経験から小学校教員を志し、通信教育プログラムで同教員免許も取る。小学校で特別支援学級の担任や特別支援コーディネーターも経験し、11年目の令和4年4月、県教育委員会の現職派遣制度を利用して兵庫教育大学大学院に入学。6年3月に修了後は宝塚市内の小学校に復職し、6年生を担当した。

現職教員が兵庫教育大学大学院で学ぶ方法

公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、教育委員会や教育センター等で教育行政に携わる指導主事などが、教員の身分を有したまま学び、学位を取得することができます。詳しくは、所属する都道府県または市町村の教育委員会へご相談ください。

- ① 都道府県等教育委員会からの派遣により学ぶ
全国の都道府県等教育委員会から派遣された現職教員が学んでいます（令和6年10月1日現在126人）。
- ② 大学院修学休業制度を利用して学ぶ
在職期間が3年以上ある教員が対象で、最長3年間休職できます（令和6年10月1日現在17人）。

- ③ 自己啓発等休業制度で学ぶ
地方公務員または国家公務員として2年以上の在職期間がある者が対象で、原則2年間休職できます。
- ④ 働きながらフレックスクラスで学ぶ
全専攻で開講しています。

取得できる資格

教員免許状 専修免許状を取得できます。(注)1、2、4

課程	専攻	コース	取得できる教員免許状の種類
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	幼小中※1 高※2
		臨床心理学コース	
		幼年教育・発達支援コース	幼小
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース	幼小中※1 高※2 養 栄
		芸術表現系教育コース	(音楽) 小中(音楽) 高(音楽)
			(美術) 小中(美術) 高(美術、工芸)
		生活・健康・情報系教育コース	(保健体育) 小中(保健体育) 高(保健体育) 栄※3
			(技術) 中(技術) 高(工業)
			(家庭) 小中(家庭) 高(家庭) 栄※3
			(情報) 幼小中※1 高※2
	特別支援教育専攻	障害科学コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 特別支援学校教諭1種・2種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者)(注)3
		発達障害支援実践コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 障害科学コースの授業科目を受講することで、特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得できます(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)(注)3
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース	幼小中※1 高※2
		教育方法・生徒指導マネジメントコース	
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)	
		グローバル化推進教育リーダーコース	
		教育政策リーダーコース	
		授業実践課題探究コース	小中※1 高※2
		言語系教科マネジメントコース(国語)(英語)	
		社会系教科マネジメントコース	
		理数系教科マネジメントコース(数学)(理科)	

幼…幼稚園教諭専修免許状 小…小学校教諭専修免許状 中…中学校教諭専修免許状 高…高等学校教諭専修免許状 養…養護教諭専修免許状
 栄…栄養教諭専修免許状

※1…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教の免許教科を示します

※2…国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉の免許教科を示します

※3…免許状の取得には、修了に必要な単位に加え、一部他コースの授業科目の単位を修得する必要があります

(注)1. 授業科目は、特別支援学校教諭1種・2種免許状の対応科目を除き、全て専修免許状の取得に対応しています。1種・2種免許状の取得には使用できません。

2. 専修免許状を取得するためには、取得を希望する専修免許状に対応した1種免許状を所有していなければなりません(小学校教員養成特別コース(3年制コース)については、入学時に小学校教諭の免許状を所有していなくても、小学校教諭専修免許状を取得することが可能です)。

3. 特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得するためには、幼・小・中・高いずれかの普通免許状を本学大学院に入学するまでに所有していなければなりません。なお、教育実習(特別支援学校)は、特別支援教育専攻に所属する学生のみ履修が可能です。そのため、特別支援教育専攻以外の学生で取得を希望する方は、次のようになります。

①3年以上教員として勤務経験がある方については、教育実習を除く所定の単位を修得することで取得が可能です。

②3年以上教員として勤務経験のない方については、修了時には取得できませんが、教育実習を除く所定の単位を修得し、修了後に勤務経験年数を満たせば取得可能です。

4. 他の専攻・コースの授業科目の単位を修得することで、所属コースでは対応していない免許状を取得することが可能ですが、所定科目の履修機会を保障するものではありません。

9 頁「取得できる資格」に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

(誤)

障害科学コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 特別支援学校教諭 1 種・2 種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) (注) 3
---------	--

(正)

障害科学コース	昼間クラス	発達障害支援実践コースの授業科目を受講することで、特別支援学校教諭専修免許状を取得できます。 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 特別支援学校教諭 1 種・2 種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) (注) 3
	フレックス クラス	特別支援学校教諭 1 種免許状取得後、特別支援学校での教職経験が 3 年以上ある場合、特別支援学校教諭専修免許状を取得できます。 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 特別支援学校教諭 1 種・2 種免許状 (知的障害者、肢体不自由者、病弱者) * 都道府県教育委員会によって、単位の修得方法が異なります。事前に教員免許状を申請予定の都道府県教育委員会へご確認ください。

その他の資格

その他の資格 心理系の資格等の受験資格も取得できます。

取得できる受験資格	対象コース等	概要
公認心理師	臨床心理学コース (昼間クラス)	平成29年9月15日に施行された公認心理師法に基づく国家資格です。保健医療・福祉・教育その他の分野において、心理に関する支援を要する人やその関係者に対し、心理状態の観察・分析、相談・支援・援助などを心理学に関する専門的知識と技術をもって行います。また、心の健康に関する知識の普及を図るための教育や情報提供も行います。公認心理師試験の受験資格を得るためには、学部で所定の科目を修めている必要があります(大学学部における要件充足の有無については、ご自身で在学または出身大学にご確認ください)。 厚生労働省 公認心理師 検索
臨床心理士		(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格で、有資格者は「心のケアの専門家」として、教育、医療、福祉、司法、産業などの活動領域で活躍しています。臨床心理学コースは、臨床心理士の受験資格を得られるコースとして同協会から1種指定大学院として指定を受けています。 日本臨床心理士資格認定協会 検索
学校心理士	教育コミュニケーションコース 幼年教育・発達支援コース 学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻 (原則、障害科学コース(昼間クラス)のみ)	本学での条件を満たした人は、学校心理士資格を学校心理学大学院類型で申請できます。なお、資格認定には指定された科目の履修に加え、筆記試験とケースレポートの審査に合格することが必要です。 学校心理士認定運営機構 検索
カウンセリング心理士	学校心理・学校健康教育・発達支援コース 教育方法・生徒指導マネジメントコース	日本カウンセリング学会がカウンセリングについての一定の学識と技能を有する会員に付与するものです。 日本カウンセリング学会 検索
臨床発達心理士	学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻 (昼間クラスのみ)	(一社)臨床発達心理士認定運営機構が認定する資格です。発達の観点から障害、社会適応などの問題を査定し、子どもから大人まで生涯にわたり人間の多様な育ちを支援します。 臨床発達心理士認定運営機構 検索

※単位、科目など所定の要件を満たすことが必要ですが、複数の資格取得を目指す場合など、所定科目の履修機会を得られない場合があります

※詳細は各協会等のウェブページまたは本学ウェブサイトの各対象コースの「取得できる教員免許状と資格」ページでご確認ください

教育にとって
本質的なものを探究する

修士課程

授与される学位…修士(学校教育学)

多様化する学校教育の
諸課題と向き合い究明する

人間発達教育専攻

こんな人を募集します!

教育コミュニケーションコース 昼 F	教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学、歴史学、社会学、心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究します。	広く教育を問いたい人
幼年教育・発達支援コース 昼 F	幼年期の教育、心理、保育内容、福祉、子育て支援について教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。	幼児教育・保育関係者 子育て支援関係者
学校心理・学校健康教育・ 発達支援コース 昼 F	子どもの成長や発達ならびに健康を総合的に支援・教育できる教員や専門家を育成します。	学校・教育関係者 保健・福祉領域関係者
臨床心理学コース 昼 F	生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。	昼 臨床心理士を目指す人 公認心理師を目指す人 F 対人援助職・心理職関係者
芸術表現系教育コース 昼 F	音楽と美術の芸術教育に関わる諸事象について、理論と実践の両側面から探究し、論理的・創造的な実践力を備えた人材を育成します。	芸術系教員 芸術関係者 教員志望者
生活・健康・情報系教育コース 昼 F	生活、健康、情報ならびに関連する教科に関わる高度な知識と技能を学び、応用的な実践や社会実装ができる人材を育成します。	生活・健康・情報関係者 家庭・技術・情報・保健体育教員 教員志望者

障害のある幼児・児童・生徒等への
専門的・総合的な支援力・実践力を高める

特別支援教育専攻

障害科学コース 昼 F	多様な教育的ニーズのある児童生徒に対応できる総合的な専門性に裏付けられた支援力(実践、連携、研究)を育成します。	特別支援学校教員 特別支援学級担任 教員志望者
発達障害支援実践コース 昼	学校(通常学級、通級指導教室、校内における特別支援教育体制)や地域における発達障害支援のための実践力を育成します。	学校教育関係者 教員志望者

昼 …昼間クラス F …フレックスクラス(オンラインを積極的に活用して、勤務しながら学ぶことができるクラス(一部の授業等は対面あるいはオンライン同期型で実施))

修了に必要な単位

		合計単位数	最低修得単位数
共通科目	2単位以上	26単位	32単位 ※
専門科目	16単位以上		
探究力を養成する課題研究	各自の研究課題に応じ、担当教員の指導の下に8単位		

※合計単位数26単位と最低修得単位数32単位との差6単位は、共通科目、専門科目(修士課程においては、自身が所属するコース以外で開設する科目を含む)および交流科目のうちから修得するものとします。なお、外国人留学生については、外国人留学生専門科目からも修得できるものとします

学びのプロセス

課題研究(修士論文作成)の流れ

1年次	5月まで	指導教員(ゼミ)を決定
	5月以降	研究テーマを設定し、順次、先行研究・文献の調査、実践研究、学会等での研究
2年次	6月	中間発表(研究の動機と目的、研究方法、章立て、参考文献)
	11月	論文題目の最終決定
	12月中旬	提出締切
	2月初旬	修士論文口述試験



芸術表現系教育コース(美術)
令和7年3月修了
／高校英語科・美術科非常勤講師
児玉恭代さん

自閉スペクトラム症のある子供の描画活動の展開やその特質を伸ばす方法についての調査研究

中高での教諭としての勤務や育児の経験から、領域横断的学びに興味がありました。入学時から、美術、特別支援教育、医療、心理学についての授業を履修し、同時に指導教員が決定しゼミが

始まりました。育児と仕事と研究の両立に不安がありましたが、3年履修で対面とオンライン授業を組み合わせて自分のペースで取り組んでいます。

修士論文では、子どもの描画に関する発達段階のほか、感覚や言語の発達を含めたコミュニケーション能力などの発達段階を巡る自閉スペクトラム症に見られる諸特徴と医学的な概念定義の歴史、さらに社会的な支援制度と個人差に応じた指導法の工夫について調査しています。これらを論じるには図画工科教育のほか、特別支援教育、医学、心理学など多角的・領域横断的な資料収集・文献調査が必要です。さらに、それらを整理して分かりやすく説明し、的確で無駄のない批判検討や分析を進めるには論述スキルを磨く必要があります。ゼミでは、指導教員の先生に下書きをしたものに添削や助言を頂くことで、本質を見極められるようになってきたと感じています。

補足ですが、研究と並行して、美術分野の授業で学んだことを勤務校の授業実践に活用する、留学生対象の書道に関するプロジェクトにも取り組むなど、多様な経験ができ充実感があります。

児玉さんの3年間の学び

年次	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	指導教員決定												
2年次	情報収集(文献、アセスメント)												
3年次	研究結果の分析・考察												



障害科学コース
令和7年3月修了
／特別支援学校教諭
井口大資さん

高等特別支援学校(知的障害)における教員の意識についての調査研究—教員の生徒に対する捉え方及び指導の考え方について—

現場で直面した困難についての課題意識があり、入学前から具体的にテーマを決めているつもりでした。しかし、指導教員等との対話や論文講読を進める中で、そのテーマが漠然としすぎていることを思い知らされ、課題意識の整理の必要性を感じました。そのため、自分との対話を重ね、

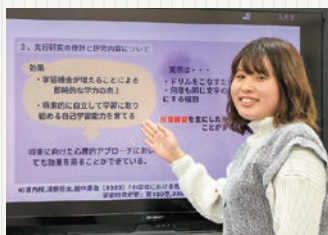
本当に解決したい課題は何であるかを問い直す作業を繰り返しました。この過程では、授業から友人との何気ない会話まで、大学院生活の全てが新たな視点を与えてくれる場となり、考えるヒントとして大きな役割を果たしてくれました。これを経て、関心のある分野における解決・未解決事項が整理され、リサーチクエスションが明確になりました。研究活動としては、質問紙調査を実施したため、質問項目の作成方法や量的・質的データ分析に関する文献と解説動画に多数触れました。また、それらの手法を扱った論文もできる限り講読しました。

気が付けば、研究内容だけでなく、関連する多くの知識、考え方も身に付いており、研究の奥深さを実感しました。また、徹底的に考え、問い直すといった思考の過程を大切にするようになったと思います。学びの旅は続きます。この経験はさらなる探求への出発点になったとさえ感じます。これから学びに挑む皆さんにも、自らのプロセスを存分に楽しんでほしいです。

井口さんの2年間の学び

年次	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	指導教員決定												
2年次	アンケート送付・回収												

学生の時間割を公開！



教育コミュニケーションコース
2年／小学校教諭
津田二千翔さん

自分の「学びたい!」という気持ちを大切に

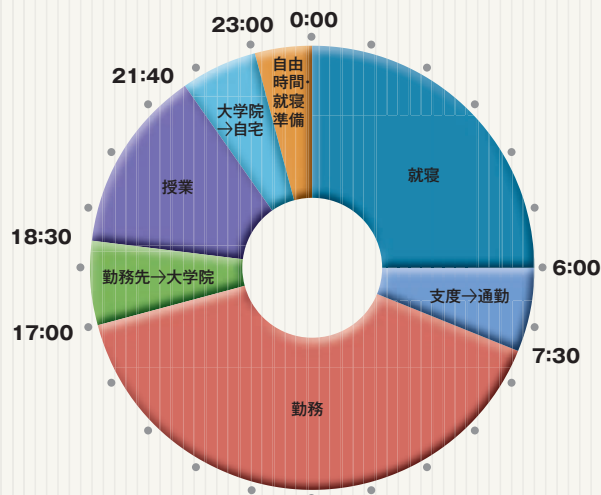
仕事と大学院での学びを両立する上で一番大切にしていることは「目の前にある学びを精いっぱい楽しむこと」です。現在、昼間は小学4年生の担任、夜は長期間履修制度を活用して大学院生として過ごしています。周りの友人は、よく「大変じゃない?」と声をかけてくれます。その心配の声に対して、いつも決まって「とても充実しているよ!」と返事をします。長期履修制度を活用することで、ゆとりを持って大学院での学びを調整し仕事との両立をすることができています。私は、大学院での学びの理論と小学校教員としての実践はいつも両輪の関係にあると考えています。その両方ができ、学びの多い今の環境をとても幸せだと感じています。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	ゼミ		子どもの発達と学校の関わり	
	7	教育コミュニケーション論			
後期	6	教育文化の歴史			教えと学びの哲学
	7	教育コミュニケーション実践論			ゼミ

集中講義：障害児病理、学校における防災教育と心のケア、かかわりの発達心理学、特別支援教育課程論、コーディネート基礎論 ほか

授業がある日の1日



幼年教育・発達支援コース
2年
／児童発達支援事業所勤務
伊藤あゆみさん

学びと刺激の大学院生活

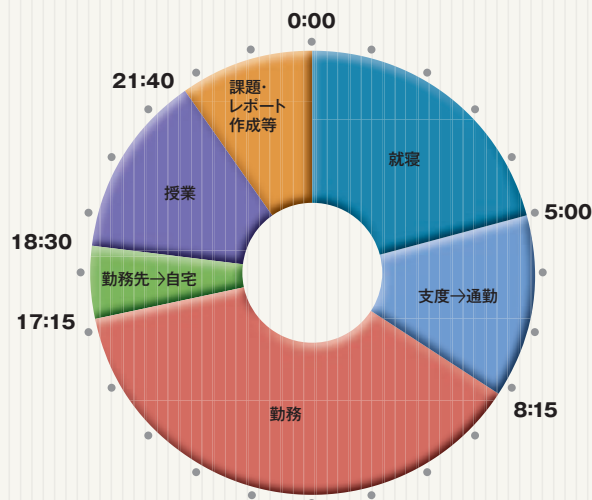
これまで研究ということに無縁だった自分が大学院に入学するに当たり、どのようなことをしていけばいいのだろう、またZoomでの授業で先生方とうまくコミュニケーションを取ることができるのだろうかという不安な思いがありました。実際に始めてみると、質問や相談には先生方がメールなどですぐに対応してくださり、Zoomでの授業は予想以上に受けやすく通学の時間削減にもなり、とてもありがたく感じています。そして、先生方をはじめ、院生の方々と話をする中でたくさんの学びや刺激をいただいています。長期履修制度を利用したことにより自分のペースで学ぶことができ、仕事との両立も可能となっています。今後も、楽しみながら学びを深めていきたいと思っています。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	子どもの生活と福祉			
	7			子どもの発達と学校の関わり	ゼミ
後期	6	子どもの生活と心理	グローバル社会の子ども学		
	7		子どもの生活と健康		ゼミ

集中講義：子育て支援演習、学校における防災教育と心のケア

授業がある日の1日





学校心理・学校健康教育・
発達支援コース2年
／心身障害者福祉センター
職員

山田紀子さん

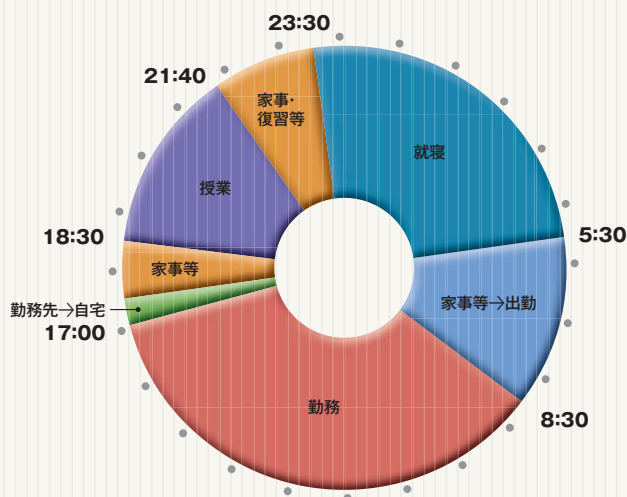
教員から心理職へ

以前は教員として勤務していましたが、現在は公認心理師として障害のある方やご家族への相談支援の仕事をしています。大学院で心理学を中心に学びたいという思いと、自分なりの相談支援の形を模索したいという思いから本コースに入学しました。遠方(群馬県)という点や仕事との両立という点で心配もありましたが、オンライン授業や長期履修制度のおかげで、余裕を持って学ぶことができています。素晴らしい先生方や仲間との出会いがあり、入学して本当によかったと感じています。3年間の学生生活でさまざまなことを学び、教育という視点も持ちながら、クライアントの人生を丸ごと受け止められるような支援者を目指していきたいと思います。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	情動・社会性発達論	心理統計研究法		
	7		心理統計研究法演習	発達・学習支援特論	
後期	6	発達アセスメントと支援			
	7		ゼミ	行動障害支援論	保健医療分野に関する理論と支援の展開(児童青年精神病理学)

授業がある日の1日



臨床心理学コース
令和7年3月修了
／公立小学校教諭

有兼章登さん

「今、ここで学べる」ことの幸せ

「発達障害や不登校傾向、そして心身面の不調を抱える子どもへの心理的サポートや支援方法」「教育相談の理論や技能の向上」について学ぶため、大学院に進学しました。学びを深めるため、臨床心理学コースの科目だけでなく特別支援教育専攻科目も履修しました。この2年間での学びは、自身を大きく成長させ、同時に「今、ここで学べる」という幸せを感じています。臨床心理学という学問の面白さ、さまざまな立場の方々との出会いによる刺激や興味の幅の広がり、そして自身の研究の探究。そのどれもが素晴らしい体験・学びとなり、私の人生の軸となっています。現場に帰ってもこの学びを生かし、子どもたちや保護者への支援につなげていきたいと考えています。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1				
	2			コーディネート概論	
	3	臨床心理基礎実習	臨床心理面接特論I	臨床心理査定演習I	
	4	臨床心理基礎実習	臨床心理学特論	臨床心理学の理論と方法	課題研究
	5				
後期	1			障害児病理	
	2				
	3	臨床心理基礎実習	行動分析学特論	臨床心理査定演習II	特別支援教育史
	4	臨床心理基礎実習	被害者と心のケア	臨床心理面接特論II	ゼミ
	5				

集中講義：家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践、臨床心理統計研究法、投映法演習、学校における防災教育と心のケア

学生の時間割を公開！



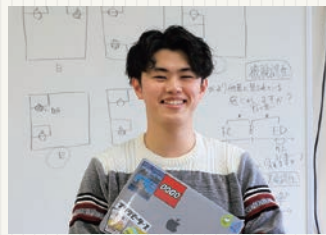
芸術表現系教育コース(音楽)
2年
／公立小学校教諭(音楽専科)
田中純子さん

多様な「学びたいこと」の実現

「音楽表現の知識や技能Ⅰ(声楽)」では発声法や歌唱法の知識に加え、演奏に必要な体の使い方や奏法を学べました。対面授業や個人レッスン形式で適切なフィードバックを受け、歌唱技能の上達を実感しています。「音楽科授業の指導計画と教材研究の演習」では教材解釈、授業改善に向けた学習指導案作成、模擬授業を行い、学校現場で生かせるような専門性と実践力を磨いています。また、特別支援に関する講義を通じて神経発達症やその具体的支援方法を学び、視野が広がりました。専門分野の研究や楽器練習の時間も確保しつつ、教科横断的に履修できることで、多角的で充実した学びが実現しています。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	特別支援教育研究		子どもの発達と学校の関わり	
	2		特別支援教育総論	音楽表現の知識と技能Ⅰ(声楽)	音楽表現の知識と技能Ⅲ(器楽)
	3			コーディネート概論	
	4				ゼミ
	5				
後期	1		音楽科授業の指導計画と教材研究の演習		
	2	音楽表現の知識と技能Ⅳ(日本伝統音楽)		子ども理解と学級経営の心理学	音楽教育の創意Ⅲ(器楽)
	3	特別支援教育課程論	障害児心理学研究		
	4	音楽表現の知識と技能Ⅴ(指揮)	音楽教育の創意Ⅰ(声楽)		ゼミ
	5				



生活・健康・情報系教育コース
令和7年3月修了
佐野聡一さん

新たな知見と出会いは貴重なasset

中学・高校(英語)の教員免許を持っており、このコースで学びを深めていけるのか不安でしたが、教科教育の枠にとらわれない幅広い科目があり、多角的・多面的な知見を深めることができました。時間割を組む際は、専修免許取得用の科目やコース科目を中心に、他コースの授業など、自分の興味関心に沿って履修しました。ストレート院生なので現場経験がなく、「実践」を考えながら学ぶのに苦労しましたが、授業で現職教員の方々と関わる機会があり、同じ院生からも学ぶことが多く、多様な学びから「実践」を考える多角的・多面的な知見を養い、充実した院生生活を送ることができました。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教育の歴史と教育理論の展開		子どもの発達と学校の関わり	
	2		教育コミュニケーション論		
	3		総合学習情報論	かかわりの発達心理学	
	4			教育の情報化とICT活用	ゼミ
	5				
後期	1	学校における防災教育と心のケア			
	2		教職員のストレスマネジメント	教育情報ネットワーク活用論	子ども理解と学級経営の心理学
	3				
	4			教育データ分析の理論と方法	ゼミ
	5		情報化教育環境開発論		



障害科学コース
令和7年3月修了
福井優月さん

学びが広がる2年間

本コースでは教育学、心理学、生理・病理、指導法、福祉・コーディネーターなど多様な学問領域からのアプローチを学ぶことで、特別支援教育に関する知識を深めることができます。学部3年次の小学校実習をきっかけに、特別支援教育についてもっと学びたいと考えていた私にはぴったりのコースでした。大学院では特別支援学校教諭1種免許状(3領域)と専修免許状(小学校、中高英語)の取得を目指しました。そのため特別支援教育に関する科目だけではなく、専修免許状取得に向けて学校心理や情報系の科目など興味のある分野を中心に時間割を組みました。1年次の初めに2年間の履修計画を組むことで、自分の時間が確保しやすくなり、充実した大学院生活を送ることができました。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	肢体不自由児指導論		子どもの発達と学校の関わり	
	2	教育コミュニケーション論		教育文化の歴史	
	3	生徒指導と学校教育相談		コーディネーター概論	ゼミ
	4			教育の情報化とICT活用	ゼミ
	5				
後期	1	学校における防災教育と心のケア		障害児病理	
	2	子どもの生活と心理	教職員のストレスマネジメント	子ども理解と学級経営の心理学	
	3		障害児教育基礎技能		グローバル社会の子ども学
	4		言語病理学	情動・社会性発達論	ゼミ
	5				

集中講義：障害児診断学、特別支援教育総論、総合芸術表現研究



発達障害支援実践コース
2年
／県立特別支援学校教諭
山田沙織さん

何より「対話」!!

私の大学院での学びの目的は、特別支援教育コーディネーターとしての専門的な知識を習得する!ということです。特別支援学校教諭の免許状は取得しているので、臨床発達心理士の受験資格のための授業とコーディネーターや通級に関する領域の授業を中心に履修しました。どの講義も座学のみではなく、学校現場や特別支援教育に関する課題やテーマについて議論したり、ワークショップをしたり、プレゼンを作り上げたり…と実践的な内容が多いです。その中で、「対話」の大切さを感じています。自分とは異なる意見、共感できる意見、新たな知見につながる意見…と「対話」をすればするほど自身の学びにつながっています。在学中に多くの方との「対話」を通して視野を広げていきたいです。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1			子どもの発達と学校の関わり	
	2	課題研究		特別支援教育リーダーのための創発的コミュニケーション	発達障害支援基礎実習
	3	特別支援教育論文講読と研究方法	課題研究	コーディネーター概論	発達障害支援基礎実習
	4	発達障害支援アセスメント演習	発達障害研究	学習障害児指導法演習	
	5	発達障害支援アセスメント演習		発達・学習支援特論(7時限)	
後期	1			発達神経医学	
	2	コーディネーター研究		課題研究	発達障害支援基礎実習
	3		発達障害支援ケース実習	課題研究	発達障害支援基礎実習
	4	発達障害支援ケース実習	子どもの発達支援	発達障害支援ケース実習	特別支援教育と教員間コミュニケーション
	5	発達障害支援ケース実習			

集中講義：個別の指導計画演習、特別支援教育と通常学級の授業づくり、学級経営

教育コミュニケーションコース

“かかわり”から教育を見つめ直す

今 社会のあらゆる領域でコミュニケーションの重要性が叫ばれています。とりわけ、教育においては、その諸問題がコミュニケーションの問題という観点から語られる傾向にあります。しかし、そこでコミュニケーションのハウツーのみを覚えても限界があります。教育は人と人とのかかわり、人と社会とのかかわりの中で成立するものです。それゆえ、教育の本質的な課題に取り組むためには、まず“かかわり”、すなわち関係性という点について深く考察することが不可欠です。

このコースでは、教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学・歴史学・社会学・心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究を行います。それらを通して、これまでの教育観や教育システムを問い直し、より良い教育コミュニケーションのモデルを探究します。



過去の修士論文テーマの例

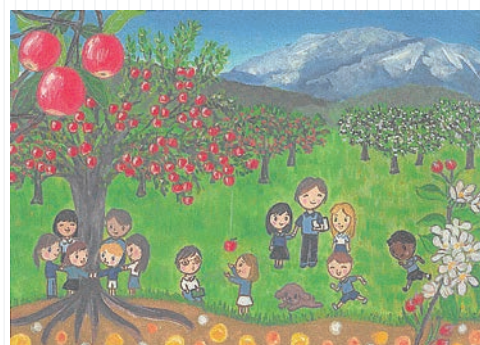
- ▶「道徳は教えられるか」―貝原益軒の教育思想を手がかりとしたそれが孕む諸問題の考察―
- ▶特別権力関係論を手掛かりとした校則による生徒の権利・自由の制限に関する考察
- ▶主体性の教育に関する批判的検討―M・フーコー「主体の解釈学講義（1981年・1982年）」から―
- ▶「共に生きる力」を育む学校に関する研究―「社会モデル」アプローチにより照射される教育目標に着目して―
- ▶朝鮮学校における母国語教育に対する認識に関する研究―教育者と学習者のアイデンティティに着目して―
- ▶小規模校という学校環境における教員の教職アイデンティティの形成
- ▶自己調整学習の観点からみた学習過程の多様性と学習者の個人差の検討―問題解決を主眼とする高校生の探究活動において考慮すべき要因として―
- ▶幼稚園で展開される「ひとり遊び」についての考察―観察を通して見える遊び姿の多様性に注目して―
- ▶経済連携協定に基づく外国人介護職員と日本人介護職員の職務継続意向について―職務面および生活面における満足度との関連から―
- ▶「謎解き読み」を基盤とした授業プログラムが読みの更新に及ぼす影響―中学国語科文学教材「盆土産」の実践を通して―
- ▶看護教育における社会保障制度の知識と実習を関連づける授業の研究―地域・在学看護論の授業実践を通して―
- ▶リフレクションを促す教育実践が言語聴覚士の後進指導に及ぼす影響―指導経験者を対象としたワークショップを手がかりにして―
- ▶学校でシティズンシップを育むための体験活動に関する研究―デュイの経験論における「試みること」と「被ること」の検討から―
- ▶「わからないこと」に対する教師と子どもの協同的探究―ウィットゲンシュタインの言語ゲーム論を手がかりとして―
- ▶日本語教育における意味の伝達と創造に関する研究―言語行為におけるコンテキストの共有と意味の脱構築に着目して―

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 須田康之 ※2	教育社会学	教えと学びの社会学	ようこそ教育コミュニケーションコースへ。子どもがよりよく学ぶ要件を探り、その機会を保证するために、実際にどのように学んでいるのかを共に探究しましょう。
 教授 吉國秀人	心理学、 教育心理学、 教授学習過程	教えと学びの心理学	学校の授業場面とのつながりを大切に、実験的構想を駆使し、教授学習過程への理解を深めていきたいです。
 教授 大関達也	教育哲学、 解釈学、 教養論	教えと学びの哲学	文化的背景の異なる他者と共生する社会を築くために、対話による教養教育の可能性を探究します。
 准教授 平野 亮	教育学、 教育史、 教育思想	教育文化の歴史	過去を探り、現在(私たち)の自明性を問い直す歴史のアプローチから、〈教育〉について考察します。
 講師 石川遥至	感情心理学、 臨床心理学、 パーソナリティ心理学	人間理解の心理学	日常の思考や行動を成り立たせる心の働きを探り、(自分自身を含む)人間という存在について考えていきましょう。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定



教育コミュニケーションコースをイメージして描かれた絵

Voice

このモヤモヤは何だろう

教育コミュニケーションコース2年

中西 覚さん



「教育コミュニケーションコースってどんなことをされているんですか」。大学院の中でもよく聞かれる質問で、きっとこれを読まれている方も関心があることでしょう。

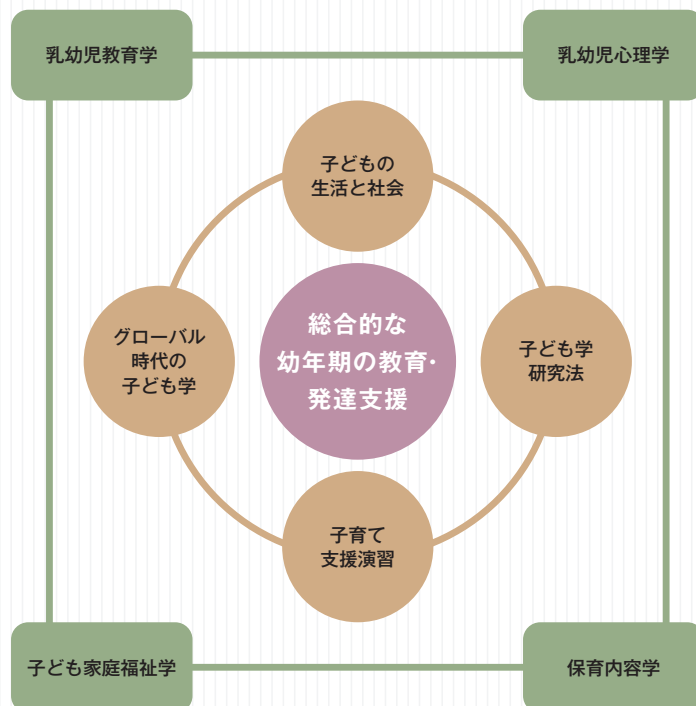
一言で答えるのは難しいですが、「かわり」をキーワードに、哲学、心理学、歴史学、社会学というさまざまな視点から、教育課題の根幹にある「コミュニケーション」を問い直しています。

コースでは、教育の中で感じてきたモヤモヤとしたものを対話を通して浮かび上がらせ、問い直す日々を送っています。うまく説明できないけれど、本当にそうなのだろうか、そんなモヤモヤを抱えている人、問い直したい人にお勧めのコースです。

幼年教育・発達支援コース

子どもとともに希望ある未来をつくる

幼 年期は、遊びや生活の中の具体的な体験を通して生きる力の基礎を培う重要な時期です。幼年教育・発達支援コースでは、「乳幼児教育学」「子ども家庭福祉学」「乳幼児心理学」「保育内容学」の4つの領域を基盤とし、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼年期の教育について、家庭や小学校との関連性を視野に入れながら、教育・研究を積み重ねてきました。さらに、子どもをめぐる現代的な諸問題に対応するため、領域横断科目として「子どもの生活と社会」「グローバル時代の子ども学」「子育て支援演習」「子ども学研究法」の4つを設定しています。以上のようなカリキュラム構成により、現代にふさわしい幼年期の教育・発達支援の理論と実践の構築を目指しています。さらに、本学の子育て支援ルームや地域の子育て支援施設での実践を通して、地域での子育て支援のリーダーを養成する「子育て支援コーディネーター養成プログラム」を開講しています。「子どもの生活」にまなざしを向け、共に希望ある未来を切り拓いていきましょう。



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 保育施策転換期における課題解決プロセスに関する検討—保育指導主事経験者へのインタビューを通して—
- ▶ 幼稚園型認定こども園3歳児クラスにおける進級園児と新入園児の関わりに関する研究—遊び入れ・遊び入り場面に着目して—
- ▶ フィンランドの多文化保育実践に関する研究—言語支援に着目して—
- ▶ 幼児教育の場における柔らかな家具の意義—臥位に着目して—
- ▶ 幼年期の育児における母親と父親のソーシャルサポートに関する研究
- ▶ 在留外国人と母国に暮らす子女の子育て—ベトナム女性の実践から—
- ▶ 食塩摂取に関する親の意識と知識が幼児の食生活と健康状態に及ぼす影響—アンケート調査に基づく検討—
- ▶ 社交不安傾向の高い子どもと対人関係—5歳児を対象とした実験と観察による検討—
- ▶ 新人保育者の「やりがい」に関する研究—「自己エスノグラフィー」を用いた分析を通して—
- ▶ 先天性心疾患児とその母親への子育て支援のあり方
- ▶ 3～5歳児の自己制御能力の発達と保育者の援助—遊びの事例に基づく検討—
- ▶ 日本における外国籍の子どもをうけもつ養育者の子育てに関する研究
- ▶ 粘土表現の歴史的変遷過程に関する研究—保育雑誌の記載内容に着目して—
- ▶ 幼児期における捕球動作と一致タイミング見越し能力との関連

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 石野秀明	発達心理学、 教育心理学	子どもの生活と心理、 子ども学研究法	変化が著しい環境にあっても、子どもが生き生きと過ごせるよう、拠るべき理論を共に探していきましょう。
 准教授 飯野祐樹	保育学、 幼児教育学	子どもの生活と教育、 グローバル社会の子ども学	専門は幼児教育学です。「保育の質評価」を基幹とし、カリキュラムや保育記録の国際比較を行っています。
 准教授 茶谷智之	子ども家庭福祉、 子育て支援	子どもの生活と福祉、 子どもの生活と社会	子育て家庭が抱える困難と向き合いながら、子どもがよりよく生きられる「環境」について共に考えていきましょう。
 講師 水落洋志	保育内容学、 幼児教育学	子どもの生活と健康、 子ども学研究法	未来を担う子どもたちのために、理論と実践を融合する力を共に高め合いましょう。
 講師 藤尾かの子	保育内容学、 音楽教育学	子どもの生活と表現、 子どもの生活と社会	幼年期の音楽表現を専門としています。理論と実践の往還により、子どもに豊かな感性や表現力を育むための方法を探求していきましょう。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定



子育て支援ルーム「かとうGENKi」

Voice

多様な実践的学び

幼年教育・発達支援コース2年

根本ゆなさん



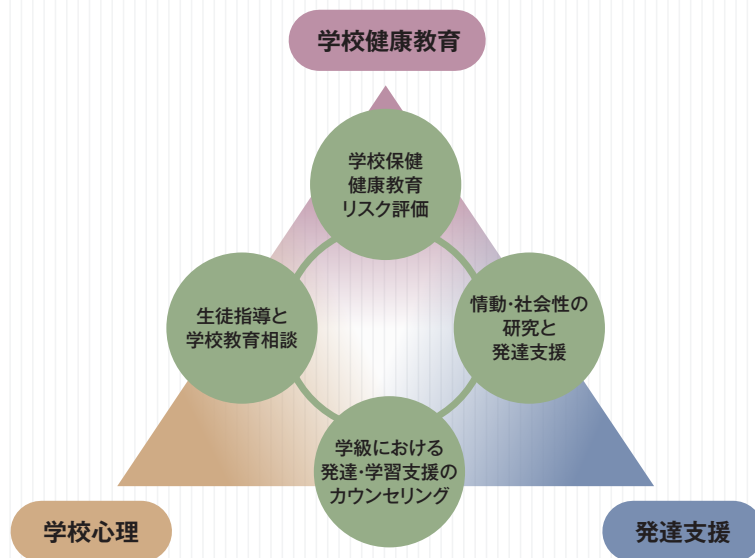
学部での学びから、これからの保育・教育に携わる者として何が求められているのか、また、どのような実践が学びに寄与するのか、さらには、それら実践がいかに理論と結び付くのかについて深く学びたいと思うようになり、大学院への進学を決めました。

講義やゼミでは、発達段階に応じた環境構成、子どもの認知を踏まえた関わり方、保育の歴史的変遷等について、昼間クラスの学生（ストレート院生、現職学生）はもとより、時にフレックスクラスの学生とも交流しながら学びを深めています。このようにさまざまなキャリアを有する学生からの多様な意見に触れることで、自身の思考形態や価値観に気付いたり、新たな気づきや発見に出会ったりしています。

学校心理・学校健康教育・発達支援コース

こころとからだの発達支援と教育を究める

学 校心理・学校健康教育・発達支援コースは、「学校心理」「発達支援」ならびに、「学校健康教育」の3つの領域にまたがるコースです。その中で①生徒指導と学校教育相談、②学級における発達・学習支援のカウンセリング、③情動・社会性の研究と発達支援、④学校保健と健康教育、健康に関連するリスク評価を4つの柱として、児童生徒に対する心理教育的対応、予防的介入を含めた発達支援、学校健康・安全教育、リスク評価、校内連携など、学校内外の専門家や諸機関との協働ができる知識と実践力を養います。



授業をクローズアップ！

子どもへの支援を考え実践する

学校臨床心理学演習

担当：藤原和政教授



子 どもへの支援について、子ども個人、学級集団などの環境をアセスメントする視点や、個人と環境の相互作用を理解するための理論を学びます。その上で、いじめや不登校などに対するアプローチをグループで考え実践することを通して、よりよい支援の在り方について検討します。

ディスカッションを重視

子どもの発達支援

担当：細谷里香准教授

子 どもの発達と環境との関わりについての基礎的知識を踏まえた上で、保育・教育現場における子どもの発達支援に関する理論と実践例を学びます。支援する者として新たな気付きが得られるよう、異なる背景を持つ受講者同士のディスカッションを重視しています。



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 愛着に課題のある児童の学級適応感に関する研究
- ▶ 中国の経済状況が困難な地域で暮らす子どもに対するレジリエンス育成プログラムの効果
- ▶ 中学生のひきこもり親和性に関する研究
- ▶ 小学生におけるインターネット依存傾向とQOL及び睡眠習慣との関連
- ▶ 児童生徒の学校健康診断及びその結果に対する認識と活用
- ▶ 児童生徒の生活習慣改善の意思、取組、動機、方策などの実態及び認知的スキルとの関連性
- ▶ 他者受容をテーマとした絵本の読み聞かせによる心理的効果に関する研究
- ▶ 子どもの学業失敗場面における教師の知能観・失敗観と言葉かけとの関連
- ▶ 児童期における居場所感と自尊感情及び学校適応感との関連

担当教員

(令和7年4月現在)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
	教授 藤原和政	学校心理学、 教育心理学	生徒指導と教育相談、 学校臨床心理学演習	子どもの学校適応の促進を目的とした援助について、心理・社会面学習面に注目した研究に取り組んでいます。
	准教授 細谷里香	発達心理学	子どもの発達支援、 発達・学習支援特論	認知・社会的発達と他者との相互作用に関心があります。発達や学習について多角的に研究したいと思います。
	准教授 鳥取伸彬	運動生理学、 健康教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	子どもの健康に関連する生活・環境・教育について、身体活動に焦点を当てて研究を行います。
	講師 清水真由子	発達心理学	発達アセスメントと支援、 情動・社会性発達論	仲間関係の中で育まれる子どもたちの向社会性に着目し、教育や支援につながる研究を目指しています。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

学校心理・学校健康教育・発達支援コースで得られる受験資格

所定の条件を満たすことで受験が可能になります。

- ▶ 学校心理士
- ▶ カウンセリング心理士
- ▶ 臨床発達心理士

Voice

研究って楽しい!

学校心理・学校健康教育・発達支援コース2年

濱口雅代さん



経験と年齢を重ねていく中で、子どもたちへの対応はこれでいいのかな? 何かもっとできることがあるのでは? と思いながらも何となく働いていた日々。やっばりもう一度勉強しよう! と思い入学しました。年齢、職種、環境が違う仲間に出会い、大学の先生方から新たな学びを得ることで、視野が広がりました。日々の実践の大切さ実感するとともに、研究という視点を持つことの大切さを感じました。思うように進まないこともありますが、一つのことを突き詰めていくのは面白く、今後現場で生かしていけるように、と思いながら進めています。また、今しかできない経験をし、たくさんの刺激を受けながら充実した学生生活を送っています。

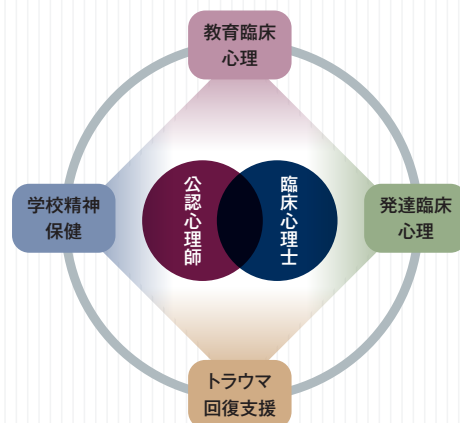
臨床心理学コース

学校現場で職場で地域で悩める人たちと共に考え、支援する人材を養成する

臨 床心理学コースでは、生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。

心理職には、①面接や心理テストなどを用いた心理査定技術、②臨床心理面接援助技法を適用した的確な対応・処置能力、③地域の心の健康活動にかかわる人的援助システムのコーディネートやコンサルテーション能力、④心理臨床実践に関する継続的な研究と社会への還元が求められます。これらに精通するための基礎的な知識と技術を身に付けることを目指しています。そこで、教育臨床心理、発達臨床心理、学校精神保健、トラウマ回復支援の4つの柱（分野）を設定し、その4つが協働して立体的なアプローチを行っています。教員の専門領域は、力動的アプローチ、行動論的アプローチ、EMDRなど多様で、幅広い方法論を学べます。

【昼間クラス（資格取得クラス）】



昼間クラス（資格取得クラス）は、神戸キャンパスで授業を行います。

令和6年度からフレックスクラス（心理支援実践力養成クラス）を開設しました。

フレックスクラスは、教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型のクラスです。勤務を継続しつつ、ICTやオンラインを活用して、自宅等から全ての授業を受講できます。本クラスでは、以下の実践力の養成を目指しています。

- ▶ 個々の事例の課題を見立てる（アセスメントする）力
- ▶ 個々の事例の介入ポイント・支援計画を明確化する力
- ▶ 事例の問題解決のために他職種連携・地域連携をする力

※講義科目は基本的にオンデマンド配信し、演習科目の一部は同期型オンライン授業です

対象

- ▶ 小・中・高等学校の教員で、子どもの不登校や発達の問題、保護者対応に悩んでいる方
- ▶ 対人援助職の方で、今の職場で臨床心理学の知識と技能を生かしたい方
- ▶ 心理職関連の資格を既に持っている方で、心理支援の実践力を高めたい方

※フレックスクラス（心理支援実践力養成クラス）では、公認心理師および臨床心理士の受験資格は取得できませんが、両資格に係る高度な専門科目を履修でき、所定の単位を修得し、修了した者には、本学独自の「心理支援実践プログラム」修了証書を授与します



令和7年度から厚生労働省認可職場適応援助者養成研修を昼間クラス生対象に開設しました。詳しくはp.60へ

※対象人数を10人に限定しています。応募・受講方法の詳細については入学時にコースから案内します

Voice

成長を支えてくれる 学びの環境



臨床心理学コース（昼間）
令和7年3月修了
井本万里永さん

多角的な視点からの学びを得られるため、自分の専門性についてじっくりと研ぎ磨く2年間になりました。困難に直面した時には幅広い専門分野の先生方から、それぞれの視点に基づいた的確な指導を頂ける環境が整っています。また、豊かなバックグラウンドのある多くの仲間の温かい言葉の支えもあり、研究と臨床の両面で成長することができました。今後はこの学びを生かし、専門家の一員として社会に貢献していきたいです。

心理支援実践力を 磨く学び



臨床心理学コース
（フレックス）2年
松本咲子さん

教員退職後、スクールカウンセラーとして勤務する中、心理支援について力不足を感じていた時に、仕事をしながら自宅で学ぶことができる本コースフレックスクラスの開設を知りました。心理支援実践事例研究では、オンライン上で多職種のメンバーと事例について意見交換をする中で、自分にはなかった視点に気付き、いい刺激を受けています。課題研究では各先生方の専門分野から深く学ぶことができ、まさに自分が求めている学びがここにあります。

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
教授 市井雅哉 ※1	臨床心理学、 認知行動理論、 EMDR	トラウマ回復支援論I・II	PTSD、ストレス、不安、うつなどの査定、効果的な対処方法、援助方法について研究しています。
教授 海野千畝子	子ども虐待対応臨床、 統合的心理療法、 動物介在療法	被害者の心のケア、 臨床心理基礎実習	現場に役立つ介入について研究しています。臨床技法には、解離に焦点を当てた心理療法を実践しています。
教授 宇治雅代	精神医学、 臨床行動科学、 精神分析的精神療法	保健医療分野に関する理論と 支援の展開	精神療法に重きを置く精神科臨床と心理社会的視点からの研究を行う中で、常に好奇心と探究心を持ち続けたいと考えています。
教授 遠藤裕乃	臨床心理学、 精神力動的的心理療法	臨床心理面接特論I・II	精神力動的的心理療法に家族療法、短期療法の技法を取り入れ、実効性のある心理支援モデルを探索しています。
教授 佐田久真貴	臨床心理学、 応用行動分析学	教育分野に関する理論と支援 の展開、 発達障害心理臨床特論	臨床技術の研鑽と、さまざまな専門家との協働を大切に、子どもたちとその周囲の人々への支援に取り組んでいます。
教授 伊藤大輔	認知行動療法、 ストレス科学	臨床心理学特論、 臨床心理面接特論I・II	実証的根拠に基づいた心理学的支援（被害者支援や復職支援、ストレスマネジメント等）を検討しています。
教授 池田浩之	障害者就労支援、 認知行動療法、 発達障害	産業・労働分野の理論と実践、 福祉分野の理論と実践	認知行動療法を通じた、精神障害や発達障害のある方々への就労支援を専門としています。
准教授 嶋崎まゆみ ※1	行動分析学、 応用行動分析	発達障害心理臨床特論、 福祉分野に関する理論と支援 の展開	知的障害や発達障害のある子どもの療育と、保護者や教員のサポートを行っています。
准教授 上田勝久	臨床心理学、 精神分析的心理療法	教育相談論、 保健医療分野の理論と支援 (精神保健学特論)	力動的、精神分析的な実践知を、さまざまな現場で柔軟に活用していく方法について模索しています。
准教授 大塚貞男	臨床心理学、 精神神経科学	保健医療分野に関する理論と 支援の展開（児童青年精神病理学）	精神疾患や発達障害の認知機能（感情認知、心の理論、感覚統合、記憶、遂行機能等）に注目した心理学的介入および査定の有用性について研究しています。
准教授 永山智之	心理臨床学、 力動的的心理療法、 思春期・青年期的人格発達	臨床心理実習、 教育分野に関する理論と支援 の展開	①箱庭や描画、グループの現代的活用法②心理療法でのミクロな変化を捉える理論・技法を研究しています。
講師 池田龍也	臨床心理学、 異常心理学	臨床心理統計研究法	解離やトラウマの発生や影響について、主に定量的に研究しています。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

過去の修士論文テーマの例

- ▶ マインドフルネス傾向とPTSD症状の関連—トラウマ関連の否定的認知や回避行動を媒介して—
- ▶ 初任心理職者のリアリティ・ショックに組織社会化が及ぼす影響の検討
- ▶ 年代別にみるキャリアビジョンとワークエンゲイジメント及び職業性ストレスの研究
- ▶ 発達障害のある子どもを育てる母親のPTGにおけるコーピングとソーシャルサポートの役割
- ▶ PBS（ポジティブ行動支援）を活用した校内支援体制構築が教師の支援行動に及ぼす効果
- ▶ 眼球運動が脅威刺激に対する注意に与える影響
- ▶ 青年期におけるグループ箱庭心理教育プログラムの試み—対人恐怖心性に着目して—
- ▶ ライフストーリーワーク実施者の内的体験過程に関する質的研究

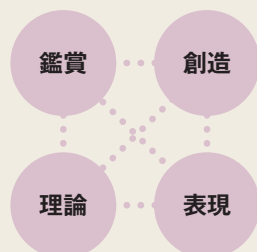
芸術表現系教育コース

芸術への理解と技能を深め新たなステージへ

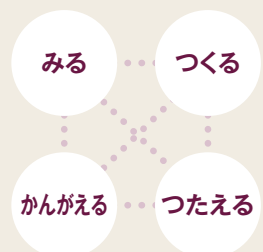
芸 術表現系教育コースは、音楽と美術における芸術教育とこれに関わる諸事象を研究領域とし、表現や鑑賞の能力に関する総合的理解を基盤として、芸術教育に関する理論と実践の融合を目指し現代社会の抱える諸問題に対処するための教育研究を行っています。音楽分野は声楽、器楽、音楽科教育学等を柱に、美術分野は絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史学、美術科教育学等を柱に、それぞれ理論と実技の両面における創造的かつ実践的な研究に取り組みます。芸術棟には、視聴覚室、ML教室、合奏練習室、ピアノ練習個室、音響設備の整った講堂および絵画、彫塑、デザイン、工芸、窯芸、版画等の充実した実習室を完備しているほか、アート・ラボ、教材作成や授業研究のための演習室や院生研究室もあり、高度な演奏・制作・研究活動が可能です。



音 楽は、現代社会において見過ごされてきた感性の回復を目的とし「理論、創造、鑑賞、表現」という4つの視点に基づいて実践的な音楽教育の確立を目指しています。



美 術は、理論と制作の両面における創造的かつ実践的な美術教育の確立を目指し「かんがえる、つくる、みる、つたえる」という4つの作業を相互に関係付けながら新しい教育方法を探っています。



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 中学校音楽科における音楽的基礎力育成のための教材開発に関する研究—フォルマシオン・ミュージカルを視点として—
- ▶ 児童の表現力育成をめざす音楽指導に関する研究—小学校音楽科における表現活動の本質を求めて—
- ▶ 思いや意図を持った歌唱表現を育むための指導法—言語活動に着目して—
- ▶ 絵画を用いて「聴く」耳を育む小学校音楽科教材の研究
- ▶ 中学校音楽科における「永続的な理解」につながる学びと評価—「逆向き設計」と「汎用的能力」を用いた単元開発を通して—
- ▶ 児童の美術造形学習における身体関与の価値への視点に関する研究:「身体化された認知」の射程へ
- ▶ 《ぼやけた画像》をめぐる認識と想像力についての一考察—「見ること」に関する教育実践とその理論—
- ▶ 高村光太郎の彫刻と詩の関係について
- ▶ メディア・リテラシー教育におけるポスターデザイン学習の可能性
- ▶ 中学校美術における皮革教材の可能性について

担当教員

(令和7年4月現在)

音楽

	教授 野本立人	声楽、合唱	音楽表現の知識と技能Ⅰ(声楽)、音楽表現の創意Ⅰ(声楽)、音楽科授業の指導計画と教材研究の演習	声楽曲および合唱曲の演奏と解釈。発声技法の実践的研究。また、合唱指導法についても研究しています。
	教授 河内 勇	器楽(クラリネット)、吹奏楽指揮法、合奏指導法	音楽表現の知識と技能Ⅲ(器楽)、音楽表現の創意Ⅲ(器楽)、音楽科授業の指導計画と教材研究の演習	専門はクラリネット。高度な専門性を生かした個人指導から初級者のための集団指導まで幅広く研究しています。
	准教授 岡本信一	音楽科教育学、教育方法学、カリキュラムデザイン	音楽科の教材開発と実践研究、音楽科カリキュラム研究	音楽に対する子どもの認知過程を視点としたカリキュラム開発や授業研究を、学際的・実践的にを行っています。
	准教授 井上朋子	ピアノ、音楽教育学、芸術教育学	音楽表現の知識と技能Ⅱ(鍵盤)、音楽教育の創意Ⅱ(鍵盤)、アート・コミュニケーション演習	ピアノやピアノを含む室内楽の演奏法と指導法、ならびに領域・教科を横断した総合的な表現教育の可能性について研究しています。
	教授 河邊昭子	音楽科教育学	音楽科授業の指導計画と教材研究の演習	音楽科の授業構成論を踏まえ、実践的知識と実践的思考を伴う教材開発力の育成を目指します。

美術

	教授 高木厚子 ※1	図画工作科教育、美術科教育	図画工作・美術科学習論、図画工作・美術科教育研究	図画工作・美術科の授業および学習支援について、心理・認知過程に着目しながら研究・教育を進めています。
	教授 喜多村明里	美学美術史学、イタリア美術文化史	美術史学の基礎と批評、美術批評と「鑑賞」教育	美術作品をめぐる感性と知性の融合と拡張、真の芸術体験と鑑賞批評の教育について、真剣に考えよう。
	教授 村上裕介 ※1	彫刻(彫塑、乾漆、木彫など)	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑表現を通じて人と美術の関わりについて思索し、制作および伝える(教育)力の向上を目指します。
	教授 大西 久	絵画(素描、水彩、油彩画など)	造形活動の基礎Ⅰ(絵画)、造形表現の知識と技能Ⅰ(絵画)	絵画における「描く」「見る」「考える」の意義と関係について、多様な視点と柔軟な思考で探究しよう。
	教授 浅海真弓	工芸(陶芸、立体造形など)	造形活動の基礎Ⅳ(工芸)、造形表現の知識と技能Ⅳ(工芸)	工芸の実技と理論を担当。陶芸を中心に、工芸の素材・技法を用いた造形表現の可能性を探究しています。
	教授 前芝武史	彫塑・デッサン、美術解剖学	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
	教授 垣内敬造	デザイン(デザイン理論、デザイン史)	造形活動の基礎Ⅲ(デザイン)、造形表現の知識と技能Ⅲ(デザイン)	歴史や理論からデザインの概念を捉え直し、現場での実践に結び付けてデザインを体得します。

※1:令和8年3月退職予定 ※2:令和9年3月退職予定

Voice

教育も音楽も学べる環境で成長を実感



芸術表現系教育コース(音楽)
2年

早矢仕千尋さん

大学ではピアノ専攻でしたが、音楽を多角的に学び直したいと考え、本学に入学しました。授業ではクラリネットやバイオリンをはじめさまざまな管弦楽器を体験することで新しい気付きを得られ、声楽やピアノ、創作など広く学ぶことで音楽への理解を深められています。先生方からのアドバイスはピアノを続けていく上でも、とても勉強になっています。やりたいこと、学びたいことが尊重される環境で、充実した大学院生活を送っています。

答えのない問いと向き合う力



芸術表現系教育コース(美術)
2年

久保田浩光さん

美術の授業では、現実社会の複雑な問題に似た、正解が一つに定まらない課題に取り組めます。大学院での学び直しを通じ、この「答えのない問い」に向き合い、美術教育の可能性を探究しています。STEAM教育におけるデザイン思考や対話型鑑賞教育など、新たな指導法開発に挑戦中です。現職教員として、生徒たちと共に成長しながら美術教育の新天地を切り開いていく。このわくわくする挑戦が、私の原動力です。

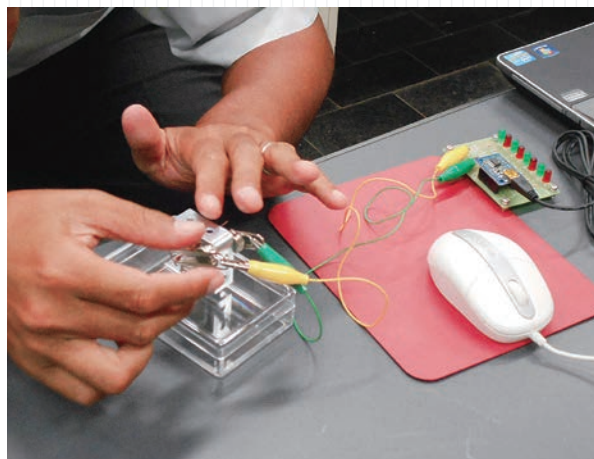
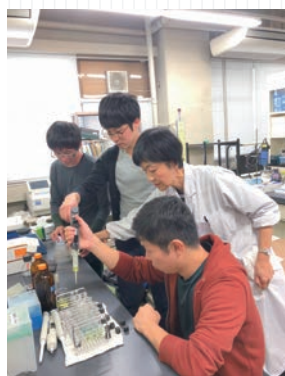
生活・健康・情報系教育コース

Imagination & Creation for Life — 想像から創造へ

生活環境の変化に対応するためには、「健康で豊かな生活を営む力」や「主体的に問題解決する能力」が求められています。このコースでは、これらの力を培うために必要な高度な知識と技能を身に付けるとともに、授業の内容と方法を開発・実践・省察することに取り組めます。

そして、保健体育、技術・家庭、工業、情報に関わる専門的な教科内容を学び、各教科の教育や授業の実践を深化させることを目指します。また、教科の枠を超えたスポーツ文化、食育、健康、環境、情報（ICT活用）、ものづくり等の複合領域についても教育・研究に取り組めます。健康教育について重点的に学びたい方のために、学校心理・学校健康教育・発達支援コースと連携した「健康教育実践プログラム」も開設しています。

合言葉は、“Imagination & Creation for Life”。想像したことは創造できる。幅広い研究を通して豊かなライフスタイルの実現を目指します。



Voice

意欲的に学ぶことができる場所

生活・健康・情報系教育コース
令和7年3月修了
辰巳朔奈さん



家庭科教育の学びをさらに深めたいと思い、本学へ入学しました。先生方の熱心なご指導や同じ思いを抱いた仲間たちとの出会いで、とても意欲的に学ぶことができました。

本学では、教育現場を経験している先生方や現職教員として働いている方と一緒に学ぶことができます。また、授業はコースの垣根を越えて選択することが可能なので、専門の分野だけでなく、幅広い知識を身に付けることができます。

修了後は教員になることを目指しているので、先輩の先生方から具体的なアドバイスを受けたことや、意見交流ができたことは大きな収穫でした。これから、さまざまなことに興味を持ち、学び続ける教員になります。

Voice

年齢や経験を超えて広がる学びの輪

生活・健康・情報系教育コース
令和7年3月修了
中上智貴さん



学びと挑戦に満ちた大学院生活では、現場では得られない新しい視点や経験を通じて、考え方を見直し、視野を広げることができました。私は「音楽リズムに合わせた運動が子どもの脳を活性化させるのか」という研究に挑戦しましたが、統計、論文読解に苦戦し、自分の限界を感じることも多々ありました。それでも、コースやゼミを超えた院生仲間の支えで課題を乗り越えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、私は年齢が高い方でしたが、若い仲間たちが快く受け入れてくれました。幅広い年齢層が互いを尊重し合いながら学べる環境の素晴らしさを実感しました。先生方の親身なサポートや意見交換の場も大きな力となりました。

Voice

本当の「学び」に
気付く場所

生活・健康・情報系教育コース
令和7年3月修了
辻村実央さん



技術・情報分野は、携わる教員の得意・不得意によって扱う内容や取り組む姿勢が大きく異なります。入学前、この分野に苦手意識を抱いていましたが、今では現場に戻って積極的に活用していきたいと思っています。本コースでは、授業やゼミを通じて、ICT等の効果的な活用方法だけではなく、目的やプロセスを明確にすること、そして物事に対して「why」や「how」といった問いを持ち、それについて深く考えることの大切さを学びました。

また、大学院生活では、学生の学びに寄り添ってくださる先生や共に高め合える仲間の存在が、学びへのモチベーションとなりました。大学院は、学ぶことの楽しさや深さに触れることができる場所です。

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 上原 慎弘	身体教育学、 体育科教育学	保健体育科授業研究	学習成果(態度、技能)を高める教員の言語的相互作用を中心に研究を進めています。
 教授 森田 啓之	体育・スポーツ原論、 身体教育学	スポーツ文化論、 地域スポーツの運営と課題	学校体育(授業や部活動)の在り方、また社会体育(地域スポーツクラブ)との関係について研究しています。
 准教授 中須 賢巧	健康・スポーツ科学、 身体教育学	保健体育科教育論、 スポーツ心理学	専門は体育心理学、体育科教育学。特に体育授業における動機づけ雰囲気に関心があり、研究を進めています。
 准教授 吉本 隆哉	バイオメカニクス、 運動生理学、 トレーニング科学	身体運動科学、 運動指導の基礎と応用	スポーツパフォーマンスを向上させるための科学的アプローチについて、体力と技術の要素から研究を進めています。
 教授 西井 茂喜 ※2	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教材研究・授業づくり	状況判断力を高める指導、運動イメージの形成を促す指導、身体コミュニケーションに着目し集団凝集性を高める指導について研究を進めています。
 教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
 准教授 鳥取 伸彬	運動生理学、 健康教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	子どもの健康に関連する生活・環境・教育について、身体活動に焦点を当てて研究を行います。

※1:令和8年3月退職予定 ※2:令和9年3月退職予定

過去の修士論文テーマの例

- ▶陸上競技中長距離選手の競技力に下腿筋の力学的特性が与える影響
- ▶小学校体育授業における教師の言語的行動に関する研究—運動前後のCueとフィードバックに焦点を当てて—
- ▶「学校教育の一環」たりうる運動部活動のあり方—目的および方法の視点から—
- ▶中学校体育における生徒の劣等コンプレックスに関する研究
- ▶学校の食育推進の評価に関する実践的研究—栄養教諭の関わりに着目して—
- ▶包括性教育の視点をふまえた高等学校家庭科の授業構想
- ▶高等学校通信制課程家庭科における添削指導問題の基本構造及び作成手順の開発と評価
- ▶自立活動におけるプランニングを対象としたASD児向けデジタル教材の検討
- ▶システム工学の考え方に基づく中学校技術科における最適化思考の構造化
- ▶中学校理科「電流とその利用」のための科学的な概念形成を支援するアニメーション教材の開発

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 小山英樹	電子工学	電気・電子工学とものづくりの技術、計測・制御システム教材研究	LEDやトランジスタなどの電子部品の特徴を生かした、シンプルで使いやすい教材の開発を進めています。
	教授 森廣浩一郎	科学教育・教育工学、教育工学	教育情報コミュニケーション、総合学習情報論	学びを支援するシステムの構築やそれを用いた教育実践について、さまざまな学校種・教科等で考えてみませんか。
	教授 小川修史	教育工学、Assistive Technology、特別支援教育	教育情報工学、教育の情報化とICT活用	障害者のQOLを高めるICT活用や、そのための教員研修について研究しています。一緒に研究しませんか。
	准教授 掛川淳一	教育工学、学習支援システム	情報工学とプログラミングの技術、情報化教育環境開発論	知識工学・認知科学的なアプローチに基づく学習／教育支援システムについて、一緒に検討していきましょう。
	准教授 緒方思源	感性工学、ソフトコンピューティング	教育情報ネットワーク活用論、教育情報コミュニケーション	データ科学・AIを用いて感性・芸術の世界で価値を創造できる人材の育成に役立つ感性工学とAI芸術の研究を進めています。
	准教授 澤山郁夫	教育工学、情報教育	情報社会と生活、教育の情報化とICT活用	e-Learningやアプリ開発を通して、問題解決や行動変容のための方法論を研究しています。無気力・無関心に陥らない新しい「学びの仕組み」を一緒に考えましょう。
	教授 岸田恵津 ※1	調理科学、食育・栄養教育	食育の考え方と進め方、生活科学演習	食の課題解決に向けて科学的にアプローチします。研究を通して物事の本質を見つめる習慣を養いましょう。
	教授 永田智子	家庭科教育学、教育工学	家庭科授業論、教育の情報化とICT	小中高の家庭科教育、特に授業づくりについて研究しています。授業におけるICT活用についても研究しています。
	教授 永田夏来	家族社会学、生活科学、家政・生活学一般、生活経営学	ライフスタイルと家族	家族社会学を専門としています。若者の結婚や妊娠出産を中心に、社会について考えてみませんか。
	准教授 小林裕子	家庭科教育学、被服学	家庭科授業研究	家庭科教育上の課題解決を目指す授業や教材の開発、持続可能な衣生活に関する研究を進めています。
	講師 森井沙衣子	調理科学、食生活科学	食生活の科学と文化、ライフスタイルと健康	調理により食べ物に起こる現象を科学的に分析し、そのメカニズムや原因を明らかにするための基礎研究や、それらを食生活に応用する研究に取り組んでいます。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

障害科学コース

総合的な専門性に裏付けられた支援力

特 別支援教育の対象となる障害には、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害（LD、ADHD、ASD等）、重複障害等があり、これらは多様な教育的ニーズとして捉えることができます。今日では、多様な教育的ニーズのある児童生徒が同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供するための「連続性のある多様な学びの場」が求められます。

それに応えるために本コースでは、「実践する力」「連携する力」「研究する力」の3つの力の養成を目指しています。この「実践力・連携力・研究力」は、次の3つの専門性で構成されます。

- ①多様な障害に関する特性の理解
- ②障害児・者、保護者、学校・学級等への支援
- ③地域における支援システムの構築

これらについて、教育学、心理学、生理・病理、指導法、福祉・コーディネートといった多様な学問領域からのアプローチを学ぶことにより総合的に3つの専門性を高めていきます。

■総合的な専門性の概念図



令和6年度からフレックスクラスを開設しました。

フレックスクラスでは、勤務を継続しつつ、オンラインを活用し、自宅等から授業を受けることができます。昼間クラスとは、開講授業科目や研究指導等の方法が異なります。詳細については、本学ウェブサイトの「障害科学コース（フレックスクラス）」または大学院説明会（オンライン等）でご確認ください。

過去の修士論文テーマの例

- ▶自閉スペクトラム症のある中学生に対する認知行動療法アプローチ
- ▶障害児を養育する外国人保護者が抱く特別なニーズ
- ▶不登校児童生徒への動画配信プログラムの提案
- ▶人工呼吸器を使用する児童生徒の教育機会保障に関する研究
- ▶小学校の通常の学級担任に対するコンサルテーションの効果の検討
- ▶日本での2E教育の在り方についての文献的検討
- ▶知的障害特別支援学校における生成AI対話システムの導入
- ▶滝乃川学園成立前史の研究
- ▶特別支援教育への不安軽減を目指す小学校教員養成の在り方
- ▶幼児期から人工内耳を装用する成人聴覚障害者のライフストーリー研究

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 井澤信三	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	障害児心理学研究、 行動障害支援論	個人、学校、地域における応用行動分析学に基づいた アプローチの実践と研究を一緒にやりましょう。
 教授 石倉健二	自立活動、 心理リハビリテーション、 協調運動困難	肢体不自由児指導論、 病弱児指導論	自立活動や心理リハビリテーション、関係機関との連 携を通じて、障害のある方々の発達と生活上の困難の 軽減について実践と研究を行っています。
 教授 高野美由紀	早期発見・早期支援、 医療と教育の連携、 知的障害児者とのインタラク ティブな語り	障害児病理、 障害児保健研究	「子ども、家族、支援者がそれぞれに充実した一日を送 る」を一緒に追究していきましょう。
 准教授 中島武史	ろう教育研究、 社会言語学、 障害学	聴覚障害教育基礎技能、 聴覚障害児指導法	手話やリテラシーなどをキーワードに、ろう教育につ いて一緒に考え、新たな実践を探ってみませんか。
 准教授 石井智也	特別支援教育学、 特別ニーズ教育学、 日本教育史	特別支援教育研究、 特別支援教育特論	障害・特別ニーズを有する子ども一人一人の声に応じ た発達支援について、主に歴史研究を通して検討して います。
 講師 丹所 忍	先天盲児の空間認知、 盲学校におけるセンター的取 り組み	視覚障害児教育論、 視覚障害児指導法	見えない・見えにくい子どもの学びから、見やすく・分か りやすい教育の在り方についても考えています。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

授業をクローズアップ!

心理学からの障害の理解と支援へ!

障害児心理学研究

担当教員: 井澤信三教授、石倉健二教授



知 知的障害等のある人を理解・支援する
ために、発達心理学(情動、認知、共
同注意、感覚・知覚と運動動作等)と学習心
理学(オペラント・レスポナント条件付け、
認知的アプローチ等)という2つの視点か
ら、講義と演習を通して具体的に学んでい
きます。

「自立活動」を適切に実施するために!

特別支援教育における学校臨床心理学演習 等

担当教員: 井澤信三教授、石倉健二教授、岡村章司教授、石井智也准教授 他

特 別支援学校の専門性の中核といえる
「自立活動」を適切に実施できるよ
う、教育課程、指導法、個別の指導計画など
について取り扱っています。特に、発達心理
臨床研究センターを利用したの実習や研修
を行うことで、実践的な力量を向上させるた
めの機会を設けています。



Voice

子ども理解の解像度を
上げる学びの旅へ

障害科学コース

令和7年3月修了

太田詳次郎さん



小学校で向き合う教育課題、子どもたちの多様なニーズ、そして悩める保護
者たち。その背景にある本質を深く理解したいと願い、大学院の扉をたたきま
した。

この2年間は、まさに知的探求の旅。

現場での臨床経験を理論で裏打ちし、エビデンスベースの学びを通じて、自
分の考え方や視点が大きく広がるのを実感しました。さらに、同期との切磋琢
磨、先生方の熱意ある指導によって「新たな自分」と出会う感動の日々でもあり
ました。

学ぶことに年齢は関係ありません。皆さんも新たな一歩を踏み出してみませ
んか。その一歩が、子どもたちの未来を変えるかもしれません。

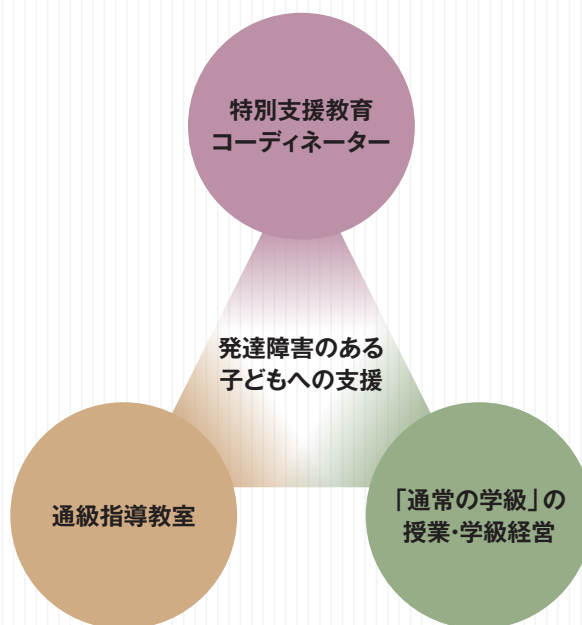
発達障害支援実践コース

すべての子どもにより良い支援を!

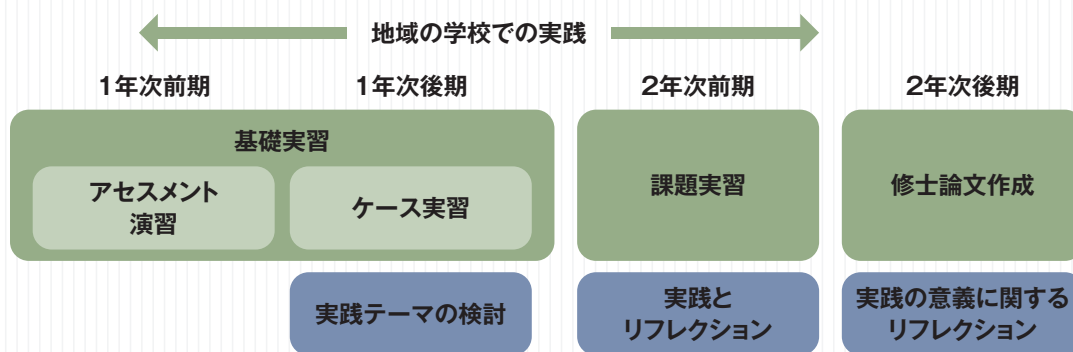
特 別支援教育における課題の解決を自ら主体的に考え、地域や学校で中核となって活動する特別支援教育担当者の育成を目指しています。通常の学級担任・教科担当者にも発達障害支援の実践力（例えば、ユニバーサルデザインの授業）が求められていることから、ストレート学生も入学対象となっています。

発達障害支援に当たって「特別支援教育コーディネーター」「通級指導教室担当者」「特別支援教育を理解して通常の学級において授業・学級経営の工夫をする教員」の人材育成を念頭に、授業科目の領域が設定されています。2年間を通して、地域の教育委員会や学校と協働した学校現場実習を組んでいることも大きな特色です。

コーディネーターや通級担当者には、ミドルリーダーとして教員間コミュニケーションを促進して、特別支援教育の体制を推進する役目もあります。これから、通常の学級担任には、インクルーシブ教育を見据えて授業をデザインする力量も求められます。本コースはこのような新しい役割にも積極的に対応しています。



■学校実習が核となる2年間の学び



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 国語の学習に困難がある子どもへの抽象語理解を促す語彙指導の試み—発達モデルを考慮したイラストカードを活用して—
- ▶ 配慮を要する生徒の中学校運動部活動への参加を促す実践に関する検討—基本スキルの習得と目標の設定を柱として—
- ▶ 通級担当教員と通常学級担任との連携を促す支援—連携プロセスの構築を目指して—
- ▶ 特別支援学級担任への保護者連携に関する研修効果—保護者とのコミュニケーション促進を目指して—
- ▶ 教師の“まなびほぐし”を促す研修デザインの検討
- ▶ ユニバーサルデザインの視点から考える小学校理科の授業づくり—この規則性を見いだすための実験活動—

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 宇野宏幸 ※2	発達障害の神経心理学、 通常学級の授業づくり、 地域リーダー論	発達障害研究、 特別支援教育リーダーのための 創発的コミュニケーション	通常学級の特別支援教育(授業づくり)、学校づくりや地域支援のためのリーダーシップに興味を持っています。
 教授 岡村章司	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	学習障害児指導法演習、 家族支援心理学	ASDやその家族への支援、およびコンサルテーションやチーム支援に関する研究をしています。
 准教授 石橋由紀子	特別支援教育学	コーディネート概論、 コーディネート研究	インクルーシブ教育、特別支援学校のセンター的機能等について興味を持っています。

※1:令和8年3月退職予定 ※2:令和9年3月退職予定

3つの領域で目指す実践力の向上

特別支援教育コーディネーター

- ▶ 特別支援学校のセンター的機能を発揮しての地域支援の充実
- ▶ 校内で、生徒指導や研究主任等と協働しての支援体制構築

「通常の学級」の授業・教科担当者

- ▶ 授業のユニバーサル・デザイン化の効果的な展開
- ▶ 発達障害のある子どもを踏まえた学級経営の工夫



通級指導教室担当者

- ▶ 発達障害のある子どもを対象とした個別的な学習・生活指導の力量アップ
- ▶ 学級担任や保護者との連携を図り、子どもの教育ニーズを的確に把握

Voice

問うことの大切さ

発達障害支援実践コース2年

藤田雄也さん



現場に居た時は子どもや同僚の悩みにバツと正解を出して解決できる先生になれたらと考えることがありましたが、大学院でその考えは大きく覆されました。現場に求められているのは、答えを持つ人ではなく、良い問いを出せる人ではないかと、今は考えます。

大学院では、探せば探すほど正解はなく、モヤモヤし、毎日問うことばかり。先生方、コースの仲間や先輩方と一緒に話をして考えたり、本コースの特徴でもある実習先でまた問いが生まれたり。正解を出すのではなく、問いと日々向き合うことこそが「学び」ではないかと考えるようになりました。このコースには、保育所、小学校、中学校、特別支援学校の現職の先生やストレート生、違う立場の方がいて、日々対話できることも学びにつながっています。

教育現場等に実践力の高い
教職員を送り出す

専門職学位課程（教職大学院）

授与される学位…教職修士（専門職）

ニーズと実践性に根差した
高度な教育研究を推進

教育実践高度化専攻

こんな人を募集します！

学校経営コース 昼 F	校長や教頭などの学校経営専門職、指導主事などの教育行政専門職に必要とされる、課題解決力や組織経営力を高めます。	学校管理職、教育行政専門職（候補者含む）
教育方法・生徒指導 マネジメントコース 昼 F	児童生徒理解、指導と評価などの視点から、学校のさまざまな教育活動をマネジメントできる教員の養成を目指します。	小学校、中学・高校教員、教員志望者
言語系教科 マネジメントコース 昼 F	ことばの教育に関わる諸問題について指導法および専門的事項を幅広く探究し、言語文化に関する教育実践力を養成します。	小学校、中学・高校（国語・英語）教員、教員志望者、日本語指導担当教員、日本語教師
社会系教科 マネジメントコース 昼 F	児童生徒の社会認識を深め、現代社会をよりよく生きる知性と勇気を育むことのできる教員の養成を目指します。	小学校、中学（社会）・高校（地歴・公民）教員、教員志望者
理数系教科 マネジメントコース 昼 F	理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発の習得、研究を通じた算数・数学と理科の教育を担う人材を育成します。	小学校、中学・高校（数学・理科）教員、教員志望者
小学校教員養成特別コース 昼 （3年制コース・2年制コース）	小学校教員志望者を対象とし、実践的な指導力と自己の実践を省察・改善できる能力を身に付け、即戦力となる教員を養成します。	小学校教員志望者
グローバル化推進 教育リーダーコース 昼 F	多文化理解や国際理解力・協働力を備え、地域と世界をつなぐグローバル教育推進リーダーとして、持続可能な社会の創り手を育成する教員を養成します。	グローバル教育に関心のある教育関係者および教員志望者
教育政策リーダーコース F	未来を創る子どもたちの教育に加え、新たな地域社会の創出を担う教育行政に携わる教育長等を養成します。	教育長、教育行政の幹部（候補者含む）、学校管理職
授業実践課題探究コース F	今、自身の授業で起きている課題を協働的に解決するプロセスを通して、これまでの教員経験を視座にした省察をサポートしながら教育実践研究の力量を高めます。	教職経験5年以上の、自己の実践研究力を高めたい人

昼…昼間クラス F…フレックスクラス（オンラインを積極的に活用して、勤務しながら学ぶことができるクラス（一部の授業等は対面あるいはオンライン同期型で実施））※教育政策リーダーコースは、学生の要望等を踏まえた時期・場所で授業を受けることができる「フレックス&プレイスカリキュラム制度」を導入

外国人留学生向けに 国際貢献型カリキュラムを開設

日本語や日本の文化、学校教育を理解することにより、主に母国における教育の向上に貢献することを目指す外国人留学生を募集します。

- Point**
- ▶ 日本型教育の特徴を学べます！（比較教育学など）
 - ▶ 学校体験・基盤実習の授業科目で実際の教育現場に接することで、母国の教育現場との違いを体感できます。
- ※母国での教職経験がある人は実習の一部を免除できます

対象コース ※昼間クラスのみ対象

教育方法・生徒指導マネジメントコース／言語系教科マネジメントコース／社会系教科マネジメントコース／理数系教科マネジメントコース／グローバル化推進教育リーダーコース

学びのプロセス

課題研究(教育実践研究報告書作成)の流れ

1年次	5月～6月	指導教員(ゼミ)を決定
	6月	実践研究テーマを設定(自身が所属するコースで行う実習での検証等を考慮して設定)
	8月～9月	実践研究計画発表会(研究テーマと研究方法のアウトラインの確定)
2年次	2月	中間発表会I
	8月～9月	中間発表会II
	2月	実践研究発表会(実践研究の成果発表)



理数系教科マネジメントコース
(数学)令和7年3月修了
／公立中学校教諭

土井大輝さん

「数学的な見方・考え方」を働かせて「深い学び」へ～理論に裏付けされた学習指導を目指して～

大学院に入学し、まずこれまでの現場での経験を振り返り、自分自身の課題意識がどこにあるのかを見つめ直しました。生徒が文字式の有用性を理解できていない実態から、文字式の困難性や変数の理解深化を促すために何が必要かを明らかにしたいという思いで研究を始めました。論文

や文献を正しく読み解き、理解し、自分の研究テーマとの関連を考えることはたやすいことではありませんでしたが、指導教員やコース内の他の先生方からの適切な助言によって、研究を前に進めていくことができました。

2年次には、これまでの研究で検討してきた理論を検証するために、教科指導力向上実習での実践を通して枠組みの修正について検討しました。また、学会での発表を通して、他大学の先生方からの指導を頂けたことも貴重な経験となりました。

大学院での生活は、主体性を持って学ぼうとするかどうかによって大きく変わります。学会や研究会にも積極的に参加したり、他のゼミにも参加させていただいたりする中で、新しい知見を得ることの楽しさや自分の考えが深まったことを自覚した時の喜びを感じることができました。今しかできないことは何かを常に考え、自分自身を向上させる機会にアンテナを張り巡らせるように意識したことで充実した2年間を送ることができました。

土井さんの2年間の学び

年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	コースのオリエンテーション	指導教員の決定	情報収集(文献・調査) 学会参加		中間発表に向けた準備	中間発表会 学会参加	研究テーマの焦点化 学会参加		学会参加	中間発表に向けた準備	中間発表会 学会参加	中間発表に向けた準備
2年次	実習に向けた計画の立案・授業の検討	教科指導力向上実習6週間	実践の分析 中間発表に向けた準備		中間発表会 学会参加	報告書の作成 学会発表		学会発表	報告書提出	最終発表会 報告書の修正最終提出 学会参加		

修了に必要な単位

	学校経営コース	小学校教員養成特別コース		教育政策リーダーコース	授業実践課題探究コース	左記以外のコース
		3年制コース	2年制コース ()は小学校2種免許状所有者			
共通基礎科目・専門科目	34単位以上	26単位以上	24単位以上	36単位以上	36単位以上 ※5	28単位以上
実習科目	10単位 ※2	12単位	14単位	10単位 ※2	10単位 ※2	10単位 ※2
学部教職課程	—	73単位 ※3	(22単位)	—	—	—
合計単位数	44単位	38単位+73単位	38単位 (38単位+22単位)	46単位	46単位	38単位
最低修得単位数 ※1	46単位	46単位+73単位 ※4	46単位 (46単位+22単位)	46単位	46単位	46単位

※1…合計単位数38単位(学校経営コースは44単位)と最低修得単位数46単位との差8単位(学校経営コースは2単位)は、共通基礎科目、専門科目(自身が所属するコース以外で開設する専門科目を含む)および実習科目のうちから修得するものとします(教育政策リーダーコースおよび授業実践課題探究コースは除きます)

※2…実務経験等に応じ、実習科目の全部または一部が免除される場合があります

※3…幼・中・高1種免許状所有者は55単位

※4…幼・中・高1種免許状所有者は46単位+55単位

※5…修士課程各専攻・コースで開講する授業科目を修得した場合は、10単位まで修了に必要な単位数に含めることができます

学生の時間割を公開！



教育方法・生徒指導マネジメント
コース2年
／福井県教育庁高校教育課主任
辻崎千尋さん

学び続ける教員であるために

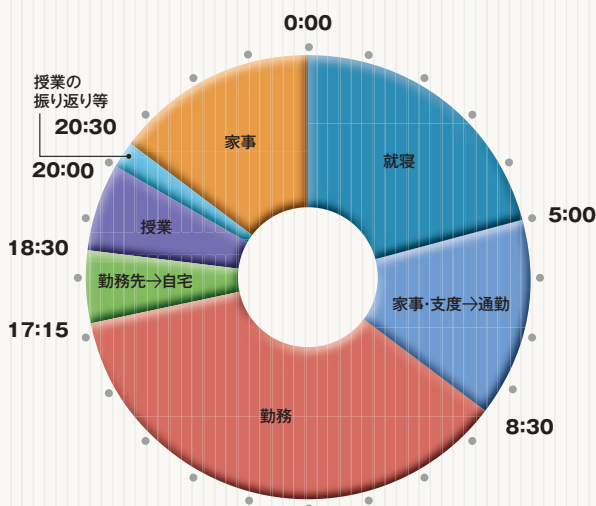
令和5年度に教育行政に異動となり、職場も仕事の内容も変わりましたが、教育に変革が求められている昨今、今までよりもさらに新しい情報に触れ、深く学び、現場の先生方に還元できるようにしたいと思い、本学への進学を決めました。オンライン講義のある日は、できるだけ定時で帰れるように仕事の段取りを考え、家族にも支えてもらいながら受講しています。レポートの作成は主に土日を利用しました。集中講義では、現地に参加できないこともありましたが、オンデマンドで対応してもらえる場合もあり、システムに助けられました。何より、大学院で学んだ内容が、タイムリーに現場の先生方を支援する機会に非常に役立っており、大変満足しています。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6		教員の社会的役割と自己啓発		教員のための学校組織マネジメントの実践演習
	7	教師発達とメンタリング		包括的児童生徒支援に関する事例研究	
後期	6			円滑な学級経営のための力量形成	
	7	学校カリキュラムのデザインと評価	生徒指導とキャリア教育		

集中講義：特色あるカリキュラムづくりの理論と実際、児童生徒を活かす学級経営の実践演習、教育方法・生徒指導における実践研究I ほか

授業がある日の1日



言語系教科マネジメントコース
(国語) 令和7年3月修了
藤原あずみさん

興味に即した幅広い学び

2年次に6週間の実習があることが分かっていたので、履修できる授業はできるだけ1年次に履修するようにしました。そのおかげで、2年次は実習や研究に集中して取り組むことができました。必修科目以外に8単位分の講義を選択する必要があったため、シラバスを参考に興味のある講義を選びました。また、特別支援学校教諭の免許を取得するため、修士課程の講義も履修しました。特別支援教育は、特別な支援を必要とする子どもだけでなく、他の多くの子どもにも有効な手立てを学べるため、免許取得が目的でなくても履修する価値がありました。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教員のための学校組織マネジメントの実践演習	初等国語科教材研究・授業づくり	障害のある児童への指導と支援方法	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	2		国語科カリキュラム研究	包括的児童生徒支援に関する事例研究	
	3		教育課程における各教科の特性と課題	授業におけるICT活用	
	4			国語科授業と文学表現	
	5				言語系教科教育実践研究
後期	1	学校における特別支援教育への対応と方法		障害児病理	
	2	教員のための人権教育の理論と方法	国語科授業実践研究		
	3		生徒指導とキャリア教育	国語科授業と言語文化	
	4				
	5				

集中講義：小中連携教育論、総合学習の理論構築と実践力形成 ほか
実習：学校教育基盤実習



社会系教科マネジメントコース
2年

柳 真人さん

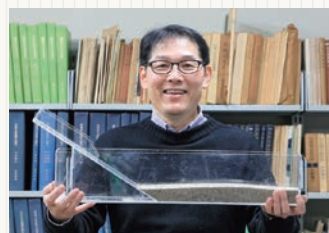
教員のための資質・能力の向上

専門科目の授業では、主に社会科教育学に関するさまざまな理論と実践について学んでいます。それらの内容を学んでいくことで、多くの考え方や見方を知り、社会科教員としての幅が広がっていくことを実感できています。共通科目の授業では、これからの学校、教員に求められているさまざまな資質・能力を教科の枠を超えて学んでいます。またゼミではそれぞれの研究テーマについて議論し、毎回新たな発見や気づきを得ることができています。このような大学院での授業やゼミで学んだことを実習という現場でどのように実践するのかを経験できることが、教職大学院の大きな強みの一つだと思います。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際		学校における道徳教育の実践研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	2	教員のための学校組織マネジメントの実践演習	ゼミ	社会系教科の授業デザインの理論と方法(2)	包括的児童生徒支援に関する事例研究 教員の社会的役割と自己啓発
	3	教育課程における各教科の特性と課題		授業におけるICT活用	
	4	社会系教科の授業デザインの理論と方法(1)		社会系教科におけるカリキュラムの変遷とマネジメントの実際	
	5		社会系教科教育実践研究		
後期	1	学校における特別支援教育への対応と方法			
	2	教員のための人権教育の理論と方法		社会系教科の授業デザインの理論と方法(3)	
	3	社会系教科の授業研究			
	4	ゼミ			
	5	現代社会の課題とその教材化	社会系教科教育実践研究		

実習科目：学校教育基盤実習



理数系教科マネジメントコース
(理科) 令和7年3月修了
／県立高校教諭

岩本正人さん

多種多様で魅力的な講座を自由に選択する楽しみ

高校の現職教員として、地学の授業で活用できる実験教材開発を目的に入学しました。そして授業力向上のため、探究活動や評価の在り方、ICT活用についても広く深く学びたいと考えました。2年次は授業力向上実習に向け実験教材開発の研究を進めたいので、1年次は理科に関する科目を中心にできるだけ修了条件を満たすよう講座を選びました。本学では専門職学位課程の学生でも修士課程の講座や、他教科・科目の講座を受講することができます。そこで、優先順位を付け、2年間で履修できるよう計画的に時間割を組みました。ものづくりや電子工作、プログラミング等の技術科、情報科の授業は教材開発のスキル向上につながる貴重な学びとなりました。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教員のための学校組織マネジメントの実践演習	初等理科教材研究・授業づくり		教員の社会的役割と自己啓発
	2	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際	理科授業の理論と実践(粒子)	理科授業の理論と実践(エネルギー)	包括的児童生徒支援に関する事例研究 児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	3		教育課程における各教科の特性と課題		授業におけるICT活用(理科)
	4	理科教材開発実習B		理科授業の理論と実践(地球)	理数系教科教育実践研究(理科)
	5	理科教材開発実習B	理科実験実地演習	理科実験開発実践演習I	
後期	1	教員のための人権教育の理論と方法	授業における評価の基準作成理論と学力評価法		
	2		教育情報ネットワーク活用論	電気・電子工学とものづくりの技術	
	3	理科教材開発実習A			理数系教科教育実践研究(理科)
	4			教育データ分析の理論と方法	理科実験開発実践演習II
	5	情報化教育環境開発論			

集中講義：理科授業の理論と実践(生命)、野外調査実習

学生の時間割を公開！



小学校教員養成特別コース
(3年制) 令和7年3月修了

山田ありすさん

夢に向かってゼロからのスタート

在籍した3年制コースは、教員免許状を取得していない人が一から小学校教諭免許状を取得できるコースです。1年次には、小学校1種免許状の取得科目を履修します。私は小中連携プログラムを受講していたため、中学校2種免許状の取得科目の時間割との兼ね合いを考えて履修計画を組みました。2年次には約4カ月間の実習に取り組み、3年次では大学院の専門科目を履修します。初めに教育理論を基礎から学び、その学びを実習で生かし、実習で得た成果と課題を基に、専門科目を通して教育実践力を高めることができます。また空き時間には、スクールサポーターや学童の支援員として活動することで、さまざまな角度から学校教育について学びを深めました。

1年次の授業スケジュール(令和4年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	初等体育	同和教育と人権教育		初等音楽科教育法
	2	教育史	初等英語	暮らしのなかの憲法	教育心理学
	3	初等理科	教職原論	初等社会	法律学概説④
	4	実践サポート	教育制度論		総合的な学習の時間の理論と実践
	5		初等社会科教育法	社会科教育法I④	
後期	1	生徒指導論	初等国語・算数	初等英語科教育法	初等家庭科教育法
	2	初等国語科教育法	道徳教育論	実践サポート	情報通信技術活用論
	3	初等生活科教育法	教育方法論	初等音楽・図画工作	特別支援教育概説B
	4		日本史概説④	教育実地基礎研究I	初等家庭・生活
	5		特別活動論	人文地理学概説④	

集中講義：自然地理学概説④ ほか
実習：学校観察実習、フレンドシップ実習④



グローバル推進教育リーダー
コース2年
/ 日本人学校教諭

安達祐佳さん

なりたい自分になるために

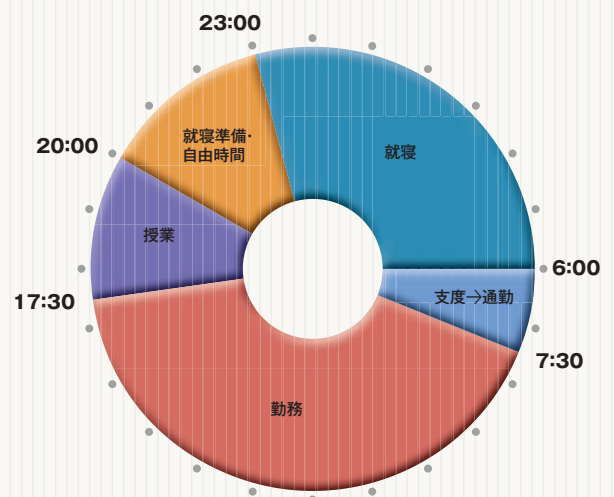
前任校の校長先生に大学院修学を勧められ、進学を決意しました。教科の実践は勤務校で取り組みますが、国際理解教育の研究には外部の支援が必要でした。そうした中、本コースとの出会いはまさに運命でした。現在、国際情報の分析や外国にルーツを持つ児童への支援について学び、日本社会の多様化が進む中で、「すべての人が自分らしく生きられる社会」を実現するために何ができるかを模索しています。私は上海に在住していますが、フレックスクラスは世界中どこにいてもオンラインで受講できます。この柔軟な環境のおかげで、充実した大学院生活を送ることができています。日本に本帰国した際には、本学で得た知識と経験を生かし、次の目標に向かって挑戦し続けます。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	英語を活用した論理的思考		実用外国語演習	教員のための学校組織マネジメントの実践演習
	7	世界の教育		包括的児童生徒支援に関する事例研究	国際理解教育I(基礎)
後期	6		外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	初等国語科教材研究・授業づくり	円滑な学級経営のための力量形成
	7	国際理解教育II(応用と実践)			

集中講義：授業におけるICT活用、学校における特別支援教育への対応と方法、グローバル・フィールドワーク1(海外) ほか

授業がある日の1日





授業実践課題探究コース3年
／公立小学校教諭

菰田剛志さん

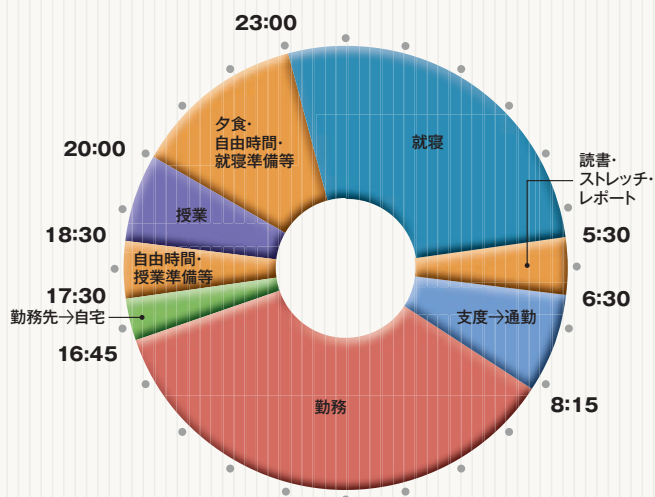
充実の日々

「なぜ今日の授業はうまくいったのか。理論的に学んでみたい!」。それが大学院を志すきっかけでした。仕事と両立できるか、最初は正直不安でした。しかし、大学院で学んだことを明日の教室ですぐに実践することで授業改善につながり、毎日が新鮮なものになりました。コース内では、さまざまな立場の方と一緒に学ぶ機会もあり、半年に一回の研究発表会ではいつも刺激を受けています。また、大学院に通うことで、時間に対する意識の変化も起こりました。朝の時間を、大切なことや深く考える時間に充て、夜は大学院の授業というリズムができました。長期履修制度を利用しているので自分のペースで学べ、家族との時間も大切にできていると感じています。

2年次の授業スケジュール(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	ゼミ	教員の社会的役割と自己啓発	子どもの発達と学校の関わり	
	7	世界の教育			
後期	6	ライフスタイルと健康	ゼミ		円滑な学校経営のための力量形成
	7				

授業がある日の1日



Point1 質の高い実践的な実習

専門職学位課程(教職大学院)では、教員としての実践的指導力の強化を図るため、長期にわたり、学校等における実習(実地研究)を行います。教員免許状を取得するための実習とは異なり、実習校が取り組んでいる教育課題や研究内容と、実習生の研究テーマとの整合性等を取りながらマッチングを行い、双方にメリットのある研究活動を推進しています。

現職教員の学生は原則として現任教、現職教員以外の学生は兵庫県内の連携協力校[※]が実習校となります。

※兵庫県内の250を超える公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、幼稚園、適応指導教室等が、連携協力校として本学と協定を結んでいます



Point2 充実した支援体制

教育実習総合センターでは、教職大学院の実習を円滑に進めるための支援を行っています。

センターには、県・市教育委員会や公立の学校長等を経験し、教員の育成に豊かな経験と実績を持つスタッフを配置しており、学校等における実習に関するさまざまなことや、学校現場の様子などについて気軽に相談することができます。

また、ストレート院生に対し、教員としての高度な実践的指導力を身に付けてもらうことを狙いとして、「教育実践サポート」および「教育実践個別サポート」を開設し、修学を強力に支援しています。



学校経営コース

学校づくりをリードする高度な実践力の修得を目指す

学 校経営コースでは、社会の期待や要求に応えながら、自律的な学校づくりをリードする校長や副校長・教頭などの学校経営専門職、学校を支援する指導主事などの教育行政専門職を養成します。

入学募集の対象としては、国立・公立・私立にかかわらず、全ての校種から応募が可能です。現に校長、副校長・教頭等の学校管理職にある者のみならず、その候補者・希望者たる教諭、主幹教諭等に加えて、教育委員会の指導主事等や学校事務職員を含めて、幅広い職層を歓迎します。

本コースでは、今後の学校づくりに必要とされる課題解決力や組織経営力を高めるカリキュラムを用意し、対面とオンラインの併用（ハイブリッド方式）による講義等を実施します。

昼間クラスでは、対面授業が中心となり、通常の講義等に加えて、インターンシップやフィールドワーク等を通じた多様で深い学びの機会を提供します。

フレックスクラスでは、オンライン授業を中心に、柔軟な学びのスタイルに対応する仕組みを導入することで、全国どこにいても勤務しながら学ぶことができます。

専門科目の授業の一部は、神戸キャンパス等において、昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施しますが、その際は対面かオンラインの選択が可能です。

大学院修了後は、学校管理職や教育委員会の幹部として

活躍するパターンが大多数である一方で、近年は博士課程に進学する例も増加しています。いずれのキャリアパスを歩むにせよ、在学中のさまざまな出会いと交流に加え、全国各地に広がる同窓会の活動を通じた修了生ネットワークも大きな財産となります。

昼間クラス 2年	フレックスクラス 2年または3年
共通基礎科目 オンライン授業	共通基礎科目 オンライン授業
専門科目 対面授業中心	専門科目 オンライン授業中心
専門科目 授業の2割程度を昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
課題研究 昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
インターンシップ（実習） 学校または教育委員会	インターンシップ（実習） 申請により免除

*昼間クラスには、フィールドワーク等の多様な学びの機会を提供

Voice

Well-beingな 学校経営の挑戦



学校経営コース（昼間）2年

谷山啓史さん

教員不足により、リーダーにはプレーイングマネージャーの役割が求められ、学校マネジメントの難易度が高まっています。Well-beingな学校経営のためには、それらの多くの課題に柔軟に対応しつつ、教育改革に取り組む必要があります。本コースでは、組織経営力を高めるカリキュラムを通じて理論と実践力を養うことができます。全国各地のさまざまな校種の先生方と日々研究を深められることも魅力の一つです。

チャレンジし続ける 姿勢を大切に



学校経営コース（フレックス）2年

坪野正樹さん

これまでの勤務経験における学びをさらに深めるため、教職大学院での学びにチャレンジすることを決意しました。昼は職務に専念し、夜は講義動画の視聴等を通して学校現場の課題に関連した学びを進めています。その学びで得た知見は、職場での業務に生かされ、学びと実務の相乗効果を実感しています。そして、多様なバックグラウンドを持つ方々と意見交換をしながら、学校経営の可能性を探索する日々は刺激的で充実しています。

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員		研究分野	担当専門科目	メッセージ					
	教授 大野裕己	教育経営学、 学校経営・学校改善	学校・地域協働の理論とデザイン	学校の創発を促す組織過程やリーダーシップの在り方を中心に研究を進めています。また、日・米の学校改革の比較研究にも取り組んでいます。					
	教授 當山清実	教師教育、 教育経営	学校経営・教育行財政実践課題研究、学校経営・教育行政専門職インターンシップ	教員の職能開発を促進する現職研修と学校危機管理の在り方を中心とした研究を進めています。					
	教授 川上泰彦	教育政策、 教育行政学、 教育経営学	学校・教育委員会の経営と財務、学校・教育委員会のEBPMと評価	国・地方レベルにおける教育行政システムの変化が学校の諸活動や経営に与える影響に関心があります。					
	教授 神内 聡	教育法、 教育制度、 社会科教育	教育法規の理論と実践演習、 学校危機管理の理論と実践演習	教員と弁護士の双方の視点から、教育法、教育制度、社会科教育などを研究しています。					
	准教授 安藤福光	カリキュラム・マネジメント、 小中一貫教育、 中高一貫教育	特色あるカリキュラム開発の理論と実際、カリキュラム・マネジメントと学校のオープン・イノベーション	カリキュラム研究、特に小中一貫カリキュラムや中高一貫カリキュラムの研究、高等学校のカリキュラム・マネジメントの研究に取り組んでいます。					
	准教授 三浦智子	教育経営学、 教育行政学	学校マネジメントによる組織活性化	学校経営や自治体・国の教育政策が地域の多様なニーズに応答するプロセスや仕組みを研究しています。					
	客員教授 浅野良一		客員教授 中井啓之		客員教授 嶋 公治		客員教授 松村高志		客員教授 宮本美枝子

※1:令和8年3月退職予定 ※2:令和9年3月退職予定

過去の改善プラン(教育実践研究報告書)テーマの例

学 校

- 【小 学 校】▶ 少人数指導加配教員の機能性に影響を与える要素—学力向上推進リーダーへの質問紙調査から—
▶ 小中合同の学校運営協議会で創る学校—コミュニティ・スクールの仕組みの活用—
▶ 地域住民・保護者と「つながる」カリキュラムマネジメントの創造
- 【中 学 校】▶ 一貫教育を推進するスクールミッションの再構築と学校組織再編—義務教育学校の開校プランの提示—
▶ プロセスマネジメントをベースとした開発的改善—生徒・教員の主体性を伸ばす組織改善—
▶ 中高一貫教育における中学校から高等学校への接続に関する考察—社会に開かれた教育課程の実現をめざして—
- 【高 等 学 校】▶ 機能する学校組織の在り方についての考察—主幹教諭・ミドルリーダーの役割を中心に—
▶ 「学習する組織」としての高等学校の授業改善—コミュニティ・スクールの仕組みを活用して—
▶ 探究的な学習によるグローバル・リーダーの育成—カリキュラム・デザインと組織力向上によるアプローチ—
▶ 予測困難な未来を切り拓くビジネス教育の革新—地域産業をリードする人材の育成—
- 【特別支援学校】▶ 児童生徒の自立と社会参加を目指す学校づくり—カリキュラム・マネジメントによるデザイン—
▶ 地域とともに共生社会を実現する学校—児童生徒が卒業後に自分らしく生きるために—
▶ 障害のある子ども達の自立と社会参加をめざす学校づくり—地域資源を活用した教育活動の展開—

教育委員会

- ▶ 教育資源を最大限に活用した教育行政の在り方—新しい時代の学びを支える「A市版スクール・コミュニティ」の可能性を探る—
- ▶ 「地域とともにある学校づくり」の推進に向けた教育施策の立案—B県型地域連携教育の取組の充実を通して—
- ▶ 小・中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会事務局の支援策—若手教員の育成を中心にして—
- ▶ 教育委員会の学校コンサルティング機能の強化と学校支援の仕組みの構築—C市学校教育活性化のための評価運動モデル—
- ▶ 施設隣接・分離型小中一貫教育の推進における教育行政の支援—持続可能な支援体制の構築を目指して—

教育方法・生徒指導マネジメントコース

カリキュラムの3本の柱で学ぶ「学校現場のマネジメント力」

教育方法と生徒指導の分野において、「教師個人の力量」と「学校全体の力量」を高めるための学びを提供します。

カリキュラムの3本柱

1.一人一人に最適化された学び

「教師個人マネジメント力」を養う演習、「校内組織マネジメント力」を高める演習を開設しています。現職院生、ストレート院生のいずれもが、各自の大学院進学目的に応じた力量形成が可能です。

2.研究力、実践力を高める学び

データ分析などの研究法に関する授業で、教育活動の効果性を科学的に検証する力を獲得できます。また実習科目では、研究力に支えられたマネジメント力を現場で実践し、さらに向上させることができます。

3.問題解決を支える専門性を身に付ける学び

多彩な専門科目から自らの目的や問題意識に応じて選択できます。また、心理学、教育方法学、教師教育学などのアカデミックな学問とリンクさせて学修できます。

本コースで学べる内容

- ▶ 授業研究
- ▶ 教育評価
- ▶ 教授学習過程
- ▶ カリキュラム・マネジメント
- ▶ 総合的な学習（探究）の時間
- ▶ 特別活動
- ▶ 道德教育
- ▶ 学級経営
- ▶ 教師教育
- ▶ キャリア教育
- ▶ 教育相談
- ▶ カウンセリング 等

コースの
ウェブサイトはこちら▶

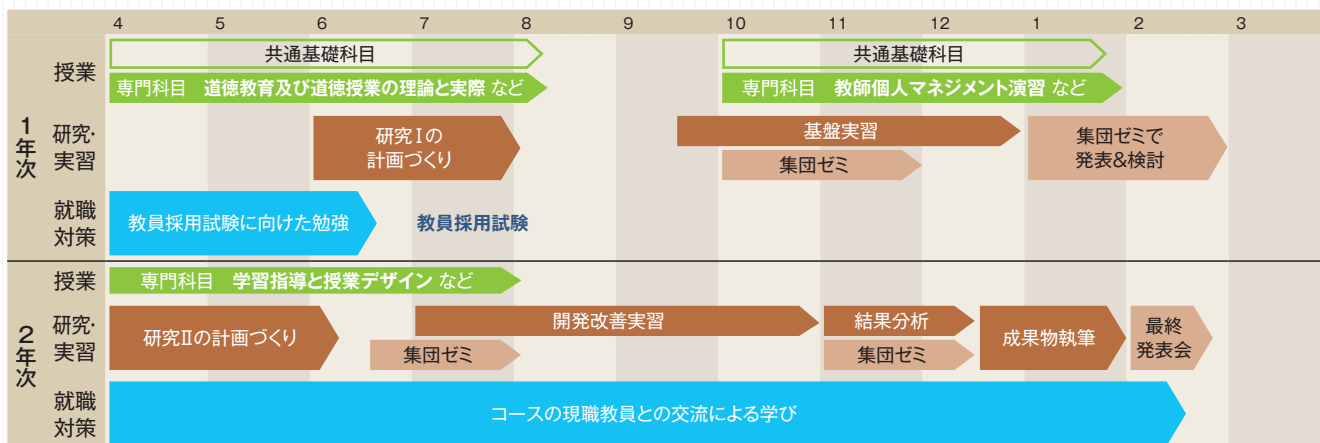


2年間の学びの例

キャリア教育についての教員研修を学びたい現職院生



道德の授業力を高めたいストレート院生



※上記はカリキュラムの一部を模式的に表したものです

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 谷田 増幸 ※1	道徳教育、 公民科教育	学校における道徳教育の実践 研究、道徳教育及び道徳授業 の理論と実際	道徳科や公民科「倫理」を中心に、人間としての在り 方や生き方に関する教育について取り組んでいます。
 教授 竹西 亜古	社会心理学、 リスク心理学、 心理学調査法	社会心理学に基づく学級経営 の実践開発、学校における データの取り方と分析	データに基づく科学的な教育実践や研究を目指しまし せんか。どのような教育分野にも応用できますよ。
 教授 山中 一英	教育心理学、 社会心理学、 教師教育学	円滑な学級経営のための力量 形成、学校における質的研究 のデザインと方法	「他者とかかわる」ことと「学ぶ」こと。私たちを支える この2つの営みの繋がりをめぐって研究しています。
 准教授 安原 一樹 ※1	社会教育学、 地域教育経営論	特別活動・地域教育活動プロ グラムの開発、教員のための 人権教育の理論と方法	生涯学習社会における子どもから高齢者に至る学習 環境の有りようとその社会的意義を探究しています。
 准教授 伊藤 博之	教育方法学、 教育課程論、 教育方法論史	学校カリキュラムのデザイン と評価、実践的な指導方法に 関する理論と実際	自律的・協働的な学びとはどのようなものであり、それ をどのように組織し運営するか、共に追究しましょう。
 准教授 隈元 みちる	臨床心理学、 教育相談、 発達相談	包括的児童生徒支援に関する 事例研究、 教育相談の理論と技能開発	臨床心理学の立場から、それぞれが生きやすい在り方 や環境を探っていききたいと考えています。
 准教授 宮田 佳緒里	教育心理学、 学習心理学	学習指導と授業デザイン、 教師発達とメンタリング	児童生徒が概念を理解し、思考できるまでの認知過程 について、教育心理学の立場から研究しています。
 准教授 森本 哲介	教育心理学、 臨床心理学、 ポジティブ心理学	生徒指導とキャリア教育、 包括的児童生徒支援に関する 事例研究	個人の強みをどのように自己形成、キャリア形成に生 かすかということを研究しています。
 准教授 徳島 祐禰	教育方法学、 カリキュラム論、 教育評価論	授業における評価の基準作成 理論と学力評価法、 授業研究の理論と実践	身体と教育を中心に、カリキュラム論、教育評価論、授 業論について研究しています。
 准教授 黒田 昌克	プログラミング教育、 STEAM教育	授業におけるICT活用、 学校における道徳教育の実践 研究	小学校教員の経験を生かして、学校現場に寄り添った 実践的な研究や指導を大切にしています。
 准教授 松田 充	教育方法学、 教授学、 授業研究	授業研究の理論と実践、 学習指導と授業デザイン	難しい社会の中で、「よい授業」をつくり出すための理 論と方法を追究していきたいと思い、研究に取り組ん でいます。

※1:令和8年3月退職予定 ※2:令和9年3月退職予定

Voice

子どもたちのために 必要な力量の形成



教育方法・生徒指導マネジメント
コース2年

原 雄大さん

「どうすれば子どもの成長を支援すること
ができるか」「子どもたちの求めに対応
できているのか」という問いを持ちながら
教職を続けてきて、ここ数年、自分なりの
答えを持ってないことが多くなっていました。
本コースで先生方から教育学や心理学を
中心とした専門的な理論を学び、仲間と教
育観について省察することを通して、自分
の中に答えを持ちながら子どもたちや周り
のために教育活動をする力量を身に付け
ることができています。

みんなで学び合える コース



教育方法・生徒指導マネジメント
コース2年

谷川 真彩さん

現職教員、ストレート院生、留学生など多
様な方々が在籍する本コースの中で、院生
同士はとても仲が良く、研究内容や教育現
場での実際、文化の違いなどについて、お
互いを認め合いながら、学び合っていま
す。コースの先生方の専門分野も多岐にわ
たっていて、幅広く深い視点から魅力的な
授業をしてくださいます。教員になるため
の知識や考え方を学び、将来への自信と希
望を感じつつ、充実した日々を過ごしてい
ます。

言語系教科マネジメントコース

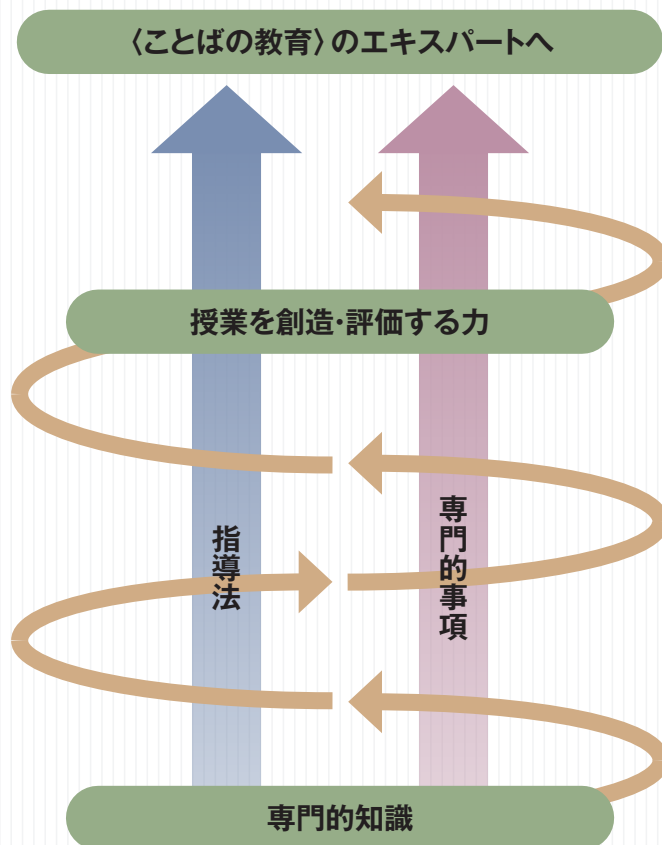
国語教育・英語教育のエキスパートを育てる

専 門的知識に裏付けられた授業を創造・評価する力を
持ち、小学校・中学校・高等学校における言語教育の
実践に関わる高度な専門的力量を身に付けた教員の育成を
目指します。そのことを達成するため、〈ことばの教育〉に関
わる諸問題について、指導法（カリキュラム・シラバス、生徒
の資質・能力を高める指導、授業づくり、学習評価、言語習得
など）および専門的事項（言語表現、文学表現、言語構造、言
語文化、言語教育、コミュニケーション、異文化理解など）を
幅広く探究できるカリキュラムを編成しています。

実習では、現職教員については、学校教育の抱える諸問題
の調査・分析を行い、研究課題を絞り込むとともに、課題解決
のための目標を設定します。

ストレート学生については、教科指導を中心とした学校教
育全般にわたる実習を通して、大学院実習で必要な基本的な
知識・技能等を習得し、教員としての素養を養います。

自らの教科教育の理論を構築し、研究内容と関連付けた実
習を通してその有効性を検証することにより、教員としての
総合的な力量を高めます。



兵庫教育大学言語表現学会での研究発表風景

言語表現学会は、コース内に事務局を置く、開かれた学術組織です。



過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 小学校低学年における批判的読みを取り入れた説明的文章の指導に関する研究
- ▶ 外国語活動における音あそびとシンセティック・フォニックス指導の実践
- ▶ 中学3年生を対象としたKahoot!を用いた英語の語彙・表現の学習効果
- ▶ 日本語学習者のためのICTを活用した協働学習効果の考察—Google Classroom導入の教育効果—
- ▶ 主体的な学びを生み出す授業実践の考察—『伊勢物語』『芥川』『源氏物語』『小柴垣のもと』を中心として—
- ▶ 英文学作品を使用した高校2年生英語コミュニケーションⅡの指導実践

担当教員

(令和7年4月現在)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
国語	 教授 菅井三実	理論言語学、 日本語学、 言語教育	言語の仕組みと言語教育、 言語系教科教育実践研究	日本語がどのような言語で、人はそれをどのように習得し運用するかについて知見を提供したいと思います。
	 教授 白井伊津子	日本古典文学	国語科授業と言語文化、 初等国語科教材研究・授業づくり	いにしえ人が培った知や豊かな情感を未来に伝えるべく、古典文学作品に息づくことばの意味と表現の方法を丹念に掘り起こしていきましょう。
	 教授 羽田 潤	国語科教育、 メディア・リテラシー、 サブ・カルチャー	国語科授業実践研究、 授業におけるICT活用	多様なメディアを活用した国語科授業の開発を目的に、映画、マンガ、写真、広告の分析に取り組んでいます。
	 准教授 竹口智之	日本語教育学	外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	日本人とは異なった方法で日本語を学んでいこうとする生徒・学生がいます。その過程を学んでいきましょう。
英語	 教授 中村浩一郎	英語学、 理論言語学、 比較統語論	英語科授業と言語表現2、 言語系教科教育実践研究	英語学／理論言語学研究で蓄積された英語に関する知見を共有し、英語教育の現場で役立つ知識を習得することを目指します。
	 教授 吉田達弘	英語教育学、 社会文化理論に基づく英語授業研究・英語教師教育研究	小学校英語科授業の研究、 教育課程の制度的特質と課題 初等英語教材研究・授業づくり	理論のレンズを通して小中高の英語授業を分析し、授業におけるコミュニケーションについて考えていきます。
	 准教授 近藤暁子	外国語教育、 英語教育学、 応用言語学(第二言語習得)	英語科授業の実践研究、 初等英語教材研究・授業づくり	外国語学習における個人差要因と、映像メディアを使用した外国語の指導についての研究に取り組んでいます。
	 准教授 多田ウェンディ	第二言語習得、 英語教育、 英語教師教育	英語科授業と言語表現1(文学作品における英語表現と多様な文化)、 言語系教科教育実践研究	将来、学校教育の場が必要になる英語のスキルと知識を英語で身に付けることを目的とした授業です。
	 講師 鳴海智之	英語教育学、 心理言語学、 第二言語習得	第二言語習得と外国語学習、 初等英語教材研究・授業づくり	心理言語学的アプローチにより、学習者の英文理解時の処理プロセスと、その自動化の過程を研究しています。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

Voice

成長できる機会と環境があります



言語系教科マネジメントコース(国語)
令和7年3月修了
前野翔大さん

専門性の高い先生方のご指導の下、国語科教育をはじめ、ことばの学びに関する深い理解と実践的な指導力を身に付けることができるコースです。校種さまざまな現職教員やストレート生、留学生が共に学ぶ多様な場があることも魅力の一つです。すてきな先生方や仲間を支えられ、恵まれた環境で充実した研究生生活を送ることができました。大学院で得た知見を生かし、楽しく質の高いことばの学びを子どもたちと一緒ににつくっていきたいと思います。

未来を創る学びの道 大学院で広がる可能性



言語系教科マネジメントコース(英語)
令和7年3月修了
國末直美さん

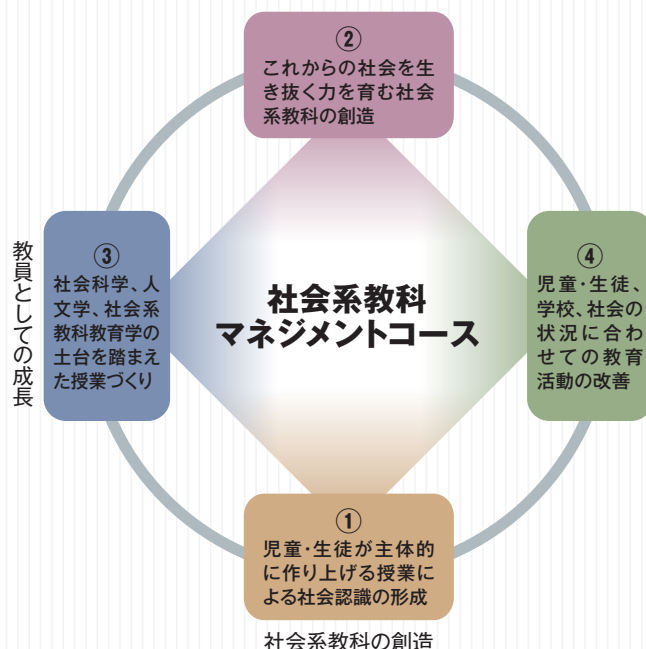
大学院では、多様な経験を持つ仲間との対話を通じて、視野を広げる学びができます。議論を重ねる中で見えてくる課題にじっくりと向き合い、研究テーマに集中して取り組む環境が整っています。高度な専門知識を持つ先生方の指導の下、自分の進むべき道や解決すべき課題を見つけることができました。この学びが、子どもたちの「英語が好き!」という気持ちにつながると信じ、これからも学び続けていきたいです。

社会系教科マネジメントコース

これからの社会を「生き抜く力」を育成する教育の創造

社 会系教科には多様化・流動化している現代社会を「生き抜く力」を育成することが求められています。この目標を実現するために、まず①児童・生徒が主体的に授業を作り上げていく中で社会認識を育むという社会系教科の特徴を生かしながらも、②そのつどの状況に応じて主体的に社会参画できる力を育成するため、新しい社会系教科を創造していかねばなりません。これと並んで、③教員自身が社会科学、人文学、社会系教科教育学の土台を踏まえた授業づくりに習熟するだけでなく、④児童・生徒、学校、地域の状況に合わせて教育活動を改善することができる能力を身に付けなければなりません。社会系教科マネジメントコースは、このように他者と協調しながら自己成長を行うことのできる教員の養成を行うことを目標とします。

本コースには、同窓会組織である嬉野会があります。兵庫教育大学創立以来、40年以上にわたる卒業生の団体です。そこには、現役の校長や教頭などの管理職や、兵庫県教育委員会の指導主事の他、社会科教育の中核となって活躍されている現役の教員が多くいます。年1回の総会の他に、教員採用試験前には、かつて面接の試験官をされた嬉野会の人を招いてセミナーを開いたり、授業実践の研究会を開いたりしています。皆さんも、この仲間に加わって、大いに交流してください。



嬉野会研究会

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 未来洞察型教育理論に基づく高等学校「歴史総合」の授業実践—「グローバル化」における域内経済システムに着目して—
- ▶ デザイン思考を組み込んだPBL的単元構成により社会形成力を育成する授業実践—中学校地理的分野「地域の在り方：泉北ニュータウン 少子高齢化問題」—
- ▶ 社会環境の変化が学校教育に及ぼす影響と適応についての考察
- ▶ 尼崎市における地域学習のあり方の研究—地域学習の授業実態と教師の意識調査を通して—
- ▶ 概念レンズを活用した小学校社会科カリキュラムの開発と実践に関する研究—経済の視点に着目して—

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 森田 猛 ※2	史学、 ヨーロッパ史・アメリカ史、 西洋史	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、 現代社会の課題とその教材化	近代ヨーロッパ史を専門にしています。特に19世紀の ドイツ史学史、スイス文化史に関心を持っています。
 教授 山内敏男	教育学、 教科教育学、 社会科教育学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、社会系教科 におけるカリキュラムの変遷 とマネジメントの実践	規範を教授するのが教育か…を問いとして歴史教育、 教員研修を中心に研究しています。
 教授 福田喜彦	社会系教科教育、 東アジア、 市民性教育	社会系教科におけるカリキュ ラムの変遷とマネジメントの実 践、社会系教科の授業デザイ ンの理論と方法(3)	グローバル化に生きる子どもたちが「市民性」を身に つけるための社会系の授業をともに考えていきま しょう。
 准教授 今出和利	法学、公法学、 未成年者保護法、 憲法	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	「子ども」「教育」「学校」などに関わる法律を中心 に、比較法的・歴史的視点を踏まえつつ研究してい ます。
 准教授 渡邊 正	経済学、国際経済学、 アジア経済、 海外直接投資	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	国際経済学を専門としています。海外直接投資や工程 間分業に着目し、アジアの経済発展メカニズムを研究 しています。
 准教授 小倉拓郎	自然地理学、 地形学、 地理情報科学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(1)、現代社会の 課題とその教材化	ドローンやレーザ測量を用いた高精細地形解析を通し て、地域環境の変化抽出・要因分析に関する研究や学 校教育で使える教材整備・実践を行っています。
 講師 山本康司	史学、 日本史学、 古文書学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)	日本中世史を専門としています。特に、室町幕府の成 り立ちに関心を持って研究しています。歴史の面白さ や奥深さを感じてみませんか。
 講師 吉川修史	生活科教育学、 社会科教育学	初等社会科教材研究・授業づ くり、教科・領域の内容・指導法 研究Ⅲ(社会科)	子ども自らが自立し、生活を豊かにしていく生活科授 業や、自分なりの社会への関わり方を考えることで きる社会科授業づくりを追究しましょう。
 教授 瀧野 清 ※2	社会科教育、 地理教育、 ESD(防災含む)	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(1)、学校におけ る防災教育と心のケア	「なぜ社会科を、なぜ地理を学ばなければならないの か」、また、「社会科ならではの、地理ならではの学びと は何なのか」。共に考えてみませんか。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

Voice

自分を見つめ直す2年間

社会系教科マネジメントコース2年

谷水恵太さん



本学の学部を卒業後、小学校教員として勤務する中で、自身の指導力や教育観について改めて考えるようになりました。現場での経験と学部時の学びを生かし、指導力向上と教育観の問い直しを目的に、本学で再び学びたいと考え、入学を決意しました。

本コースでは、地歴公民に関わる学問的内容に加え、教育方法の理論と実践を行き来しながら学べる点が大きな魅力です。また、小・中・高の現職教員やストレート院生との交流を通じて多様な視点を得られる環境も魅力です。進学目的を常に問い続け、充実した2年間を送りたいと考えています。

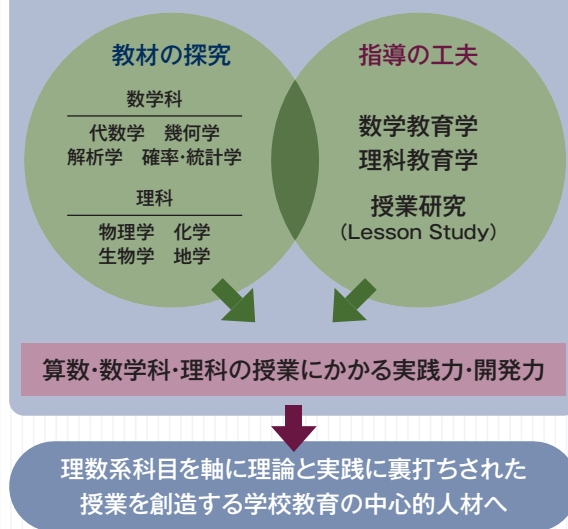
理数系教科マネジメントコース

数学・理科教育を担う人材の輩出を

数 学が好き・理科が好きなお子さんを育てるには、先生自身が数
学好き・理科好きであってほしいという考えの下に、理数系
教科マネジメントコースでは、数学と理科の魅力や楽しさを堪能でき
る教育研究を行っています。身近な現象から定理や法則の支配する
興味深い世界へ広がっていく様子を子どもに教え、小・中・高校でも数
学・理科の教育を担える人材を送り出したいと考えています。

数学・理科といった理数系科目は特にその系統性が重要であり、
その系統性に対する深い理解と、教育課程の趣旨を捉えた授業を創
造する力に加えて、数学教育・理科教育の観点から授業を解釈・評
価・考察していく力がカリキュラムマネジメントに必要となります。そ
のため、本コースでは、理数系の教科専門と教科教育を融合する教
材研究・授業開発に焦点を当てたカリキュラム編成となっており、そ
れにより数学・理科教育を担う人材を育てることを目的とします。

理数系教科マネジメントコースの人材育成



過去の教育実践研究報告書テーマの例

〔数学〕

- ▶ 図を活用して数学的理解を深める算数科の授業づくりに関する研究—下学年における比例的推論の育成を対象として—
- ▶ 中学校数学科における知識構成型ジグソー法を用いた文字式の学習指導に関する研究
- ▶ 中学校数学科における構成的アプローチに関する研究
- ▶ 高等学校数学科における探究型学習について—知識の存在理由に焦点を当てて—

〔理科〕

- ▶ 一人一台端末を活用した新たな授業法の開発
- ▶ ベンジルアルコールの酸化反応の教材化と実践
- ▶ 高等学校「生物」におけるゲノム編集トマトを用いた分子生物学実験の教材開発と実践

Voice

学び方を 学ぶ場に



理数系教科マネジメントコース(数学)
令和7年3月修了
小川星治さん

大学院の研究では、実践校の生徒の課題を明確にし、それを解決するための授業案を、先行研究から得られた知見を基に計画しました。そして、実践を行い、そこから得られた結果を考察しました。以上の研究プロセスは、教員になっても授業改善や教材研究を行う際に生かせると考えます。このように、学び続ける教員としての必要な研究力を身に付けられることが、大学院で学ぶ最も大きな魅力だと考えます。

探究への一歩



理数系教科マネジメントコース
(理科)2年
松尾健也さん

理科教育について理解を深めたく、入学を決意しました。教職大学院での学びは、理科に必要な知見を獲得し、自分自身のこれまでの実践を俯瞰的に捉えることができました。自然豊かな地で、フィールドワークを行い、自分の視野を広げることができます。先生方は親身になって研究のサポートをしてくださっています。現職教員や教員を志す大学院生と共に学び合うことのできる環境は、自身の成長につながっていると実感しています。

担当教員

(令和7年4月現在)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
数学	 教授 國岡高宏	教育学、 教科教育学	算数・数学教育の理論と実践、 数学的リテラシーと算数・数学 的活動	算数・数学教育学の理論に裏打ちされた確かな実践力を養ってほしいと思います。
	 教授 濱中裕明	数学、 幾何学、 数学教育学	数学的リテラシーと算数・数学 的活動、 「図形」領域の探究的学習教材	生徒が自ら学ぶことを可能とするような魅力的な数学教材開発を念頭に、数学を探究できたらと思います。
	 教授 吉川昌慶	代数学、 代数的組合せ論	「数と式」領域の探究的学習 教材	代数的組合せ論を主に研究しています。代数学や代数的思考に関する数学教育の研究にも興味があります。
	 准教授 川内充延	数学教育学	算数・数学科の授業づくりと 評価	自分自身の指導経験や学習経験を丁寧に振り返り、先行研究の知見を踏まえた実践力を培いましょう。
	 准教授 小川聖雄	微分方程式、 流体力学	数学教材の背景と応用	純粋数学または応用数学的な研究を行います。教育現場での実践に生かしてほしいと考えています。
	 教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	理数系教科教育実践研究	子どもが算数数学を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもなりの考え方を生かした授業づくりを研究しています。
理科	 教授 荻原 恵	生物教育、 分子生物学、 遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	生命現象や身近な生物の不思議に興味を持ち、さまざまな視点からそれらを考察し視野を広げてほしいと思います。
	 教授 小和田善之	機能物質化学、 量子材料化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科実験開発実践演習I・II	身近な物質に起きる反応や現象を原子・分子の世界から考察することで、化学への理解を深めてほしいと思います。
	 教授 石原 諭	場の理論、 素粒子理論、 物理教育	理教科内容論I、 理科実験実地演習	物理は自由だ。教育研究テーマについても自由な発想で考えてみてください。
	 教授 竹村静夫	構造地質学、 層序学、 地学教育	理科授業の理論と実践(地球)、 理科教材開発実習B	フィールドは教材の宝庫です。野外調査の基本をマスターし、現場での教育に役立ててください。
	 教授 山口忠承	教育工学、 科学教育、 有機光化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科教材開発実習A	化学を通じて身の回りにある物質が役に立っていることや物質の変化に興味を持ってほしいと思います。
	 講師 山本将也	植物進化多様性学、 分子系統地理学、 保全遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	植物がたどってきた歴史や生き方を紐解くことで「動けない生き物」である植物の面白さを体感してほしいです。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

小学校教員養成特別コース

教育実践力と魅力のある先生を育てる

小 学校教員には、深い児童理解に支えられた学級づくりや授業づくりとともに、地域や保護者との連携や自らが学び続けることが求められています。そのため、本コースでは、「学級経営」「教科等の指導」「個の課題」「教育実践研究」「教科の授業内容・方法」の5分野で編成された多様な授業科目と、大学と学校現場が一体となった実地研究（実習等）などの特色ある授業内容に加えて、少人数ゼミを通じた細やかな指導、教員採用に向けた手厚いサポート体制を整えています。

また、これからの学校現場は、Society5.0時代に生きる子どもたちのために、学習者用デジタル教科書の導入などICT機器をこれまで以上に活用し、一人一人の子どもたちに個別最適化された学びや創造性を育むことが求められています。一方、体験学習などの重要性がますます高まることは言うまでもありません。これらに対応するスキルを備えた教員を養成するため、小学校教諭免許状を取得していない人を対象とした3年制コースと、すでに小学校教諭の免許状を持っている人を対象とした2年制コースを設置しています。

3年制コース

対象 これから小学校教諭免許状を取得しようとする人
本学学校教育学部部の教職課程と教職大学院の授業科目を併せて履修することで、小学校教諭専修免許状を取得できます。現在、小学校教諭免許状を取得していない人でも、一から小学校教諭免許状を取得できます。

2年制コース

対象 既に小学校教諭1種または2種の免許状を取得している人
学校教育の最新動向や学校現場の実情を踏まえ、学生一人一人がこれまでに培った力をより一層、実践的なものに向上させ、自信を持って小学校の教壇に立てるよう、教員としての確かな基盤を身に付けることを目的としています。小学校教諭2種免許状を取得している人でも、修了時には小学校教諭専修免許状を取得できます。



学びのフロー図 変更する可能性があります。

年次・期	1年次		2年次		3年次	
コース	前期	後期	前期	後期	前期	後期
3年制コース	小免取得科目	小免取得科目・専門科目	小免取得科目・専門科目	初等実習 4週 専門科目	共通基礎科目 専門科目	共通基礎科目 専門科目
				実地研究Ⅰ・Ⅱ 計10週	インターンシップ（通年60時間以上）	
2年制コース	共通基礎科目・専門科目		専門科目			
	インターンシップ（通年60時間以上）		学校教育基盤実習 4週 指導力向上実習 6週			

実習では、教科の指導内容・方法・技術をはじめ、特別活動、生徒指導、担任業務など多岐にわたる小学校現場において、授業づくりや学級づくりについて学びます。連携協力校の学級担任（メンター）と大学の修学指導教員、学生が協働してチーム・コンサルテーションを実施し、学校現場における実践的指導力の向上や自己教育力の基礎を修得します。

Voice

小学校教員を目指すあなたへ



小学校教員養成特別コース
(3年制)3年
米山晴也さん

小学校でのボランティア活動を通して、小学校教員を志し、本コースに進学しました。本コースでは、専門性の高い先生から教育理論を学びつつ、学校現場で実践経験を積むことができます。また、教員採用試験対策も充実しており、小学校教員を目指す上で最高の環境が整えられています。

この魅力あるコースで、手厚く熱心に指導してくださる先生方、小学校教員への強い思いを持つ仲間と共に、日々学んでいます。

自信を持って教壇に立つために



小学校教員養成特別コース
(2年制)2年
中原美佳さん

大学時に小学校教員免許を取得し、志望した自治体の採用試験に合格した上で本コースに入学しました。

教員として働いていけるか。私の中にあった不安は、各教科の専門性を高める授業や、自分の興味・関心を生かし本質を追究するゼミの学びの中で少しずつ小さくなっていきました。

今は、小中連携プログラムで中学校国語科教員の免許取得を目指しつつ、小学校の教員としての専門性を高めるために日々授業に取り組んでいます。

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 筒井茂喜 ※2	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教育法、 教科・領域の内容・指導法研究Ⅳ (体育科)	「自己肯定感」「仲間意識」を高める体育授業づくりを 講義と模擬授業を通して考えましょう。
 教授 河邊昭子	音楽科教育学	教科・領域の内容・指導法研究Ⅰ (音楽科)、教育実地基礎研究Ⅰ (レポート作成法の研究)	小学校教員に求められる実践的指導力とともに、自己 の人間力を向上させることができるコースです。
 教授 勝見健史	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	授業における実践的評価論、 総合学習の創造過程と評価法	評価論を視点とした授業改善、特に単元組織・質的 評価・学習支援に関する実践的研究に取り組んでい ます。
 教授 鈴木正敏	幼児教育、 多文化教育	教育実地基礎研究Ⅱ、 授業におけるICT活用	実践的な知見を基に、子どもたちが楽しく主体的に学 べる授業づくりを目指します。
 教授 山本智一	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教科・領域の内容・指導法研究 Ⅳ(理科)、 総合学習の創造過程と評価法	科学的な説明活動の授業への導入や、社会における 科学問題の教材化に関する指導法開発に取り組んで います。
 教授 別惣淳二	教育実習、 教師教育、 教育経営学	教育実地基礎研究Ⅰ、 教育実地基礎研究Ⅱ	本コースでは、学生が自身の教育実践を対象として 研究し、論文にまとめる力を身に付けてほしいと思い ます。
 教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	教科・領域の内容・指導法研究Ⅱ (算数科)、教育実地基礎研究Ⅰ (レポート作成法の研究)	子どもが算数を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもの 考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究してい ます。
 教授 前芝武史	彫塑・デッサン、 美術解剖学	彫塑造形論、 彫塑教育論	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。 事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
 准教授 真田穰人	学校心理学、 生徒指導・教育相談、 特別活動	特別活動指導と自治的文化的 活動の展開、学級づくりと教育 的関係の構築	子どもたちが、平和で民主的な社会をつくる力を育む 授業・学級・学校づくりを、共に追究しましょう。
 講師 吉川修史	生活科教育学、 社会科教育学	初等社会科教材研究・授業づ くり、教科・領域の内容・指導法 研究Ⅲ(社会科)	子ども自らが自立し、生活を豊かにしていく生活科授 業や、自分なりの社会への関わり方を考えることで できる社会科授業づくりを追究しましょう。

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 作文教育におけるICT活用に関する研究—記述前の指導を中心に—
- ▶ 体育授業への愛好度を高めるための自己の課題—5年生 ハードル走の実践を対象として—
- ▶ 全員が参加する「考え、議論する道徳」の授業づくり—ICTを取り入れて—
- ▶ 算数科におけるふきだし法を用いた統合的考え方の育成に関する研究
- ▶ 小学校第4学年「人の体のつくりと運動」における科学的根拠を活用した咀嚼の判断を促す授業開発
- ▶ 児童の理由を大切に学級目標づくりに関する研究—熟議民主主義と子どもの哲学に着目して—
- ▶ シェアードリーダーシップを育成する総合的な学習の時間のあり方—滋賀県甲賀市 山内エコクラブの実践を手がかりとした地域人材育成—
- ▶ 「活動あって、学びのある」授業を目指した2年間—社会科や総合的な学習の時間における文化学習の授業づくりを通して—
- ▶ 主体的・対話的で深い学びの観点に基づく「楽しい」書写の授業開発—授業案の提案と授業の成果—

グローバル化推進教育リーダーコース

世界と地域をつなぐグローバル教育リーダーを目指して

急 速に進む国際化や多様化する社会において、教育には地球規模の課題を理解し、地域と連携して解決を目指すことが求められています。本コースでは、SDGs（持続可能な開発目標）の達成を視野に入れながら、ESD（持続可能な開発のための教育）やGCED（地球市民教育）の視点を取り入れたカリキュラムを展開し、持続可能な未来を創るための批判的思考力、国際理解力、協働力を育成します。

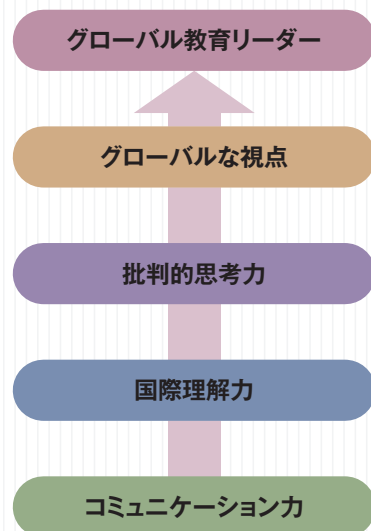
これを実現するために、以下の取り組みを行っています。

- 各校種・教科におけるグローバル教育を組み込んだ授業開発
- 現職教員を対象としたグローバル教育研修の開発

専門科目では、多様な教育現場での実践力を高め、現職教員や専門家との対話や交流を通じて、即戦力となるスキルや知識を身に付けます。具体的には、以下の内容を学びます。

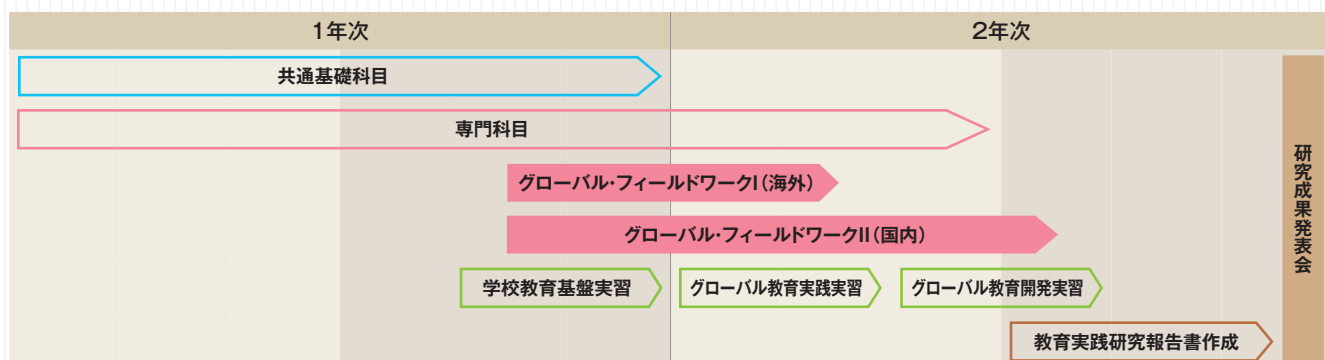
- 「国際理解教育」「国際情報分析（探究演習）」「グローバル教育実践報告と研究手法」で、グローバル教育の専門知識や研究に必要なスキルを習得します。
- 「世界の教育」ではオンラインで世界各国の教育関係者からその国の教育事情を学び、「グローバル・フィールドワークⅠ（海外）・Ⅱ（国内）」で学校や教育機関を視察して、多様な現場から教育実践を学習します。
- 「実用外国語演習」「外国語による表現法」で、英語によるコミュニケーション能力と研究発信力を育成します。

さらに、研究課題に基づいた教育実践に取り組める実習科目が設定されており、段階的に実践力を高めるカリキュラムが編成されています。



2年間の学びの流れ

変更する可能性があります。



過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 高等学校外国語科でのPBLによる国際理解教育の授業デザインと評価—歴史軸×世界軸による地域探究学習の実践—
- ▶ 国際理解教育を背景とした小学校道徳科授業実践—グローバル人材の育成を目指して—
- ▶ 沖縄県立高校における地域協働型探究学習のフレームワークの構築—「高校魅力化」の事例を手がかりとした実践と検証—
- ▶ 公立中学校国語科における国際教育の開発及び実践—グローバル・コンピテンスの育成に向けて—
- ▶ 「持続可能な開発のための教育（ESD）」の推進に資する授業実践及び学習効果の検証—幅広い層の高等学校でのESD実践を目指して—
- ▶ 日本の初等中等教育の国際教育の推進に資する教員研修の開発および効果検証—参加型学習と講義を組み合わせた研修の実践を通して—

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 岩見理華	ESD、 国際理解教育、 探究学習	国際理解教育、世界の教育、 英語を活用した論理的思考、 グローバル・フィールドワークI (海外)	ESD(持続可能な開発のための教育)の視点に基づく 探究学習のカリキュラム開発について研究していま す。また、国内・海外におけるグローバル人材育成に向 けた国際理解教育プログラムの検証に取り組んでい ます。
 講師 吉田夏帆	教育社会学(教育開発)、 国際理解教育	国際理解教育、世界の教育、 英語を活用した論理的思考、 グローバル・フィールドワークI (海外)	開発途上国と呼ばれる国々の教育について研究して います。また、そこでの研究成果や現地調査での知見 などを踏まえて、国際理解教育やグローバル教育の実 践および評価にも取り組んでいます。
 客員教授 佐藤真久			
 協力教員 ビーシェン サイモン ジョン			
 協力教員 スタインジック リチャード イチロウ			
 協力教員 山本康裕			

※1: 令和8年3月退職予定 ※2: 令和9年3月退職予定

授業をクローズアップ!

対話と議論で磨く教育スキル

国際理解教育Ⅱ(応用と実践)



受 講生たちは、講師や仲間との対話を
通して多様な視点や新たな知見を得
ながら、実践的な教育スキルを磨いていま
す。グローバル社会の複雑な課題を理解し、
教育現場での応用力を高めることを目指し
たこの授業は、学生たちの学びをさらに深化
させる貴重な機会となっています。

グローバル教育を支えるステークホルダーとの交流

グローバル教育実践課題研究

E SD推進ネットひょうご・神戸主催の第
7回ESD実践研究集会でのポスター
リレートーク発表風景です。高校生の国際理
解意識向上を目指した授業実践を紹介し、教
育関係者、民間団体、地域の専門家など、多
様なESD関連のステークホルダーと意見交
流を行いました。



グローバル・フィールドワークI(海外) カンボジア研修(2024年度)



現地中・高等学校視察



現地小学校視察



世界遺産アンコールワット遺跡視察

Voice

互いに認め、 尊重し合う人材育成へ!

グローバル化推進教育リーダーコース
令和7年3月修了
中井健太郎さん



海外生活経験から、異文化理解の必要性を感じたことで、「グローバル教育」に強く興味を持っていました。そこで、グローバル教育について学術的に深く学び、実践力を身に付けるため、本コースに進学しました。

本コースでは、世界の教育関係者から各国の教育事情についてお話を伺ったり、海外の学校の視察から日本と海外の教育を見つめ直すことで新たな見方・考え方を身に付けたりするなど、「グローバル」に関わる多くの取り組みを経験することができます。大学院では他コースの現職教員との出会いがあり、学びの幅が広がっています。これらの学びを生かして、「グローバルリーダー」として、これから教育現場で活躍していきたいです。

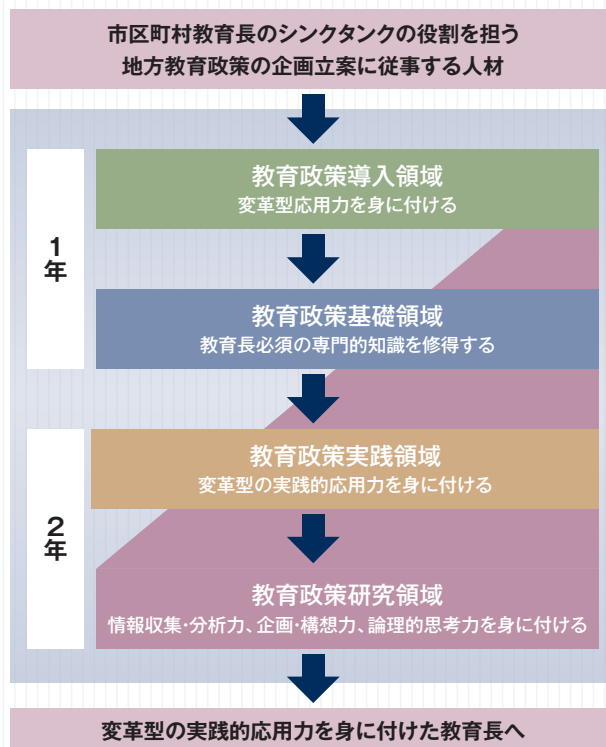
教育政策リーダーコース

日本の新しい地方教育行政をリードする人材育成

教育変革期における地方教育行政のリーダーの役割はますます重要なものとなっています。未来を創る子どもたちの教育に加え、地方分権化社会における新たな地域社会を創り出すために、教育行政の役割はかつてないほどの転換期を迎えています。

そのような中、教育政策リーダーコースは日本で初めてとなる、現職教育長や将来の教育長候補および教育行政の幹部の養成コースです。多忙を極める学生のために、学修形態を教員が地元に出向いて行う授業や双方向のオンライン授業、VOD（ビデオ・オン・デマンド）による視聴学習、神戸キャンパスにおける集中演習とし、学生の業務への影響軽減を図るなど、学びやすいものとしています。

また、海外、自自治体首長部局・教育機関、他自治体等で実習を行う実習科目も充実しており、教員と実習先のメンターとの綿密な連携と指導により、地域教育行政の変革を推進し得る資質能力の獲得を図ります。



授業をクローズアップ!

自治体教育政策の実践事例から学ぶ

教育政策実践論

担当教員：押田貴久准教授、富田明徳附属小学校長、細田真由美客員教授



自 自治体と比較自治体におけるさまざまな教育政策の実践事例の検討を踏まえ、その実践者を招聘または訪問し、講義演習に基づく経験交流や意見交換、データ収集を行います。これらを通じ、地域の教育課題に応じた政策案の構想を目指します。

現職の教育長等と共に学ぶ交流型演習

教育行政マネジメント特論演習I-II

担当教員：澤野幸司教授、川口貴大教授、三浦奈々美助教

ト ップリーダーとしてのマネジメントについて、学生以外の教育長等と共に参加型の演習形式で学びます。お互いに議論を深め、その中から自分なりのマネジメントの在り方について考え、実践に結び付けます。



Voice

求めよ、 さらば与えられん

教育政策リーダーコース2年

吉村神治郎さん



教育長2年目からの入学を決断。そこに待っていたのは、日本の教育界をリードする先生方と、全国各地から集まった意欲的で多彩な職種の仲間たち。新しい出会いの中で貴重な発見がたくさんありました。静岡からの入学でしたが、教育長の職務と並行して、出張講義やオンライン指導など両立は可能です。

今、目の前にある課題への理論武装、他自治体の先進的な取り組みについてのフィールドワーク、教育政策の歩みと将来への展望、知りたいこと・学びたいことが分かり、自分が実現したい政策の立案へと進むことのできるコースです。レポート作成は頑張らないといけませんが、仲間たちと励まし合いながら、充実した日々を過ごせます。

担当教員

(令和7年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 澤野幸司	教育行政、 コミュニティスクール	教育行政マネジメント特論演習 I・II、 地域と学校	新教育委員会制度下における教育長に必要な資質能力とは何かを問い続けながら、地域の教育課題解決に資する教育行政の在り方について一緒に考えていきましょう。
 教授 川口貴大	教育行政、 教育課程	教育行財政の立案と分析、 教育行政マネジメント特論演習 I・II	社会の期待に応える地方教育行政の在り方やそれを実現するために必要なリーダーとしての力とは何か、一緒に考えていきましょう。
 准教授 押田貴久	教育行政、 教育政策、 カリキュラム開発	教育政策実践論、 生涯学習特論	自治体における教育政策過程に関する研究を行っています。教育課題の解決に向け、共に考えていきましょう。
 助教 三浦奈々美	教育行政学、 地方自治論	比較教育政策論、 教育政策課題研究	地方教育行政にかかわる多様なアクター（教育委員会、首長、議会、学校、民間団体等）がどのようにに関わり合い、教育課題に対応しているのかを研究しています。対話を通じて、理論と実践のつながりを共に考え、深めていきましょう。

 客員教授 青木栄一	 客員教授 天笠 茂	 客員教授 新井 肇	 客員教授 今中博章
 客員教授 遠藤洋路	 客員教授 小川正人	 客員教授 貝ノ瀬滋	 客員教授 加治佐哲也
 客員教授 合田哲雄	 客員教授 佐藤晴雄	 客員教授 露口健司	 客員教授 藤川 聡
 客員教授 細田真由美	 客員教授 間嶋 勉	 客員教授 マルック・アンティンルオマ	 客員教授 水本徳明
 客員准教授 阿内春生	 客員准教授 大島菜穂子	 客員准教授 葛西耕介	 客員准教授 匝建岳美
 客員准教授 矢田 匠			

※1:令和8年3月退職予定
※2:令和9年3月退職予定

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 児童・生徒数が減少する地域における教育環境の整備に関する考察
- ▶ 次代を担う管理職の確保と育成
- ▶ 学校部活動から学校を拠点とした地域クラブ活動への移行
- ▶ 新しい時代の生涯学習社会における次世代型学校・地域のあり方について
- ▶ 「地域とともにある学校」の構築を支援する教育委員会の在り方
- ▶ 総合教育会議と教育委員会運営に関する一考察

授業実践課題探究コース

日々の授業実践を見つめ直し更新しながら歩む

現 場の教室で日々繰り広げられる授業実践の中に存在する「今、その教員にとって意味のある実践課題」を研究課題として取り上げることができるコースです。その教員の成長の物語における、こだわり、つまずき、克服、疑問、葛藤を価値ある課題として焦点化し、自身の教室の日々の授業実践の更新と往還させながら研究課題の解決を進めていきます。

本コースの研究の進め方は3つの特長を持っています。1つ目は、長期・中期・短期の3つのスパンのリフレクションの場を活用し、並走する大学教員と対話的・相談的に研究内容や方法を柔軟に更新しながら進めていくことです。2つ目は、各教科の教材研究、授業づくりなどを中心に、幅広いニーズに応えるカリキュラムを編成していることです。勤務するそれぞれの現場の課題に合った授業を選択し、日々現場に立つ自らの見識を厚くしていくことができます。3つ目は、本コースでは、「学びの報告書」として、在学中の自身の「歩みの物語」をつづるものを作成することです。

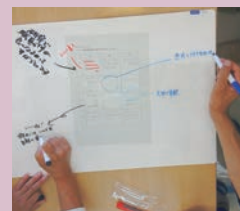
「歩み」そのものが成果となるもので、実践によって得られた結果を分析し、授業へどう還元させていったかという、実践の変容や更新が第一義となります。

それぞれの年齢・立場・歩みの中で抱えている問題意識を深める本コースで、教員としての自身の成長の物語に価値ある1ページを刻みましょう。

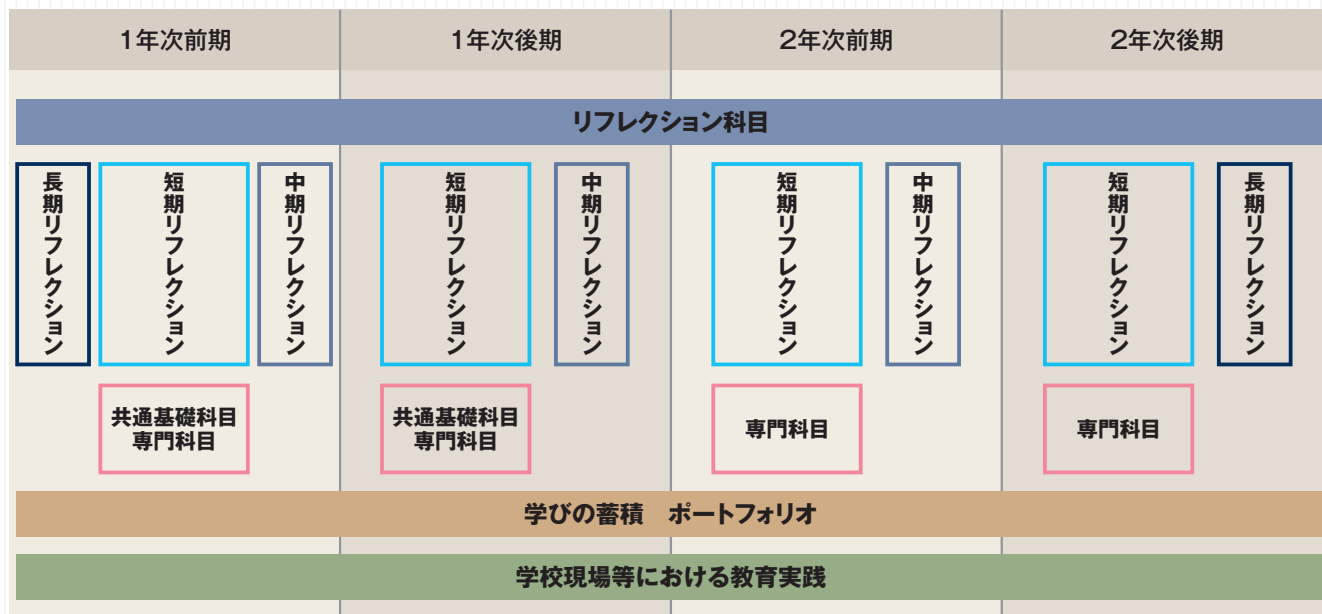


リフレクション科目の特色

リフレクション科目では、日頃の教育実践を客観的・科学的に振り返ることで、新たな発見や気づきを得て教育実践の改善につなげる未来志向の方法論を学びます。例えば、授業に関わる自分自身の考え方について、「できたこと」と「やりたかったこと」の差異に着目し、それを生んだ要因を先行研究や先進事例の知見を参考にしながら検討することで改善策を考え、新たな教育実践につなげます。



■日頃の教育実践のリフレクションが核となる2年間の学び



担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 勝見健史	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	教育実践リフレクション	各校の課題に関わりながら、教師の力量に還元させていく実践的研究に取り組んでいます。皆さんの自律的な研究展開のサポートができればと思います。
 教授 鈴木正敏 * (令和7年度まで担当)	幼児教育、 多文化教育	教育実践リフレクション	幼児教育に関する知識をもとに、主体的・対話的で総合的な学びとは何かを探っています。ワクワクする授業づくりや子どもに寄り添った実践と一緒に考えましょう。
 教授 山本智一	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教育実践リフレクション	日々の授業実践や学級づくりについて、子どもが知識や文化を構築するプロセスに注目しながら分析し、よりよい実践を目指していきます。
 教授 別惣淳二 * (令和7年度まで担当)	教師教育、 実地教育、 教育経営学	教育実践リフレクション	教育実習生の力量形成に関する研究を行っています。特に、省察力に注目して学び続ける教師を養成するためにはどうすればよいかを考えています。
 教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	教育実践リフレクション	数学的な見方・考え方や、メタ認知を育てることを目指して、子どもの考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究しています。

*令和7年度入学者の修学指導教員(教育実践リフレクション科目担当教員)。中・長期リフレクションは、教員全員で関わります

※1:令和8年3月退職予定 ※2:令和9年3月退職予定

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶教育カウンセリングを使った自尊感情の育成
- ▶学びの好循環を実現する実践の開発―「主体的な学び」と「気づき」の活用を柱として―
- ▶生徒エージェンシーを育成するためのICT活用
- ▶協同学習を通して理解を深める数学科の授業づくり―小中の連携―
- ▶丹波市における伝統的な学習法“一人学び”の価値と国語科授業づくりの新たな可能性
- ▶3年地域学習での知識の概念化を目指して―教科書、副読本、ペーパーテストの関連性に着目して―
- ▶国語科物語文における「対話」に関する実践研究―読みと対話の深まりを比較して―
- ▶教育方法の改善を目的とした「架け橋期」の接続のあり方―教科の見方・考え方と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関連性に着目して―
- ▶学んだことが生活に役立つ理科学習の探求
- ▶自らの学びに活かす自己評価・相互評価を取り入れた単元づくり
- ▶児童のメタ認知の実態をいかした授業づくり

Voice

思いを形に、 そして手応えに

授業実践課題探究コース2年

新井友博さん



こんな授業がしたい!という思いを、少しずつ形にしていけることができました。私は、「学びを生活に活かす」をテーマとした理科の授業づくりのために学びを深めています。自分の目指す授業像に沿った理論を基に授業実践を行い、成果と課題を分析し、授業力の向上を目指しています。担当の先生と行う隔週のリフレクションでは、日々の授業を通して感じていることを整理していただくなど、親身なご指導により、授業がブラッシュアップされます。半期に一度行われる対面での学びの発表会では、同期だけでなく先輩の発表も聞けるなど、学びと刺激をたくさんもらえる場となっています。明日の授業が変わる、そんな素敵なコースです。

教育プログラム

大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得

理数系教員養成特別プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース(昼間クラス)」を志願する人

プログラムの特徴

- ▶大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得
- ▶教員免許状を持っていない人も対象
- ▶大学院の教育課程と学部・教職課程を併せて履修
- ▶長期履修学生制度(3年間)を活用(授業料は大学院2年分のみ)
- ▶理科の実験指導のための授業科目が充実
- ▶大学院の科目に併せて体系的な学校現場での実習を実施
- ▶受講者のためのアドバイザー教員を配置
- ▶受講者専用の部屋(プログラム支援室)を自然・生活・健康棟に整備
- ▶修了者のほとんどが現職教員として活躍中

3年間で大学院の教育課程と学部・教職課程を履修し、数学または理科の教員免許状を取得して中学校や高等学校の教諭を目指すプログラムです。学部と大学院の科目を両方履修することで、理数系教員としての教科・教職に関する高度な専門知識を修得します。また、これらの学部・大学院の科目に加え、本学学部の実地教育と大学院専門職学位課程における学校現場での実習によって、実践力のある教員を養成します。

本来、専門職学位課程(教職大学院)は教員免許状を持っている人が対象ですが、本プログラムの受講生の場合は学部段階で教職課程を全く履修しなかった人(教員免許状を持っていない人)も教職大学院に入学することができます。長期履修学生制度を活用して3年間で大学院を修了し、学費は大学院2年分の授業料を3年間に分割して納入します。学部・教職課程を履修する費用はかかりません。そして、大学院修了時には中学校教諭・高等学校教諭専修免許状の「数学」「理科」のいずれかを取得できます。

本プログラムの受講生は、専門職学位課程の理数系教科マネジメントコース(昼間クラス)志願者に限ります。また、同コースの「数学」または「理科」の分野のうち、プログラムで志願する免許と同じ分野を志願する必要があります。詳細は大学院学生募集要項等をご覧ください。

受講希望者は、8月選抜または11月選抜の大学院の入試とともに、本プログラムの選考試験も受験してください。

特別支援教育の知識・技能を修得

特別支援教育プログラム (神戸キャンパス・フレックスクラスのみ)

対象 フレックスクラスの学生

神戸キャンパスのフレックスクラスにおいて、特別支援教育領域(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の授業科目を開講し、特別支援教育に対する十分な知識・技能を修得できるよう支援します。3年以上の教職経験がある人は、授業科目の履修状況に応じて特別支援学校教諭(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の1種または2種の教員免許状を取得することが可能です。

3年で本学と海外の大学の2つの学位を取得

ダブルディグリープログラム

対象 修士課程を志願する人(8月選抜のみ)

※臨床心理学コース・発達障害支援実践コース・各コースフレックスクラスを除く

教師教育の分野における教育研究を国際的にリードするグローバル人材の養成を目的に、3年間で本学大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]と韓国または台湾の協定大学の大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]の教育課程を履修するものです。修了時には本学と協定大学の双方の学位を取得できます。

協定大学

- | | |
|--------------|-------------|
| ▶大邱教育大学校(韓国) | ▶屏東大学(台湾) |
| ▶京仁教育大学校(韓国) | ▶台北教育大学(台湾) |
| | ▶高雄師範大学(台湾) |

現場の子育て支援課題に対応する力を養う

子育て支援コーディネーター 養成プログラム

対象 修士課程の「幼年教育・発達支援コース」に所属する学生

今日、幼保連携型認定こども園、幼稚園、保育所では子育て支援機能の充実が図られており、地域においてもさまざまな子育て支援事業が展開されています。そのため、保護者支援や地域連携などの子育て支援の専門性が強く求められています。本プログラムでは、修士課程の幼年教育・発達支援コースの学生を対象に、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた人材を養成します。本学の子育て支援ルームや附属幼稚園、地域の子育て支援施設での演習を含む所定の科目の単位を修得することにより、「子育て支援コーディネーター」の認定証が授与されます。

兵庫教育大学では、各専攻・コースの正規カリキュラムに加え、現代的な教育課題やニーズに対応した多彩な教育プログラム等を開設しています。各専攻・コースで自身の専門性を高めるとともに、教育プログラム等で教員としての多様な能力の向上や教員としての幅を広げてください。

健康教育を実践できるスペシャリストを目指す

健康教育実践プログラム

対象 修士課程の「学校心理・学校健康教育・発達支援コース」
または「生活・健康・情報系教育コース」に所属する学生

児童生徒の健康課題は、飲酒、喫煙、薬物乱用、問題ある性行動などの危険行動、心の健康問題、食習慣の乱れ、運動不足、睡眠不足、インターネットの過剰使用、アレルギー性疾患など複雑化、多様化しており、学校には、健康に関わる社会的要因を踏まえ家庭・地域、専門機関等と連携した健康教育が求められています。本プログラムは、そのような健康教育の開発、実施、評価等の実践力の向上を目指します。健康教育の基礎的内容に関する2科目から2単位以上、専門的内容に関する8科目から8単位以上履修することにより、履修証書を取得できます。

理科の実験・観察指導のスペシャリストを養成

コア・サイエンス・ティーチャー (CST) 養成プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース (理科)」に所属する学生

実験や観察を中心とした科目群を履修することで、児童生徒に理科の面白さを伝えることができる知識と技能を修得し、地域の初等・中等教育の場で指導的な役割を担う理科教員の養成を目的としています。

専門職学位課程 (教職大学院) の理数系教科マネジメントコースで開設する授業科目から所定の単位を修得の上、CST養成プログラム運営室が認定した演習やセミナー等に参加することにより、履修証書を取得できます。

理数系教員養成特別プログラムとの重複受講が可能です。

臨床心理学の最新の知見により心理支援実践力を養う

心理支援実践プログラム

対象 修士課程の「臨床心理学コース (フレックスクラス)」に所属する学生

現場の課題解決を目標とするフレックスクラスでは、医療・保健、教育、福祉、産業・労働、司法の各領域における心理支援実践力を包括的に養うために、在学期間中を通して心理支援実践事例研究 (ケースカンファレンス) を行います。それに加えて、臨床心理士・公認心理師資格に係る高度な専門科目によって心理支援の最前線について学びます。本プログラムの修了証書は、心理支援実践事例研究の単位と両資格に係る所定の単位の履修により取得できます。

※本プログラムでは臨床心理士・公認心理師の受験資格を取得できません

就労支援技術を修めた心理的支援の専門家を養成

厚生労働省認可 職場適応援助者養成研修 (令和7年度新設)

対象 就労支援領域での心理的支援を行うことを希望する修士課程の「臨床心理学コース (昼間クラス)」に所属する学生 (10人程度)

今日高まっている精神障害、発達障害のある方々への社会移行や就労支援のニーズに応えるため、臨床心理学コースでは厚生労働省認可の職場適応援助者養成研修を大学院として国内で初めて開設しました。職場適応援助者とは障害者の職場適応を行うための専門人材を指し、本研修ではインクルーシブな社会 (産業) 環境構築に寄与する心理的支援の専門家を養成・輩出することを目的としています。

障害の中でも特に精神障害、発達障害のある方々を対象とした就労支援・職場定着支援や企業実習、それらに関する認知行動療法をベースにした心理的支援技術の研修を実施します。また、障害科学コースともタイアップし、各障害特性に関する基礎的な知識や就労上の課題などについて、より専門性の高い講義を受講できます。公認心理師養成課程を修了後、受講者が臨床活動を行う地域にある独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の障害者職業センターに登録することで、訪問型職場適応援助者 (通称ジョブコーチ) として活動できるようになります。

大学院で小 (中) 学校の
教員免許状を追加で取得

小中連携教育プログラム

詳細はp.3を参照

博士課程への進学を見据えた
よりアカデミックなスキルを修得

研究力向上特別プログラム

詳細はp.64を参照

修学支援

入学料・授業料(令和7年度入学生)

入学料 28万2,000円 入学手続き時に納付

年間授業料

一般学生(2年)	長期履修学生許可者(3年) 理数系教員養成特別プログラム受講者を含む ※通常の2年分の授業料を3年間で分割納入することになります	小学校教員養成特別コース(3年制コース)
53万5,800円	35万7,200円	53万5,800円

年額の2分の1を2回(前期・後期)に分けて納付【納付期間】前期5月1日～31日、後期11月1日～30日

●在学中に授業料の額が改定された場合は、その時点から新たな授業料が適用されます ●2年次から、長期履修学生(3年)から標準修業年限(2年)への変更を許可された場合、標準修業年限(2年)と長期履修学生(3年)の授業料の金額(前期・後期合計)の差額17万8,600円を1年次の許可時に納付していただきます。また、2年次から新たに長期履修学生(3年)になることを許可された場合、2年次前期分から長期履修学生(3年)の授業料の金額を納付していただきますが、入学当初からの長期履修学生より授業料(3年)の総額が17万8,600円増となります。

長期履修学生制度

職業を有しているなどの事情により、2年の修業年限で教育課程を履修することが困難な学生を対象に、計画的に教育課程を履修することができる「長期履修学生制度」を設けています。この制度を利用すれば、3年をかけて自分のペースで無理なく授業や研究指導を受けられ、学業と仕事を両立しやすくなります。

●長期履修を申請できる人

- ▶フレックスクラス志願者で職業を有する等の事由のある者
- ▶理数系教員養成特別プログラム受講申請者

入学料の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または入学前1年以内に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

授業料の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。または各期の納期前6カ月以内(新入生は入学前1年以内)に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

令和6年度実績		
● 入学料免除	● 授業料免除(社会人経験のある学生および現職教員学生対象の授業料免除を除く)	
申請者41人	前期分: 申請者50人	後期分: 申請者49人
全額免除…0人	全額免除…33人	全額免除…39人
4分の3免除…0人	4分の3免除…7人	4分の3免除…5人
半額免除…23人	半額免除…7人	半額免除…3人

奨学金制度等

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構では、学業、人物がともに優れ、経済的な理由により修学が困難であると認められる者を対象に、奨学金を貸与しています。貸与月額は第一種奨学金は5万円、8万8,000円または授業料後払い制度、第二種奨学金は5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択します(令和6年度入学生実績)。

奨学金受給者数(令和7年2月現在)

第一種69人、第二種10人

※長期履修学生の第一種奨学金は3年間のうち2年間の貸与となります
※詳しくは日本学生支援機構ウェブサイト <https://www.jasso.go.jp/> をご覧ください

兵庫教育大学独自の奨学金・授業料免除等

社会人経験のある学生	● 授業料の免除 「学び直し」やスキルアップを図りたい社会人経験のある学生を対象に、就学機会を確保するための授業料を免除する制度です。 【免除対象者】現在職に就いている者／2年以上の社会人経験(家事・家事従事を含む)のある者 【令和6年度実績】前期分：全額免除…11人、4分の3免除…7人、半額免除…6人(申請者35人) 後期分：全額免除…12人、4分の3免除…6人、半額免除…6人(申請者24人)
教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生	● 奨学金の給付(兵庫教育大学特例制度利用者奨学金) 教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生に対し、申請によって奨学金を給付します。
現職教員学生	● 授業料の免除 大学院修学休業制度利用者(勤務先から給与等が支給されない現職教員学生)は申請によって、他の授業料免除とは別枠で授業料を免除する制度があります。 【令和6年度実績】前期分：全額免除…15人(申請者15人) 後期分：全額免除…15人(申請者15人) ● 研究経費の助成 大学院で取り組む実践的な研究に対して経費を助成します。 【応募資格】現職教員学生(当該年度中に収入が無い者(大学院修学休業制度利用者)を優先します) 【助成金額】1人当たり年間10万円
大学院学校教育研究科1年に在籍する学生	● 研究経費の助成(大学院同窓会研究助成金) 大学院で取り組む研究に対して経費を助成します。入学後に申請し、1年次1月から2年次2月まで使用できます。 【助成金額】1人当たり20万円
大学院学校教育研究科(全学年)に在籍する学生	● 奨学金の給付(兵庫教育大学学会発表奨励金) ファーストオーサーとして全国的な学会で行う発表に対して、申請によって奨励金を給付します。
海外に留学する学生	● 海外留学支援授業料免除 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が特に優秀であると認めた学生に支給します。 【免除金額】1年間の授業料全額 ● 海外留学支援特別奨学金 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が優秀な学生に支給します。 【支給金額】米国、ドイツ、スイス、フィンランド、チェコ、ラトビア…1人当たり30万円 中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、カンボジア…1人当たり10万円
本学附属学校教員大学院派遣制度	● 入学科・授業料の免除 教育委員会との人事交流により本学附属学校園に派遣された教員のうち、一定の要件を満たし、校園長の推薦を受け、学長が認めた者について、大学院に入学できる制度を設けています。

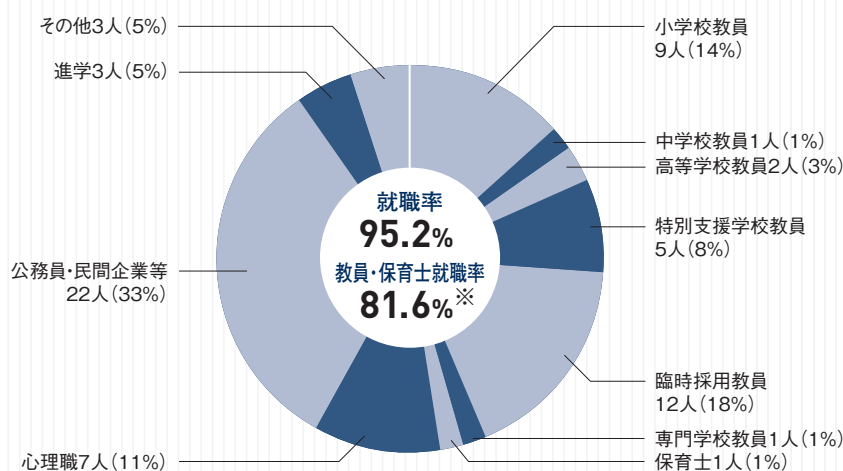
修了後の進路・就職

教職をはじめ、保育士、心理職に従事する人など
多様な分野で活躍しています。

令和5年度 大学院学校教育研究科修了者の就職状況

(現職教員・留学生等を除く就職・進学を希望する者) 令和6年9月30日現在

修士課程 (66人)



※臨床心理学コースを除いて算出した数値

ほとんどの修了生が
教員や心理専門職に
就職しています

主な就職先

教員 (臨時採用教員含む)

兵庫県12、神戸市6、福岡県2、富山県1、岐阜県1、京都府1、大阪府1、鳥取県1、愛媛県1、広島県1、沖縄県1、私立2

心理職

病院・クリニック、行政心理職、教育・福祉施設他

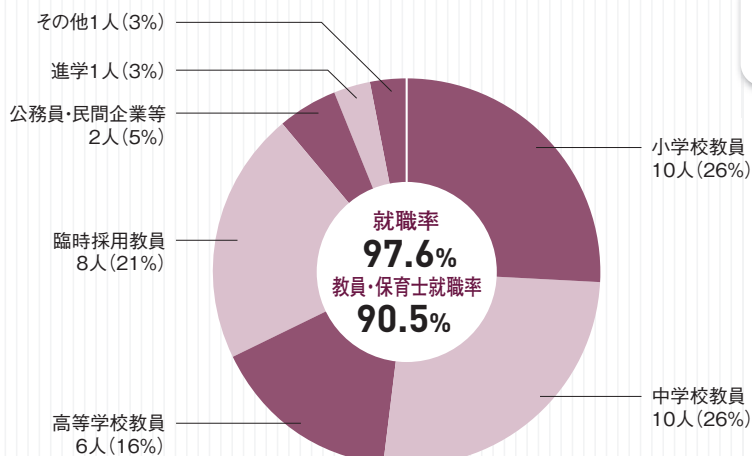
公務員・民間企業等

学習塾、児童福祉施設、地方公務員、教育系企業他

進学

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科他

専門職学位課程 (38人)



全国の自治体で
活躍しています

正規合格率**74.3%**
(入学前または在学中に特例
進学制度を活用した学生は11人)

主な就職先

教員 (臨時採用教員含む)

兵庫県15、神戸市2、岡山県3、東京都3、滋賀県2、福岡県2、愛知県1、静岡県1、愛媛県1、広島県1、国立1、私立2

公務員・民間企業等

学校事務、地方公務員 他

キャリア支援

教職キャリア開発センターでは、教員就職支援を中心に学生の多様なニーズに応じた支援を行っています。

就職支援

- ▶ 公立学校校長等経験者による就職相談
- ▶ 教員採用試験対策特別講座、筆記講座 など
- ▶ 教員採用試験対策模擬試験
- ▶ 教員採用試験対策模擬面接
- ▶ 教員採用試験学内説明会
- ▶ 就職に関する書籍の貸出、情報提供 など



集団模擬面接

ちょっと気になるQ&A

Q どのような支援を受けることができますか。

教職キャリア開発センターでは、教員・保育士希望の学生向けに元小学校・中学校・高等学校長等による個別面談を実施しています。面談では、面接・模擬授業対策から小論文添削等に至るまで幅広く対応しています。

Q 兵庫県以外の教員採用試験に対応していますか。

各自治体の面接試験内容に応じた面接練習を行っています。また、全国の教員採用試験の筆記試験の過去問をそろえています。大学院は兵庫県以外の出身者も多く、修了後は全国の自治体で活躍しています。

Q 大学院進学による教員採用試験の優遇措置やメリットはありますか。

大学院進学や在学を理由とした採用候補者名簿登載期間の延長のほか、教職大学院修了見込みの学生を対象とした特別選考（1次試験免除）の実施など特例的な措置がある自治体もあります。受験する自治体によっては大学院在学中に2回教員採用試験にチャレンジできます。

また、教員就職後は、大学院修了や専修免許状取得により給与面でも優遇されます。

大学院連合学校教育学研究科（博士課程）

本大学院修了見込みで出願の場合 博士課程進学時の検定料・入学料免除！ 修了者の6割以上が国公立大学等に採用

連合学校教育学研究科は、兵庫教育大学を基幹大学とし、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学、鳴門教育大学の6大学が連合して構成している後期3年のみの博士課程です。

実践に根差した学校教育学を独自の学問分野として確立し、今日の

教育課題の解決と学校教育の質的改善・改革に貢献することを目的としており、学校教育実践について高度で専門的な研究を行い、学校教育実践学および教科教育実践学の分野において自立して研究・実践できる研究者や専門職教育者を養成しています。

博士課程への進学を見据え、よりアカデミックなスキル修得を希望する学生向けの教育プログラムです。

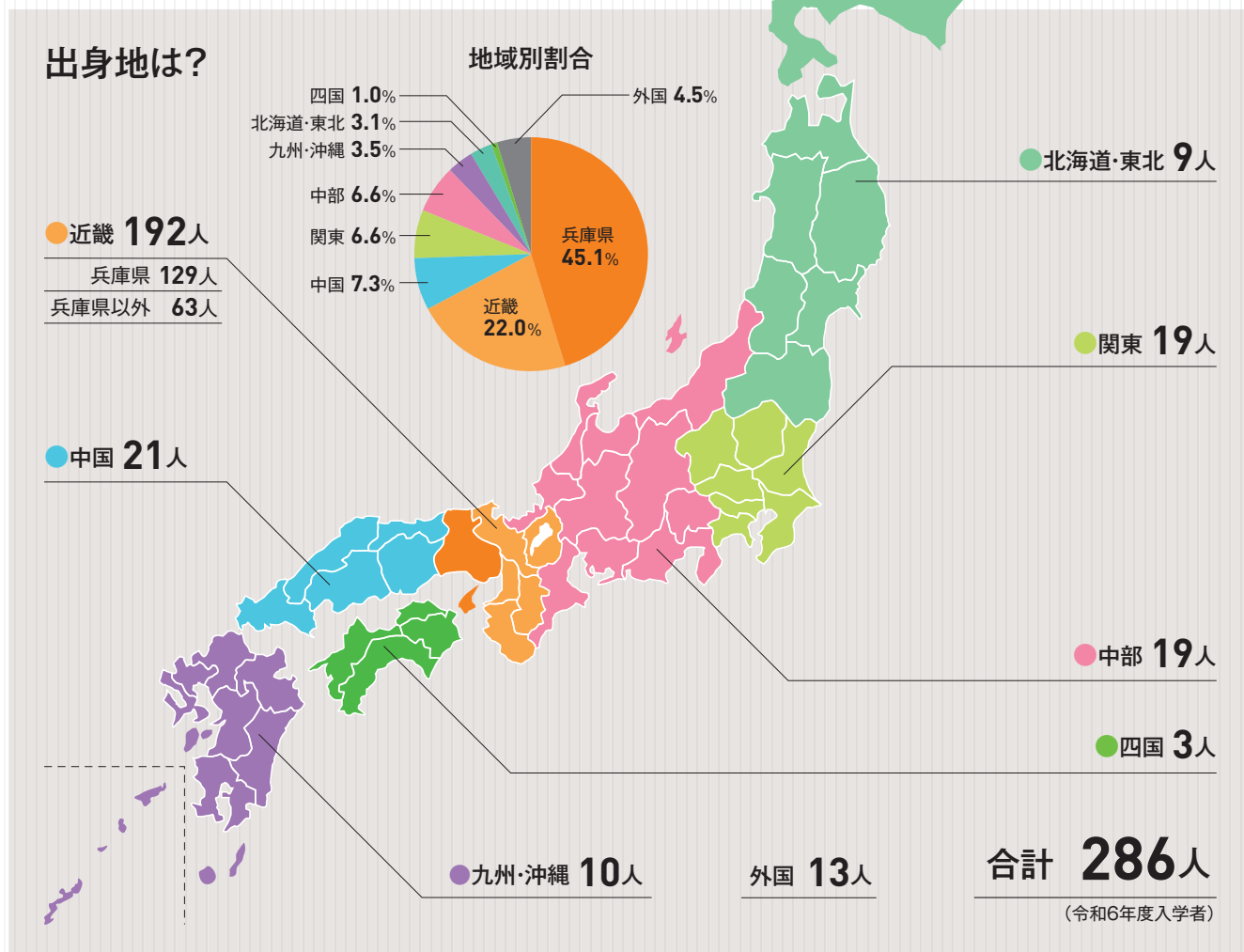
研究力向上特別プログラム

対象 専門職学位課程に所属する学生

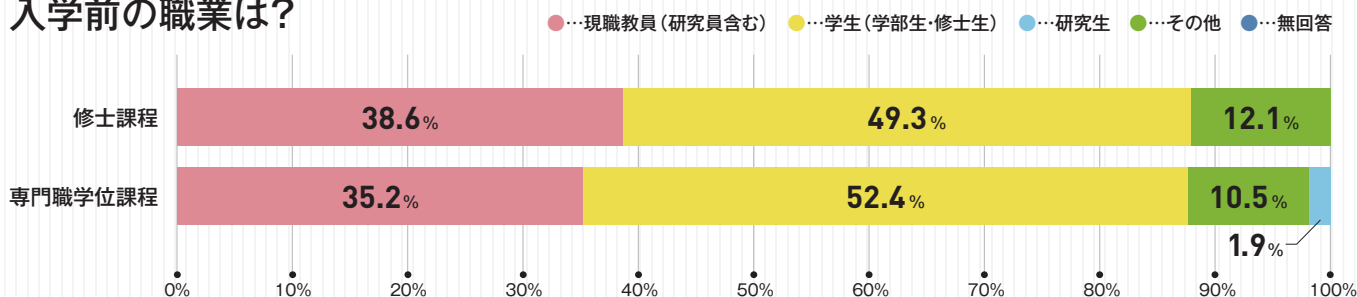
個々の研究テーマに応じたアカデミック性の高い追加のゼミ指導を受けることで独自の研究成果を上げ、学会で発表することを目指します。

データで見る 大学院生のキャンパスライフ

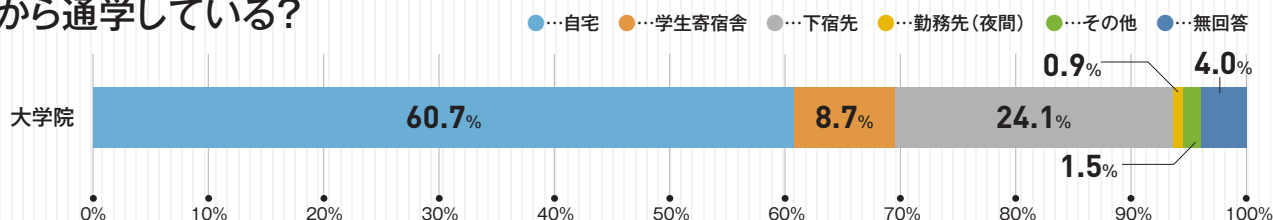
全国各地から集まった多彩な経歴の学生が在籍。
互いに刺激し、学び合える仲間との出会いが待っています。
また、キャンパス内にある学生寄宿舍は、
移動時間が削減できて非常に便利です！詳しくはp.68へ。



入学前の職業は？



どこから通学している？



学びをサポートする充実の環境

加東キャンパス

院生研究室



各コース・分野等では、大学院生の研究活動や協同的な学びを促進する目的で独自に研究室を設けています。学生同士の交流も活発に行われています。

附属図書館



平日は22時、土日祝日は17時まで開館し、蔵書は教育関係資料を中心に約36万冊。大学院生は15冊まで借りることができます。教材文化資料館を附置しています。

ラーニングコモンズ



総合研究棟、附属図書館、大学会館にある学生たちの自主的な学びのための共有スペース。研究やグループ学習、就職対策などに活用できます。

大学会館



食堂、売店、ベーカリーカフェ、書店、和室、ボランティアステーション等が設けられ、課外活動での利用や大学内における生活上の利便が図られています。

教育実習総合センター



学校教育学部や教職大学院等における学校や教育施設での実習を円滑に行えるよう支援しています。

発達心理臨床研究センター



発達心理臨床に関する高度な知識・技能を有する教員および心理専門職を育成しています。地域の方の心理的な相談に対応しています。神戸キャンパスに分室(臨床心理相談室)を設置しています。

神戸キャンパス

院生合同研究室

広さは約120㎡。グループワークにも活用できるオープンなデスクスペースと各席をパーティションで仕切った個別スペースがあります。個別スペースでは、共用のノートパソコンを使えるので研究に集中できます。オンラインブースは1人用と4人用があり、オンライン授業を受けられるほか、個室としても利用可能。くつろぎながら読書できるスペースも設けています。

ICT教育室+ STEAM Lab

約114㎡のICT教育室には、ノートパソコン24台やグループ学修に活用可能なモニターを設置。グループでの発表や学修に最適なプレゼンテーションスペースも併設しています。同じフロアにあるSTEAM LabにはSTEAM教育やEdTechの実践につながる教材・備品等がそろっています。

KATO

Campus Map

丘陵地に広がる加東キャンパスには多彩な施設がそろっており、学生寄宿舎も敷地内に並んでいます。加東市の中心地からも比較的近く、周囲の自然に恵まれた立地は学びにも生活にも最高の環境です。

キャンパス
パートナー

兵庫県立美術館

兵庫教育大学の学生は無料(一部有料)で各展覧会を観覧することができます。



総合研究棟(学生ホール)



自然、生活・健康棟



体育棟



講堂

1 講堂	8 情報処理センター	15 ラグビー・サッカー場
2 教育・言語・社会棟	9 事務局	16 和弓場
3 自然、生活・健康棟	10 総合研究棟	17 野球場
4 体育棟	11 教育子午線ホール	18 陸上競技場
5 芸術棟	12 発達心理臨床研究センター	19 ソフトボール場
6 共通講義棟	13 大学会館(食堂、バーカリーカフェ、書店、売店)	20 体育館
7 附属図書館	14 テニスコート	21 武道場

加東キャンパスで履修するコース(昼間クラスのみ)

修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース
		幼年教育・発達支援コース
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース
		芸術表現系教育コース
		生活・健康・情報系教育コース
	特別支援教育専攻	障害科学コース
		発達障害支援実践コース
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース
		教育方法・生徒指導マネジメントコース
		言語系教科マネジメントコース
		社会系教科マネジメントコース
		理数系教科マネジメントコース
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)
		グローバル化推進教育リーダーコース

学生寄宿舍

加東キャンパス東側の「学生寄宿舍エリア」に、学生の勉学に適する環境を提供することを目的として単身用学生寄宿舍5棟(全400室)を設置しています。また、加東市内には学生向けのマンションやアパートなどもあります。

入居資格・寄宿料等について(令和7年度)

学生寄宿舍の入居者は大学が選考のうえ決定します。入居者は光熱水料、共益費なども負担しなければなりません。

入居者の選考基準について	① 片道通学所要時間
	② 同一生計世帯全員の年間所得
	③ 身体障害、風水害等の災害および不慮の事故等
	④ その他特に考慮すべき場合

学生寄宿舍	
1カ月の負担額(目安)	約1万5,000円
寄宿料	4,300円(月額)
光熱水料	電気・ガス・水道料金
共益費	4,500円(月額)

全室に
光インターネット
回線を完備

学生寄宿舍の詳細はこちら!

<https://www.hyogo-u.ac.jp/campuslife/dormitory.php>



※学生寄宿舍は計画的な整備・改修工事を行っています。改修工事の際には、他の棟への転居(引越し)に協力いただく場合があります

KOBE

Campus Floor Guide

教職等の仕事と両立しながら通えるよう、2駅3路線が利用可能な神戸市長田区の「新長田キャンパスプラザ」に開設。3フロア、延べ床面積約3,700㎡には図書室や学生ラウンジなど充実したキャンパスライフを送るための環境を整えています。

6階

● 臨床心理相談室

● 面接室(4室)

● プレイルーム(4室)

● 観察室、検査室

● 臨床心理相談室(事務室)

● 臨床心理相談準備室

● その他 演習室、プロジェクト室

7階

● 演習室(8室)

● 院生合同研究室

● 図書室

● 学生ラウンジ

● 学生相談・休養室

● 連合大学院室(博士課程)

● 事務室

8階

● 講義室・演習室(9室)

● STEAM Lab

● ICT教育室

● 多目的室

神戸キャンパスで履修するコース

修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース F
		幼年教育・発達支援コース F
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース F
		臨床心理学コース 昼 F
		芸術表現系教育コース F
		生活・健康・情報系教育コース F
	特別支援教育専攻	障害科学コース F

専門職学位課程	学校経営コース F
	教育方法・生徒指導 マネジメントコース F
	言語系教科 マネジメントコース F
	社会系教科 マネジメントコース F
	理数系教科 マネジメントコース F
	グローバル化推進 教育リーダーコース F
	教育政策リーダーコース F ※
	授業実践課題探究コース F

● 昼間クラス ● フレックスクラス(授業等の実施方法はp.5を参照)

※ 神戸キャンパスでの集中講義のほか、出張講義やビデオ教材等を用いた授業を実施します

注) ● 専攻・コースにおける入学者の状況や希望により変更する場合があります。

● 修士課程の課題研究と研究指導は、指導教員等と学生が相談の上、曜日・時限を設定することになります。

● 修士課程の共通科目(選択必修)および神戸キャンパスの特別支援教育プログラムの一部の科目は、土・日曜や休業期間中に集中講義として開講します。

● 各専攻・コースの専門科目のうち集中講義で行う授業科目は、加東キャンパスで開講することがあります。

● 演習科目の一部と実習・実技科目は、土・日曜や集中講義形式等により加東キャンパスで開講することがあります。

加東キャンパス

加東市下久米942-1



アクセス

車の場合

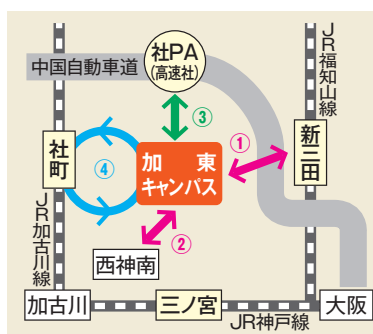
大阪国際空港から中国自動車道経由 約45分
JR新大阪駅から中国自動車道経由 約60分
三宮(神戸市)から新神戸トンネル、国道428号経由 約60分

公共交通機関の場合

JR新大阪駅 ... ハイウェイバス 約65分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
JR三ノ宮駅 ... ハイウェイバス 約55分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
JR姫路駅 特約バス 約80分 ... 社車庫前(案内所) ... 神姫バス 約12分

安心して通学できる環境

通学や生活に便利なカレッジバス(無料)



神戸・大阪方面からの学生の通学や、マイカーを持っていない下宿生の生活をサポートするため、加東キャンパスと各地を結ぶカレッジバスを4ルート運行しています。

時刻表など詳細はこちら→



電車の時刻や授業に合わせて運行

①新三田シャトル便

JR新三田駅→加東キャンパス
平日(年末年始を除く)3往復

②西神南シャトル便(試行運行)

神戸市営地下鉄西神南駅→加東キャンパス
平日(年末年始を除く)3往復

高速バスの時刻や授業に合わせて運行

③兵教シャトル便

高速社→加東キャンパス
平日(年末年始を除く)20往復
※来学者も利用できます

買い物などに便利! 加東市内を循環

④加東ループ便

JR社町駅→イオン社店→加東市街→高速社→加東キャンパス
平日(年末年始を除く)4往復(1周約70分)

神戸キャンパス

神戸市長田区腕塚町5-2-1 新長田キャンパスプラザ6~8階



アクセス

公共交通機関の場合

JR・神戸市営地下鉄「新長田」駅から 徒歩約7分

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 豊かな人間性と確かな実践力を持った新任教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

問い合わせ先

入試について 入試課 ☎ 0795・44・2067

カリキュラム・教員免許状について 学務課 ☎ 0795・44・2040

国立大学法人
兵庫教育大学

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 <https://www.hyogo-u.ac.jp/>
令和7年4月発行